

大町市統計要覧 2008

平成 20 年 版

厳しい風雪に耐えて、たくましく、心優しく生きる市民です

(大町市民憲章第一章)

 市の木／オオヤマザクラ	数ある桜のなかでも北方に分布し、中部地方では、標高800メートル以上の高地に多く、大町市以南では群落は見られない。ほかの桜が短命で、春を告げた後、早々と散ってしまうのに比べ、オオヤマザクラは、5月半ばを過ぎても、山里で素朴なピンクの花を誇らせている。 —麗しさのシンボル—
 市の花／カタクリ	ユリ科の植物で、万葉時代から“カタカゴ”の名で知られている。田畑の残雪が消え終らない3月末ころに、芽を出し美しい紫色の花を咲かせる。この花には、“初恋”という花言葉がつけられていて、山林の中でひそやかに花開く、その初々しい姿には、だれもが、なる程とうなずける。 —優しさのシンボル—
 市の獣／カモシカ	国の特別天然記念物に指定されている珍獣で、名前に“シカ”とつけられているが、実はウシの仲間である。角は雄にも雌にもあり、抜け替わることはない。ふたつに分かれた爪を利用して上手に険しい所を歩くことができ、岩の上などにじっと立っている習性がある。 —たくましさのシンボル—
 市の鳥／ライチョウ	日本アルプスの中で、2,000メートル以上の高山にのみ生息し、国の特別天然記念物に指定されている。“ゴロゴロ”と鳴くことから、“雷鳥”と名づけられた。キジやヤマドリと同じ仲間なので、飛翔はあまり得意でなく、天敵から身を守るために、夏の雄は黒褐色、雌は茶褐色、冬は純白とみごとに衣がえする。 —愛らしさのシンボル—
 総合(木、花、獣、鳥)	四つのシンボルを総合したもの。市の顔ともいえる美しい自然環境に生息する多くの動植物の中から、北アルプス一番街・大町に最もふさわしい、自然の麗しさ、優しさ、たくましさ、愛らしさのシンボルを選んだもので、「心の豊かさを誇れるまち」にしたいとの願いも込められている。

は じ め に

本書は大町市の自然や人口、産業、教育など各分野に関する基本的な統計資料を総合的に収録し、市勢の現況と推移発展を明らかにするものです。

特に本市は普通都市の形態をとりながら、工業、商業そして観光面にも意を注ぐことから、統計の果たす役割はきわめて大なるものがあります。

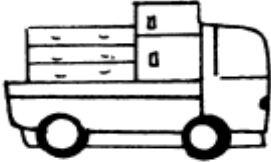
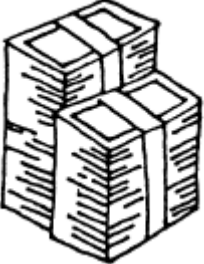
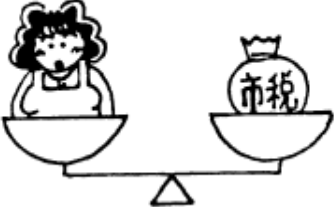
本書が、各分野で、基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

編集にあたりましては、より使いやすいようにと努めてまいりましたが、内容に不備な点等ございましたら、皆様からご指導いただき、より一層の充実を図って参りたいと存じます。

終わりに本書刊行に当たり、貴重な資料をご提供いただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。

長野県大町市長 牛越 徹

くらしのすうじ

人 口 密 度  1 k m² 55 人	出 産  1 日に 0.6 人	死 亡  1 日に 1.0 人
家 族  1 世帯に 2.7 人	結 婚  1 日に 0.3 組	離 婚  1 日に 0.1 組
小 学 生  6.5 世帯に 1 人	転 入  1 日に 2.2 人	転 出  1 日に 2.9 人
決 算  市民 1 人 510,136 円	市 税  市民一人当たり 153,232 円	乗 用 車  1 世帯に 1.3 台

(平成 20 年 10 月 1 日現在)

総 人 口 30,938 人

世 帯 数 11,508 戸

上 水 道  1 人 1 日平均 394ℓ	ごみ処理量  1 日当り 23.3 t	し尿処理量  1 日 42.8kℓ
救 急 出 動  1 日 7.5 件	消 防 職 員  市民 755 人に 1 人	交 通 事 故  1 日 0.7 件
病院・医院  397 世帯に 1 院	耕 地 面 積  1 農家当り 88.7a	商 店  30 世帯に 1 店
教 員  小学生 15.0 に 1 人 中学生 12.2 に 1 人	市議会議員  1,628 市民人に 1 人	市 職 員  93.6 人に 1 人

利 用 者 の た め に

- 1 本書は原則として、大町市の全般的な基本資料を掲載しています。
- 2 本書は原則として、平成20年及び最新の資料を収録しました。ただし、資料の有無、性質、及び編集の都合により異なるものもあります。
- 3 新大町市誕生（平成18年1月1日）前の数値については、合併前の大町市、旧八坂村、旧美麻村の合算値を表示しています。なお、合算できない統計表については、旧市村単位または、合併前の大町市の数値を表示しています。
- 4 資料は各官公庁・民間事業所及び庁内各部課等からの提供によるものと企画財政課において直接調査収集したもので、その出所は各表脚注に掲げてあります。
- 5 調査の時点、時期については、特に注記しないかぎり次のとおりです。
 - 「年」「年次」・・・・・・・・・・暦 年（1月～12月）
 - 「年 度」・・・・・・・・・・会計年度（4月～翌年3月）
 - 「年・月・日」・・・・・・・・・・調査年月日
- 6 数字の単位未満は、四捨五入してありますので、総数欄の数字と内訳の計は必ずしも一致しません。また、すでに公表されている数値と相違するものは、編集の際に訂正したものです。
- 7 統計中の符号は次のとおりです。
 - 「 - 」 事実のないもの
 - 「 ... 」 不詳または調査を欠くもの
 - 「 0 」 掲載単位に満たぬもの
 - 「 」 マイナスまたは赤字のもの
 - 「 X 」 調査対象が少なく秘密保護のため伏字としたもの

目 次

	くらしのすうじ	2
	利用者のために	4
	目 次	5
	沿 革	10
	明治以降の合併系図	11
	市 史 年 表	12
1	土 地・気 象	28
	位置と面積	28
	地目別土地面積	28
	年次別気象概況	29
	降雪・積雪量	29
2	人 口	30
	人口の推移	30
	年齢3区分別人口構成比の推移	31
	年齢3区分別人口の推移	31
	人 口 動 態	32
	大字別人口の推移	32
	出生率の推移	33
	年齢（5歳階級）別人口構成	34
	国籍別外国人登録者数	34
	人口集中地区別人口・面積・人口密度 D I D s	35
	15歳以上男女別労働力人口	35
	産業分類別就業者数	36
	産業別従業上の地位・男女別15歳以上就業者数	36
	職業分類別就業者数	37
	世帯の家族類型別一般世帯数・一般世帯人員及び親族人員	38
	世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員	38
	住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数・人員、 1世帯当たり延べ面積及び1人当たり延べ面積	40
	住居の種類・住宅の所有の関係別65歳以上の親族のいる一般世帯数・人員、 1世帯当たり延べ面積及び1人当たり延べ面積	41
	高齢者の年齢（5区分）、男女別高齢単身者数	42
	常住人口・流入流出人口及び昼間人口（通勤・通学ほか15歳以上）	42
	通勤者市町村別内訳（15歳以上）	43
	通学者市町村別内訳（15歳以上）	44
	町名別、男女別人口及び世帯数	45

3	行 政	49
	議会の開催状況	49
	市議会委員会の状況	49
	市議会会派別議員数	50
	年齢別議員数	50
	選挙の執行状況	51
	選挙人名簿登録者数等の推移	52
4	財 政	53
	一般会計歳入決算・歳出決算構成比	53
	会計別決算の状況	54
	市税の収入状況	54
	歳入内容別決算状況（一般会計）	56
	歳出内容別決算状況（一般会計）	56
	目的別市債の状況	57
	市税市民負担額の推移	58
	地方交付税の状況（普通交付税）	58
	市有財産	58
5	農 林 業	59
	専業・兼業別農家数と農家人口	59
	販売農家における主副業別農家数	59
	農業産出額の推移	60
	経営耕地面積の推移	60
	経営耕地の規模別農家数	61
	生産農業所得額の推移	62
	販売農家における農家人口と就業状態別世帯員数	62
	販売農家における家畜の頭羽数	63
	販売農家における年齢別農家人口	63
	個人有農業用機械台数	64
	農地の移動状況	64
	主要農作物作付面積及び収穫量	65
	林野面積	66
	林種別森林面積（計画面積）	66
6	事 業 所	67
	事業所数・従業者数の推移	67
	産業大分類別事業所数	67
	産業大分類別従業者数	67
7	工 業	68
	産業中分類別の製造品出荷額等の推移	68
	年次別の工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移	68

8	商 業	69
	卸売・小売業の推移	69
	年間商品販売額の推移	69
	商業の推移	69
	産業中分類別年間商品販売額の推移（卸売・小売業）	70
9	教 育・文 化	71
	学校総覧	71
	幼稚園の状況	71
	小学校の状況	72
	中学校の状況	72
	高等学校の状況	72
	中学校進路別卒業生数	73
	高等学校進路別卒業生数	73
	高等学校卒業生の産業大分類別就職者数（県内）	74
	高等学校卒業生の職業分類別就職者数（県内）	74
	高等学校卒業生の都道府県別大学等進学者数	75
	高等学校卒業生の県内地区別就職者数	75
	奨学金貸与の状況	75
	図書館貸出冊数の推移	76
	図書館登録者数（累計）	76
	図書館の蔵書と利用冊数	76
	夏期大学講座の受講者数	77
	山岳博物館の観覧状況	77
	文化財	78
10	労 働	89
	一般職業紹介の状況	89
	雇用保険失業給付の支給状況	89
	産業別平均賃金の実態	89
	附属施設の利用状況	90
	業種別・主な事故の型別労働災害発生状況	90
11	社 会・福 祉	91
	保育施設	91
	保育園の入園児童数の推移	91
	市民課窓口事務の処理状況	92
	国民年金の保険料納付等及び受給者の推移	92
	国民健康保険被保険者数・決算状況	93
	国民健康保険給付状況	93

	老人・乳幼児医療費支給状況	93
	老人福祉の状況	94
	福祉施設の利用状況	94
	障害別身体障害者数の推移	94
	知的障害者数の推移	95
	生活保護状況の推移	95
	生活保護費の推移	96
	共同募金の状況	96
12	保 健 衛 生	97
	医療施設数・医療従事者数の推移	97
	主な死因別死亡者数の推移	97
	市立大町総合病院の利用状況（延数）	97
	予防接種・検診等の状況	98
	ごみ処理の状況	98
	し尿処理の状況	99
	狂犬病予防法による犬の登録及び注射状況	99
	公害苦情処理件数	99
	北アルプス広域葬祭場の利用状況	100
13	建 設	102
	主要道路	102
	橋梁数	102
	主要河川	103
	幅員別の道路状況	104
	都市計画区域	104
	地域地区	104
	都市計画用途地域	105
	都市計画区域内の用途地域の指定のない区域	105
	建築確認申請の状況	105
	都市施設	106
14	水道・電気・ガス	107
	大町市水道事業普及状況	107
	大町市公営簡易水道事業普及状況	107
	大町市水道事業配水量の推移	107
	大町市公営簡易水道事業配水量の推移	107
	用途別栓数と給水量	108
	大町市水道事業水源施設状況	108
	大町市公営簡易水道事業水源施設状況	108
	都市ガスの需給状況	109
	電力需給状況	109

15	運 輸・通 信・	110
	信濃大町駅乗車人員の推移（一日平均）	110
	加入電話・公衆電話の回線数	110
	自動車の保有台数	110
	有線放送の利用状況	111
16	金 融・市民生活	112
	金融機関の預金・貸出残高状況	112
	消費者物価指数（年平均）	112
	制度資金の利用状況	113
	一人当たりの市民所得	113
	産業別市町村内総生産	113
	市町村民所得（分配）	114
17	公 安	115
	消防施設と人員	115
	救急出動及び搬送状況	115
	出火原因別の出火件数	115
	火災の発生件数・焼失面積と損害額等	116
	山岳遭難事故の状況	116
	交通違反	117
	交通事故	117
	刑法犯罪の発生件数と検挙件数	117
	各種登記事件数	118
	民事事件の推移	118
	刑事事件の推移	118
	家事事件の推移	118
18	観 光	119
	観光客の入込数の推移（延数）	119
	観光客の入込数（スキー場）	119
	観光地等の概要	120
	北アルプスの紹介	123
	大町の山岳標高一覧（2,400m以上）	124
資	料	
	行政組織機構図	126
	課等の事務分掌	128
	社会施設	129
	体育施設	130

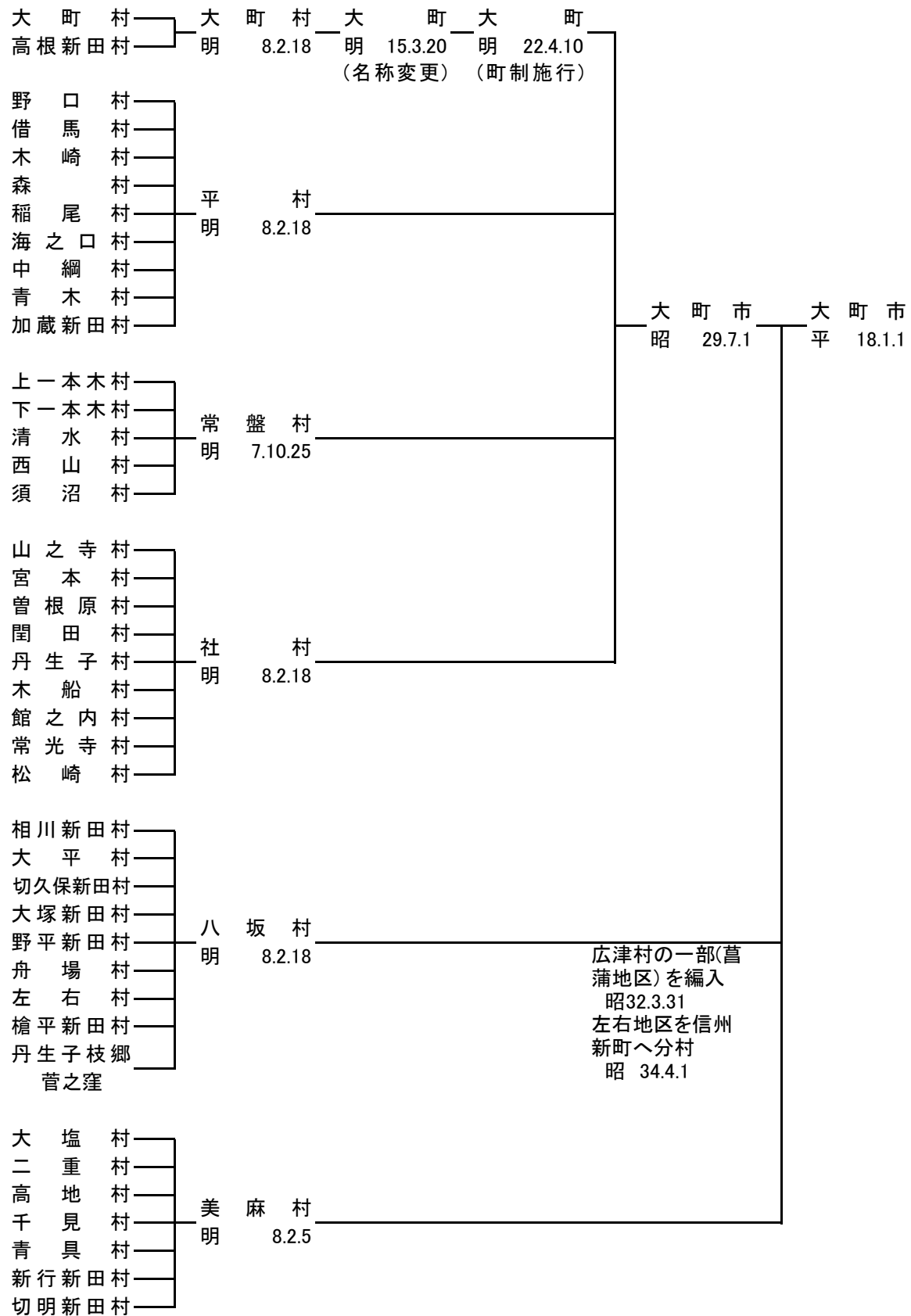
沿 革

この地方が、わが国の歴史の上に現われるようになったのは約 900 年前、伊勢の皇太神宮御領としての仁科御厨が設定されてからである。早くからこの地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしていたことから勢力を得、さらに進んで大町、平、常盤の開発にも力を用いてこれを皇室御領仁科庄とし、みずからはこれをも預かって支配するようになった。

仁科氏は、社の館の内に居館し平地区の森城を固めていたのであるが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るにいたった。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史的事情があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化をとり入れてこの地方の開発に意を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門(国宝)等のすぐれた文化財をのこしている。しかし今から約 400 年前、戦国時代の終わり近くにいたって、武田信玄のためその家系を絶っている。信玄はその子盛信をつかわしてその名跡をつがせたが、天正 9 年高遠城に去ってからまもなく、松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすことになったのである。その後江戸時代になってから、松本藩では北安曇地域に大町、池田、松川の 3 組を置いて治めていた。大町市域では、大町平(大町村、高根新田村及び平地区 9 カ村)と八郷(社区 8 カ村)とが大町組に、常盤地区 5 カ村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。仁科氏が領有していた年時から、この地域は北方日本海岸の北陸道ぞいの糸魚川方面と、南方松本方面とを結ぶ千国道(後の糸魚川街道)が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていたのである。そして、それらの物資や付近から多く産出した麻類その他集散地であつた大町は、宿駅的性格を基盤として商業都市として栄えるに至つたのである。明治維新後大町市域は、一時松本県に属したが明治 4 年筑摩県の成立するに及んでその管下に入り、同 9 年筑摩県が長野県の管下に移ることとなった。明治 8 年村々の合併の議が進み大町村と高根新田村が合併して大町村、社地区の 9 カ村を社村、平地区の 9 カ村を平村、常盤地区の 5 カ村を常盤村とした。同年 22 年町村制が実施され、その後多少の推移を経て昭和 29 年 7 月 1 日にいって町村合併促進法により、1 町 3 村の間に合併の議が成立し大町市が誕生した。

また、平成 15 年 3 月に、大町市、北安曇郡八坂村及び同郡美麻村の 3 市村で任意合併協議会を設置し、合併協議を進め、平成 16 年 2 月には法定合併協議会に発展させ、平成 18 年 1 月 1 日に合併特例法の適用を受け 3 市村の合併が実現した。

明治以降の合併系図



市 史 年 表

年 月 日	事 項
S 29. 5. 24	大町、平村、常盤村及び社村の合併の調印が成立
25	大町、平村、常盤村及び社村の町村長から長野県知事あてに町村合併によって大町市を設置し昭和29年7月1日から施行したい旨申請
6. 17	大町、平村、常盤村及び社村を廃し、その地区をもって大町市をおき、昭和29年7月1日から施行する旨知事名で告示（県告示第329号）
28	県告示の内容を内閣総理大臣名で告示（総理府告示第548号）
7. 1	市制施行
25	市長選挙、初代市長松田正人氏が当選
8. 1	大町市消防団結団式
10. 1	公益質屋を開設
S 30. 1. 14	社地区に上水道敷設
3. 20	市制施行後初の市議会議員選挙、定員30名
5. 10	大町～糸魚川間に直通バスの運行開始
7. 1	大町市連合婦人会が発足
8. 28	中綱に集団赤痢発生（患者発生数35人）
15	市立小中学校の完全給食を実施
11. 1	市財政の円滑な運用をはかるため愛市公債を発行
4	都市計画による大町駅前広場の拡張工事完成（工事費1,600万円）
12. 6	関電黒四発電所建設工事の資材輸送基地に大町市が決定し、市議会で協力援助を決議
S 31. 5. 20	大町警察署庁舎落成
6. 18	常盤中学校の普通教室、管理棟が新築落成（工事費1,425万円）
19	農作物の病虫害防除条例を制定
7. 30	日本専売公社大町出張所庁舎落成
9. 14	観音橋の架け替え工事完成（工事費2,840万円）
11. 27	市全域を都市計画区域に決定
S 32. 3. 27	山岳博物館指導の大映映画「白い山脈（動物記録映画）」完成、文部省特選となる
6. 3	北安曇教育会館落成
7. 31	鹿島大橋完成
8. 1	大町福祉園開設（工事費550万円）
15	大糸線全通
11. 1	大町山岳博物館落成開館（工事費360万円）
12	宮本橋の吊橋完成（工事費2,946万円）
23	大町高等学校校舎落成
12. 20	大町平上水道の敷設工事完成（工事費 1億1,450万円）
S 33. 3. 20	大町市南部及び北部新農村建設計画を策定
25	関電大町トンネル貫通
5. 30	青木湖一周湖畔道路完成
6. 5	市議会で原水爆実験禁止を政府に要請する決議文を議決
7. 6	市長選挙が行われ松田正人氏が再度当選
10	都市計画による仁科町街路拡張工事が完成（工事費2,345万円）
12. 11	子ども劇場を開設
S 34. 1. 22	関電工事請負の熊谷組作業所が火災により焼失（損害額6,400万円）
2. 1	大町南部農事放送施設が完成（工事費1,330万円）
3. 12	上原遺跡を買収、復元に着手
S 34. 3. 15	市議会議員一般選挙

- S 34. 3. 20 都市計画による町川下水路工事完成（工事費2, 100万円）
28 市立大町病院の一般病棟、結核病棟の増改築工事完成（工事費720万円）
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる
1 収納事務の合理化をはかるため市収入証紙制度を採用
1 北安南部伝染病院（池田町・松川村組合立）を大北伝染病院に統合
5 野口橋の架け替え工事完成（工事費4, 400万円）
6. 10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基本計画できる
7. 1 市制施行5周年記念式典及び祝賀行事を挙式
1 市民会館落成（工事費4, 310万円）
10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
17 大糸線信濃大町駅～信濃四ツ谷駅間の電化完成
8. 30 国宝仁科神明宮の防災工事完成（工事費180万円）
9. 26～27 伊勢湾台風により耕地、堤防などに大被害（被害額3億円）
10. 30 国宝仁科神明宮の式年造営（工事費120万円）
- S 35. 2. 1 市内各町、区に自治会結成発足
3. 1 大町北部農事放送施設が完成（工事費1, 940万円）
14 市財政の再建をはかるため財政再建申出を市議会で議決
18 市建設計画を策定（建設基本計画及び実施計画を市議会で議決）
31 総合グラウンド（野球場）完成（工事費2, 800万円）
7. 1 大糸線に北大町駅、稲尾駅が無人駅として開業
9. 8 老人クラブ連合会結成
15 総合グラウンドのテニスコート、バレーコートが完成（皇太子殿下成婚記念）（工事費105万円）
24 常盤農業会館落成（工事費2, 000万円）
11. 25 自治会連合会結成
- S 36. 2. 12 仁科神明宮の「縣仏」を重要文化財に指定
3. 10 上原遺跡のタテ穴保存工事完成（工事費5万円）
20 大町労働基準監督署庁舎落成
27 皇太子殿下来市（昭和電工大町工場、大町山岳博物館などをご視察）
28 宮本橋の吊橋に接続する永久橋完成（工事費3, 600万円）
28 大糸線にジーゼルカーの運転を開始
29 第一中学校普通教室、特別教室、管理棟落成（工事費6, 140万円）
4. 1 市の公金を取扱わせるため、市金庫を設置
1 平、常盤、社の3支所を廃止し、それぞれに出張所を設置
1 大町山岳博物館が高山植物「こまくさ」の低地栽培に成功
6. 15 秋父宮妃と高松宮ご夫妻が大町山岳博物館を見学
29 梅雨前線豪雨により、鹿島川、高瀬川の堤防などに被害（被害額6, 500万円）
7. 2 関電大町ルートに登山者用バスの運行を開始
10. 13 大町郵便局局舎落成
12. 1 第一中学校体育館落成（工事費2, 288万円）（第一中学校建設工事が完了）
1 かまど神社南に中央児童遊園地を設置（工事費95万円）
- S 37. 3. 17 安全都市を宣言、大町市安全会議を設置
20 農業共済事業を市に移管
3. 31 大北伝染病院落成（工事費1, 114万円）
4. 5 大町山岳博物館の北ア動物生態グループが雷鳥の生態研究結果を学会に発表
10 皇居外苑保存会から「こぶ白鳥」ひとつがいが増られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を作って放鳥
5. 1 大町市温泉開発株式会社が設立

- S 37. 6. 8 第3回全日本学生ワンデルングが鹿島大谷原で開かれる
27 鹿島川丸山堰堤完成（工事費3, 100万円）
7. 15 市長選が行われ、縣聰氏が当選
9. 6 青島に共同養豚組合が誕生（事業費700万円）
10. 1 常盤地区に第三保育園を開設（工事費303万円）
20 大町保健所庁舎落成
11. 1 大町山岳博物館の裏山にカモシカ園をつくり、カモシカ「岳子」を放し飼い
10 し尿処理施設「衛生センター」が完成（工事費4, 000万円）
10 葛温泉から上原、日向山、犬の窪までの引湯事業を県企画局が行うことに決定
12. 1 国鉄糸魚川～新宿間に急行列車の運行開始
9 大久保原で政財界、経済学者のグループによるエコノミスト村の起工式（村長・稲葉秀三氏）
10 農業機械化センターを設置
12. 20 公明選挙都市を宣言
25 水道の統合拡張5ケ年事業が認可
- S 38. 1. 30 隣接の美麻村から合併の申し入れ、大町市は研究を約束
2. 12 大町山岳博物館が北アルプス爺が岳で「冬期雷鳥調査」を開始
3. 15 居谷里地区に電灯がつき市内の無電灯世帯が解消
18 市議会で水稻農業共済事業の中止を議決
25 林道常盤線の災害復旧工事が完成（工事費960万円）
4. 6 源汲の永久橋架け替え工事が完成（工事費4, 100万円）
6. 5 黒部ダムが完成
10 針ノ木自然園総合学術調査を開始（黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備）
22 葛温泉からの引湯起工式
29 雷雨をとまなう降雹、大町、北安地区をおそい農作物に被害（被害額2億4, 000万円）
9. 4 市議会で松本諏訪地区新産都市指定申請に同意することを議決
10. 18 総合都市計画による街路の追加変更および廃止が認可（今後20年の都市計画街路網が正式に決定）
11. 18 水道拡張工事起工式（初年度事業着工）
12. 1 大町市社会福祉協議会が助産院を開設
1 鹿島槍国際スキー場が開設
- S 39. 1. 10 ニツ屋37年度災害復旧耕地事業完成（工事費926万円）
3. 3 大町市を含む松本諏訪地区が新産都市に指定される
4. 1 と蓄場移転落成（工事費1, 309万円）
5. 13 木崎湖「白鳥の池」でこぶ白鳥のヒナ3羽かえる
23 上原地区に集団赤痢が発生（患者53人）
6. 25 市制施行10周年記念NHK公開放送「のど自慢大会」を開催
7. 1 市制施行10周年記念式典を行なう
8. 1 黒四ダムが観光地として一般に開放
3 南北農事有線放送間にケーブル接続工事が完成し通話が可能となる（工事費165万円）
7 工場誘致による大沢製作所が落成
- S 39. 8. 28 皇太子殿下ご夫妻が黒四ダムをご視察
9. 1 NHK大町テレビ中継放送所（サテライト局）開局
11. 14 葛温泉から犬の窪、上原、日向山地区への大町引湯事業しゅん工
- S 40. 3. 1 大町山岳博物館が秩父宮学術賞受賞
3. 17 大町市開発公社発足
4. 1 常設消防署発足
- S 40. 4. 1 大町市第四保育園開設

S 40.	8.	3	消防庁舎完成
	10.	9	大町有料道路共用開始
S 41.	1.	13	若一王子神社三重塔を県宝に指定
	3.	1	大町市、北安地方の13農協が合併し大北農協が発足
	4.	14	若一王子神社の社務所が全焼
		15	大町山岳博物館にカモシカ放養園が完成
		26	呉羽紡績と東洋紡績が合併し呉羽紡績大町工場が東洋紡績大町工場として発足
		30	勤労者福祉センターが完成
	7.	10	市長選挙、縣聰氏再選される
	10.	10	常盤松原へ市営住宅20戸完成（松原団地へ初進出）
	12.	14	大沢寺本堂など全焼
S 42.	2.	25	社保育園しゅん工（工事費638万円）
	3.		市内に微少地震群発（42.3～43.12）
		3	市内中央通り駐車禁止
		31	仁科台中学校しゅん工（工事費2億7,500万円）
	7.	21	農免道路全線開通（2,214m）
S 43.	1.	28	市内電話自動化に切り換え
	2.	24	市営ごみ焼却場完成（工事費3,470万円）
	3.	21	市街地全面駐車禁止
	7.	1	社地籍の国土調査開始
		19	市民浴場完成（工事費2,522万円）
	9.	14	老人福祉センター完成（工事費1,540万円）
		23	第1回戦没者慰霊祭
		24	大町小学校校舎1棟全焼
	10.	1	大北農協のカントリーエレベーター完成（工事費1億2,000万円）
	11.	10	大原2号団地へ市営住宅10戸完成
		14	中部圏開発整備の保全区域として指定される
S 44.	2.	28	厚生事業センター落成（工事費820万円）
	4.	1	第五保育園落成（工事費1,115万円）
		17	異常降雪あり市内に被害でる
		17	都市計画人口31,741人となる（建設省告示）
	5.	23	県山岳総合センターしゅん工
	6.	5	大町市、平両森林組合合併
	8.	1	五日町踏切（147号線）立体交差開通（工事費3億6,100万円）
		2	大町小学校2棟建設起工式（工事費4,980万円）
		11	集中豪雨災害（8.11災害）で災害救助法適用（被害額22億6,300万円）
	9.	8	大町市霊園工事着工（工事費1,620万円）
		16	公害問題で気象調査開始
		22	中山地籍牧草地造成完了
S 44.	11.	4	8.11集中豪雨災害復旧の大北地区合同起工式
		6	扇沢総合案内センターしゅん工
		11	大町市臨時市議会で火力発電所建設について受入れ決定
		20	市民公園建設起工式（3ヶ年計画事業）
	12.	10	大町市文化財審議委員会決定
		12	霊松寺山線工事完了
S 45.	1.	31	大町小学校2棟しゅん工
	2.	19	米の生産調整で大町市の減反面積155ヘクタールの配分決まる
S 45.	3.	22	平小学校の野口（明治5年開設）、源汲（明治8年開設）分校閉校

- S 45. 3. 25 市立大町病院（ベット数180床）の新築工事起工、3ヶ年計画で（土地買収費7,300万円、工事費5億813万円）一部地下、地上5階の規模
28 大町市霊園しゅん工
4. 1 「敬老年金制度」満85歳以上の老人に年額6,000円の年金支給開始
22 大町市振興計画審議会発足
7. 12 市長選挙で縣聰氏三選される
8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
10. 12 市立図書館のしゅん工開館（工事費2,484万円）
24 大北地域公害対策推進協議会発足
- S 46. 3. 23 大町市振興計画基本構想議決
24 「大町市環境保全に関する条例」を制定
4. 1 「敬老年金制度」満80歳以上の老人に年金6,000円支給拡大
6. 1 立山・黒部アルペンルート全面開通
8. 1 75歳以上の医療費無料となる
10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
9. 12 市立大町病院しゅん工
31 新築された市立大町病院の一般診療開始
12. 10 平借馬地籍に市営住宅30戸建設完工（総工費3,660万円）
- S 47. 1. 1 児童手当支給
3. 25 44年災害復旧工事完成（鹿島岩鼻など58ヶ所工事費1億2,000万円）
4. 1 常盤2区国土調査開始
1 児童館開館（工事費738万円）
1 重度心身障害者の医療費無料となる
1 75歳以上老人の入院費無料となる
6. 7 長野県総合防災訓練実施
26 大町市同和対策審議会発足
7. 1 ゴミ収集区域の拡大と収集用紙袋へ切り替え
1 印鑑証明の様式変更
20 都市計画道路、中央道り線の拡幅工事に着工
7. 県、市、業者の3者による自然保護協会締結（日向山高原、青木湖西部地区開発）
8. 1 都市計画法による用途地域の原案、県から提示
24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
9. 16 台風20号により水道、耕地、林道等に被害発生（常盤全域4日間断水）
10. 31 し尿処理施設の増設工事完成（総工費1億500万円、1日50k1処理）
11. 20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
12. 25 東京電力株式会社の高瀬川開発補償6億5千万円で調印
- S 48. 1. 1 高齢者（70歳以上）医療費無料となる
S48. 2. 15～3. 3 市長、中日親善のための中国訪問
3. 1 南北有線合併により「大町市有線放送電話農業共同組合」として発足
25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」が中国へ贈られる
29 第六保育園しゅん工（総工費6,400万円）
30 都市計画用途地域の公聴会実施される
31 都市計画公園（西公園）しゅん工
4. 1～S 49. 3. 31 人権モデル地区に指定される
4. 1 常盤3区国土調査開始
1 2歳未満の乳幼児の医療費無料となる
1 電子計算機（NEAC-1240）導入
6. 15 「大町市勤労者互助会」発足

- S 49. 7. 8 自治消防発足25周年記念大会
7. 28 「土地を守る市民運動推進本部」発足
30 市民プールしゅん工（総工費約2,000万円）
9. 8 大北福祉会館起工
10. 1 「農業振興地域整備計画」公告
1 寝たきり老人の医療無料となる
15 都市計画法による用途地域告示
21 第1回大北身体障害者スポーツ大会
11. 29 大町市土地改良区総代選挙
12. 15 ごみ焼却炉電気集塵機増設
- S 49. 1. 5 運動公園建設工事着工
2. 21 昭和53年長野県国体サッカー競技会場に決定
3. 31 大北福祉会館しゅん工
6. 2 常盤小学校東校舎焼失
30 市長選挙で縣聰氏四選
7. 8 国道147号付け替え道路改良工事しゅん工（通称大町バイパス）
8. 30 大町市土地開発公社設立
10. 7 老人陶芸の家開館
11. 1 母子家庭等の医療費等無料になる
3 市制施行20周年記念式典、名誉市民に、鳥羽實、松田正人、一志茂樹3氏を顕彰
- S 50. 3. 31 大町北小学校建設工事着工
5. 8 勤労青少年ホーム開館
26 降雹による被害、常盤、社地区780戸（被害額1億6,000万円）
8. 13 第一保育園焼失
10. 1～2 第24回長野県公民館大会
12. 1 常盤小学校校舎5教室しゅん工
- S 51. 2. 14 第一回大町市民同和大会
3. 22 市庁舎起工、敷地18,500㎡ 総延建築面積8,825.105㎡
4. 1 第一保育園移転新築完成
1 少年補導センター教育委員会内設置
5. 1 大北緊急医療センター開設
6. 30 養護老人ホーム「鹿島荘」新築移転（収容定員54名）
7. 10 不用品交換コーナー開設
9. 18 やまびこ国体実行委員会が発足
- S 52. 2. 26 第2回部落解放市民大会
- S 52. 3. 22 市立平小学校閉校
4. 4 市立大町北小学校開校
5. 13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠（飼育21年3ヶ月余）
7. 2 市民憲章を制定
7. 21 市新庁舎が完成（総工費11億8,000万円）
30～31 国体リハーサル大会の全国選抜少年サッカー大会が開かれる
8. 1 印鑑登録と証明が「登録証方式」（カード）に変わる
23 常盤・松川土地改良区が「高瀬川右岸土地改良区」に改称
9. 12 大町市を美しくする推進協議会が発足
10. 25 平地区県営ほ場事業起工式
11. 2 高瀬川右岸県営かんがい事業しゅん工
12. 1 「広報おおまち」総集編発刊
- S 53. 2. 25 第3回部落解放市民大会

S 53.	4.	1	部落解放都市宣言
		1	市立大町総合病院に院内学級開設
	5.	15	第33回国体大町市の炬火の名称「仁科かがり火」と決定
	6.	29	市長選で高橋恭男氏無投票で初当選
	7.	9	大町市運動公園陸上競技場（第3種公認）完成
	8.	2	大町市役所平出張所、旧平小学校跡に移転
	10.	13	大出橋しゅん工
		15	第33回国民体育大会やまびこ国体開催（15日～20日）
		16	やまびこ国体サッカー競技会開始式
		19	常陸宮殿下ご夫妻サッカー競技ご観覧
	11.	2	仮称大町東小学校起工式
		5	第1回全国健康マラソン大会
	12.	2	大町市社会会館開設
		12	七倉ダムたん水開始
		26	高瀬ダムたん水開始
S 54.	3.	3	第4回部落解放市民大会
	5.	25	B&G財団大町海洋センター起工式
	7.	8	市制施行25周年記念式典
		9	高齢者職業相談室開設
		23	常盤小学校プール完成
		24	社地区県営ほ場整備事業起工式
	8.3～4		第1回大町やまびこまつり
		10	大町合同庁舎しゅん工式
		10	高瀬川上橋しゅん工式
		22	大町ダム本体コンクリート打設開始式
	8.	27	第三保育園起工式
	9.	26	市立大町総合病院診療棟増築工事しゅん工式（人口透析、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科診療開始）
		26	西公園グラウンド照明灯点灯式
	10.	8	衛生センター汚泥浄化施設起工式
		22	石油関係苦情相談所開設
	11.	9	市史編纂スタート
	11.16～18		仁科神明宮遷宮祭
	11.	29	B&G財団大町海洋センター開所
S 55.	3.	15	第5回部落解放市民大会
		26	第三保育園完成（総工費2億157万円）
	4.	27	仁科の里めぐり周遊観光バススタート
	5.	15	東京電力・中の沢発電所営業運転開始（自流水最大出力4万2千キロワット）
		21	大町ダム定礎式
		26	五日町踏切横断地下歩道工事開始
	6.	29	長野地方裁判所・家庭裁判所大町支部・大町簡易裁判所・長野地方検察庁大町支部・大町地区検察庁の庁舎しゅん工
	7.	25	平グラウンドの夜間照明点灯
		31	し尿浄化槽・汚泥処理施設が完成（工事費2億600万円）
	8.	2	第2回やまびこまつり
		6	市内施設めぐり実施される
	8.	11	「酒の博物館」が温泉郷にオープン
S 55.	8.	26	暴走族追放都市宣言

- S 55. 8. 27 林業会館（平木崎）しゅん工
9. 8 山岳博物館起工式
10. 15 市立大町総合病院にＣＴスキャナー（コンピューター・X線断層撮影装置）を導入
12. 28 大町市豪雪対策本部を設置（12月27日夕～1月7日断続的に大雪が降り大正2年以来の豪雪といわれる。56年5月30日解散）
- S 56. 1. 14 政府の雪害対策調査団が被害状況を視察
2. 13 B & G 大町海洋センター武道館しゅん工
3. 28 第6回部落解放市民大会
31 市立社小学校開校
4. 4 市立東小学校開校
21 大町エネルギー博物館起工式
4. 22～5. 5 パンダ「ランラン」のはく製が山岳博物館で公開（貸出し第1号）
5. 8 東京電力・新高瀬川発電所完成（最大出力128万キロワット）
18 五日町踏切横断地下歩道しゅん工（総工費2億2,855万円）
6. 27 林道前越線しゅん工（工事費4億4,450万円）
7. 1 大町市消費者問題協議会発足
8. 1 第3回やまびこまつり
10 大町福祉園起工式（平野口）
11. 27 大町市行政機構改善委員会発足
- S 57. 3. 6 第7回部落解放市民大会
4. 28 大町エネルギー博物館開館（総工費3億2,000万円）
5. 1 塩の道博物館開館
6. 5 大町山岳博物館開館（総事業費4億9,300万円）
12 初代市長で名誉市民の松田正人さん死去（92歳）
15 核兵器廃絶・軍備縮小を推進する都市宣言
17 昭和電工大町工場でアルミ精錬を停止
7. 4 市長選で高橋恭男氏再選される
9 B & G 大町海洋センター多目的広場完成（社小跡地）
12 市立大町総合病院病棟増築工事始まる
13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
8. 1 公共事業の入札結果を公表
- S 57. 8. 7 第4回やまびこまつり
8. 大町霊園に墓地112区画完成
9. 4 心身障害者救護施設「れんげ荘」しゅん工（収容定員80人）
9. 24～10. 8 NHK 大町市民のつどい開催「ひるのプレゼント」「おかあさんの勉強室」など収録
9. 25 第1回交通安全推進市民大会
27 文化公園建設研究委員会発足
10. 22 仁科三湖環境保全対策専門委員会発足
12. 21 市立大町総合病院病棟増築工事しゅん工
- S 58. 4. 1 市役所出張所（平、常盤、社）を廃止 平、常盤、社に公民館が設置される
1 近藤紡績大町工場の操業開始
6. 10 高瀬川観音橋の歩道新設
25 （仮称）大町西小学校校舎改築工事完成
7. 5 金融相談所の開設
7. 15 駅前駐車場整備工事完成
8. 2 築場バイパスの開通
9. 14 大原住宅団地造成工事しゅん工
- S 58. 9. 30 扇沢無料駐車場完成

- S 58. 12. 10 泉工場用地造成工事しゅん工
28 木崎湖へ白鳥 10羽飛来 (102日滞在)
- S 59. 2. 28 大町市豪雪対策本部設置
(2月27日から3月初めにかけて降雪、降雪量累計で56年をしのぐ。59年5月31日解散)
4. 1 平公民館・働く婦人の家 (複合施設) オープン (総工費3億500万円)
1 市立大町西小学校落成開校
5. 2 全天候テニスコートオープン
7. 1 市制30周年記念式典、大町市史 (第1・5巻) 刊行
1 国鉄信濃大町駅前整備計画委員会設置発足
9 市立大町西小学校プールしゅん工式
28 民俗資料館起工式
8. 7 豊科・糸魚川高速自動車道建設促進期成同盟会設立総会
7 青木湖ヒメマスセンターしゅん工式
10 (仮称) 大町南小学校起工式
9. 15 40年ぶりに木崎湖畔に里帰りする会開催
20 文化会館起工式
10. 1 大町ダムたん水式
6 天正寺の仁科氏居館跡を市文化財 (史跡) に指定
10 第1回大町シティマラソン開催
23 簗川大橋起工式
26 カモシカ2頭がオーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、ウィーン市のシューンブルン宮殿動物園へ贈られる
11. 19 大町市運動公園野球場建設工事起工式
26 高瀬溪谷緑地公園 (大町ダム公園) に泉小太郎モニュメント建立、除幕式が行われる
30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成 (総工費1, 359万円)
12. 7 高瀬川堤防道路 (市道須沼上一線) 工事着工
25 市制30周年記念事業、タイムカプセルを市役所の前庭へ埋設 (開扉時期西暦2054年)
- S 60. 2. 18 大町市とオーストリア・インスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
- S 60. 2. 27 名誉市民一志茂樹さん死去
4. 1 大北広域常備消防発足
1 民俗資料館がオープン (総事業費1億3, 000万円)
5 東電大町発電所 (大町ダム) の発電開始、出力1万3千キロワット
27 動物交換のアルプスマーモット二つがい、インスブルック市から山岳博物館に到着、一般公開される
5. 20 大町ワインが市場に出る (550本の限定販売、市価2, 000円)
7. 2 国営アルプス公園建設誘致促進期成同盟会設立総会開催される
8. 9 扇沢 (岩小屋沢) で土砂崩れ発生
10 B & G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
19 (仮称) 大町南小学校給食、特別教室棟が完成、使用開始
10. 16 建設省「大町ダム」しゅん工
11. 1 長野県建設労働者研修福祉センター「サン・アルプス大町」開館 (総工費3億5, 000万円)
7 林道子熊黒沢線しゅん工 (全長16.5 km)
10 大糸線ミステリー列車「のるじゃん号」運行 (行き先 国鉄飯山駅)
11. 29 簗川大橋しゅん工式 (総工事費1億9, 800万円)
12. 24 大糸線にヤナバスキー場前駅 (臨時) が開設される
- S 61. 3. 1 大町市史全五巻が完結
- S 61. 3. 12 大町市第二次総合計画基本構想議決

- S 61. 3. 24 大町市ほか12市町村が「松本・日本アルプス国際観光モデル地区」に指定される
29 大洞山霊松寺の山門、市文化財（有形文化財）に指定
31 高瀬川右岸堤防道路が完成
4. 20 大町市運動公園野球場がオープン（総事業費2億5,000万円）
5. 28 文化会館（大町公民館併設）がオープン（総事業費16億8,800万円）
6. 8 市立大町総合病院に全身用CTスキャナー導入
30 市長選挙、高橋恭男無投票で三選
30 新中湖橋が完成（総事業費2億3,640万円）
9. 15 昭和電工(株)大町工場で合理化計画により275人の退職希望者出る
30 常盤小学校（仮称大町南小学校）の体育館が完成（総事業費1億8,990万円）
11. 1 住民記録オンラインシステム導入
27 ごみ焼却場の建設着工
12. 3 長野大北地域オリンピック関連道路整備促進期成同盟会設立総会が開催される
16 大町市観光協会と千葉県鴨川市観光協会が姉妹提携の調印
- S 62. 3. 2 カワシンジュガイとヌマカイメンを市文化財（天然記念物）に指定
23 大沢寺の木造阿弥陀如来立像を市文化財（有形文化財）に指定
4. 1 市立大町南小学校開校
1 市障害者等共同作業所「ひまわりの家」オープン
1 大北地域が国の地域雇用開発等促進法の地域指定を受ける
6 加藤寿々子さん（松本市）から、島崎藤村から著名文化人直筆の手紙、蔵書など340点の寄贈を受ける
20 大町市運動公園多目的広場が完成、一般開放される
5. 1 大町市運動公園相撲場、弓道場がオープン
29 文化会館・大町公民館が東京建築賞・第13回建築作品コンクールで優秀賞を受賞
7. 4 森林劇場起工式
15 大町温泉郷にアルプス温泉博物館がオープン
8. 17 大黒町の舞台（山車）が県宝に指定される
- S 62. 8. 19 大町市運動公園体育館起工式
8. 20 まちづくりヤングフォーラム（若い世代による公開討論会）が発足
11.1~3 市立大町総合病院で創立60周年記念事業が行われる
12 新相川トンネルしゅん工式
29 暴力団追放大町地区総決起大会が開かれる
- S 63. 1. 14 市文化財に西正院の大姥尊坐像、天正寺山門（有形文化財）と霊松寺のオハツキイチョウ（天然記念物）を指定
3. 5 1998年冬季オリンピックの国内候補地決定を前に、大北地区冬季オリンピック招致総決起大会が開かれる（6月1日JOC総会で国内候補地長野に決定）
22 大町初の国際シンポジウム（21世紀のリゾートの造園の役割）が開催される
30 ごみ焼却場のしゅん工式
4. 1 大北地域の農業共済組合（北安曇地区、大町市、松川村）が合併。「北安曇地区農業共済組合」として発足
25 （社）大町市シルバー人材センター（会員115人）が発足
30 森林劇場完工式
5. 26 高瀬川堤防道路しゅん工式
- S 63. 7. 8 大北広域消防本部・大町消防署庁舎起工式
8. 19 市内中学校に初の外国人英語講師（指導助手）招へい
9. 26 大町市観光協会が募集した大町市の愛称に「北アルプス一番街」決まる
11. 6 大町市運動公園総合体育館しゅん工式（総事業費9億8,000万円）
- H 元.1.28~30 雪と氷の博覧会開催（延べ6万7,000人の入出）

- H 元. 3. 1 大町・平農協が大北農協と合併
 20 大北広域消防本部、新庁舎で業務開始（総事業費3億8,000万円）
 28 長性院の木造聖観世音菩薩立像を市文化財（有形文化財）に指定
4. 1 特別養護老人ホーム「カトレヤ」オープン
 25 農具川が環境庁の「ふるさといきものの里」に選定される
5. 13 夏期大学再建しゅん工式
 6. 2 まちづくり懇談会56人でスタート
 7. 1 市の木にオオヤマザクラ、花にカタクリ、獣にカモシカ、鳥にライチョウを制定
 2 市制施行35周年記念式典
 8. 1 有線テレビ・ACVが放送開始
10. 1 共同福祉施設「フレンドプラザ大町」がオープン
 2 上原にディサービスセンター開所
- H 2. 2. 8 仁科神明宮の作始め神事を県文化財（無形民俗文化財）に指定
 9 宮本橋架け替え工事起工式
3. 8 インスブルック市から友好提携5周年を記念して贈られたシャモア（アルプス・カモシカ）
 が山岳博物館に到着、一般公開される
6. 11 国営アルプスあづみの公園事業化決定
 7. 1 市長選挙で腰原愛正氏初当選
 10 建設省が実施した「手づくり郷土（ふるさと）賞」で「塩の道」がふるさとの坂道30選の
 一つになる
9. 23 第1回まちづくりシンポジウム開催
10. 9 大町市有料道路が一般道になり、無料開放される
 23 常盤青島の高瀬河原にある基盤岩を市天然記念物に指定
11. 19 大町都市計画公園9.6.1号アルプスあづみの公園都市計画決定
12. 27 箆川発電計画同意書提出
- H 3. 1. 1 駅前広場公園・文化公園完成
 2. 20 大町都市計画公園9.6.1号アルプスあづみの公園事業承認
 3. 25 立川市と姉妹都市の提携
 27 保健センター・大町公民館分室完成
4. 1 機構改革（部長制等導入）
 5. 31 盛蓮寺の観音坐像、薬師堂の如来立像を指定有形文化財、一本木神社境内のカシワの木を
 指定天然記念物に指定
6. 15 IOC総会により1998年冬季オリンピック開催都市が長野に決定
7. 30 大町市専門委員（5人）、市政懇話会委員（12人）を任命
8. 31 常盤南住宅団地造成、団地（34区画）しゅん工
11. 1 山岳博物館40周年記念式典、インスブルックからオオヤマネコが贈られる
 9 第2回まちづくりシンポジウム開催
- H 4. 1. 20 大町市在宅介護支援センターしゅん工式
 3. 2 大町森林管理センター開所式
 4. 19 森林生活改善センターしゅん工式
 5. 1 高瀬溪谷タクシー乗り入れ開始
- 19 市立大町山岳博物館、長野県大町高等学校のトキ標本、仏崎観音寺のアカマツ、天正寺
 のコウヤマキを市天然記念物に、弾誓寺観音堂木造伝弾誓上坐像と木造伝長音上人坐像を
 市有形文化財に指定
- H4.6.20～27 市民の海外視察団がヨーロッパを視察する
7. 14 常盤公民館再建しゅん工式（工事費3億4,600万円）
- 9.18～27 インスブルック市のアルペン動物園30周年記念式典に参列し、カモシカの剥製を贈呈。
 インスブルック市からはクロライチョウの寄贈を受ける

H 4.	10.	14	公共下水工事に着手 管きょ工事始まる
	11.	30	社山下にコミュニティ道路とポケットパーク完成
H 5.	3.	1	県景観重点地区に国道147号、148号沿いが指定される
	4.	1	老人訪問看護ステーション開所
		26	大北伝染病舎しゅん工式
		29	第1回緑化フェア開催
	5.	15	市役所が土曜完全閉庁になる
	6.	25	海の口のアカマツと俵町のキタコブシを天然記念物に指定
	7.2~10		第2回市民海外視察団ヨーロッパを視察する 山岳博物館からウィーンのシェーンブルン動物園に2頭のニホンカモシカを贈呈する
	7.	30	信州博覧会「大町・北安曇の日」開催される
	8.	11	大町病院増改築工事起工式
		12	霊松寺の山門を県宝に指定
H 6.		20	社山下にカタクリの庭オープン
	11.	10	下水道終末処理場「大町浄水センター」起工式
	3.	24	西小学校の体育館が完成（竣工式）
	4.	22	木崎湖南にバイパスが完成
	5.	11	アルプス囲碁村オープン
	6.	26	大町市長選挙 腰原愛正氏無投票2選
	7.	26	松本空港ジェット化オープン
	8.	11	宮本橋が完成（竣工式）
	11.	3	（民俗資料館開設10周年に）市制40周年記念式典
		30	大町病院の新館が完成（竣工式）
H 7.	3.	14	市労働会館が完成
	4.	17	立川市と「姉妹都市相互支援協定」を締結
	5.	5	第1回アルプス囲碁子ども大会
	5.	31	長野県総合防災訓練
	6.	3	劇団四季「演劇資料館」が開館
		12	大町らしい土産品をつくろうと「大町ブランド振興協会」設立
	7.	11	梅雨前線豪雨災害
	8.	22	氷見市と「姉妹都市相互支援協定」を締結
	9.	25	一般廃棄物最終処分場が高根町で着工
		22	アルプス搗精工場が完成（竣工式）
	23~24		第1回ロマン街道・塩の道産業と文化フェスティバル
	11.	13	社南部地区農業集落排水事業着工
		25	山岳博物館イヌワシ飼育舎が完成、一般公開
H 8.		5	ヨーロッパ・ジャパンウィーク参加
	1.	22	木崎湖バイパストンネルが貫通する
		31	大北職業訓練校新校舎が完成
	2.	28	大北広域市町村圏事務組合が「北アルプス広域行政組合」に改名する
	3.	28	大町総合病院増築整備事業が竣工する
	4.	7	女性消防団員17名が入団する
		15	「ゆーぷる木崎湖」竣工、20日オープン
	4.	22	都市計画街路東町線220mが開通する
	5.	20	県知事を迎え、大北地域経済サミットが開催される
	21~24		第18回世界アマチュア囲碁選手権戦が開催される
H 8.	6.	11	青木湖第一号トンネルが貫通する
	6.	19	須沼工業団地へ第一号として企業が進出する

- H 8. 7. 4 大北森林組合移転新築が完成する
5 信濃大町駅開業80周年記念式典が行われる
8. 1 信濃木崎夏季大学80周年記念式典が行われる
9. 21～22 塩の道会議開幕
11. 11 第2次総合計画(後期5年計画) 答申される
12. 3 堤防道路・蓮華大橋が完成し、冬季オリンピック関連道路開通する
19 木崎湖バイパスが開通する
- H 9. 2. 3 昭和電工大町工場の発電水利権が更新許可
3. 8 第1回U I ターン者を対象に「ようこそ大町見学会」開催
18 市役所庁舎分室が完成
27 一般廃棄物最終処分場「グリーンパーク」と、し尿処理施設「クリーンプラント」の完成式
31 大町市公共下水道の一部と社南部農業集落排水施設の全部が使用開始となる
4. 1 「大町おひさまカード」のサービス開始
9 「いいずら大町特産館」オープン
21 老人保健施設「虹の家」開所式
6. 13 五日町と八日町のポケットパークで竣工式
7. 1 冬季五輪大町市対策本部設置
8. 12 「自主防災会連絡会」設立総会
10. 1 大町―長野間「急行バス」運行開始
11. 29 J R 大糸線完全復旧(南小谷―小滝駅間)
12. 3 青木湖バイパスが開通
24 三日町バイパスが開通
- H 10. 1. 15 どか雪・市内の積雪量73 c m市役所に雪害対策本部を設置
1. 24 長野オリンピック冬季大会聖火リレー
2. 7～22 長野オリンピック冬季大会開催
3. 1 長野パラリンピック冬季大会聖火リレー
5～14 長野パラリンピック冬季大会開催
6. 21 大町市長選挙 腰原愛正氏無投票3選
7. 25 「北アルプスの里周遊バス」運行開始
9. 22 台風7号風害。りんご落下などの被害
10. 22 国営公園アルプスあづみの公園起工式
27～28 第36回女流アマ囲碁都市対抗戦
- H 11. 1. 13 向井千秋さんの『宇宙短歌』下の句募集で、南小4年の丹野真奈美さんが内閣総理大臣賞を受賞
2. 10 若一王子神社「銅造十一面観音坐像御生体残闕」が県宝に指定
3. 28 文化会館で『早春賦』のCD収録
4. 25 大町市議会議員22人当選。女性議員2人誕生
5. 28 大黒町ポケットパークが完成(市内4箇所目)
26 郵政省のケア・タウン構想事業がスタート。同時期にサテライト型ディサービスが始まる
7. 21 青島地区にニチコン(株)大町工場が完成
9. 大崎遺跡で縄文時代のクッキーが出土(日本最古)
16 山寺廃寺出土遺物の墨書経石など6点が県宝指定
10. 1 新・市立図書館オープン。利用者は数倍に増加
11. 12～14 仁科神明宮で、20年に一度の式年正遷宮祭
12. 3 やしろ公園東へ移転新築の第7保育園が完成
25 東洋紡績(株)大町工場閉鎖
- H 12. 2. 1 北アルプス広域連合発足。連合長は大町市長

- H 12. 4. 1 市民バス「ふれあい号」運行開始
7 ディサービスセンターかたくり開所
8 資源物の分別収集開始
5. 8 基準を超えるダイオキシン類排出のため環境プラント焼却炉運転停止
27 「黒部の太陽」フェスタ・オープニングイベント 炊き出しとコンサート
8. 10 流鏝馬会館開館
10. 2 特定環境保全公共下水道終末処理場「松川浄水苑」通水式
18 市営住宅大原団地第1工区19戸完成
22 文化会館にて早春賦歌碑除幕式
11. 11 文化公園など4会場でおたんじょ桜340本植樹。25年継続計画
- H 13. 3. 23 大町市第三次総合計画基本構想議決
27 ふれあいプラザ（4月2日開所）、おおまち情報センター（4月1日開所）完成
4. 22 平運動場、野球場完成
6. 30 総合福祉センター起工
7. 25 信濃大町駅前のロータリーが道路改良で対面通行へ
8. 10 若一王子神社の流鏝馬の神事が、県無形民俗文化財に指定
9. 28～10. 1 第15回全日本シニアソフトボール大会開催
10. 2 大町公園に北アルプス展望園地完成
13 山岳博物館創立50周年式典とシンポジウム開催
21 第1回アルプス囲碁村まつり「県知事・大町市長杯争奪囲碁大会」開催
11. 5 ホクト産業（長野市）が大町市に進出を発表。臨時市議会は、工場等誘致振興条例の一部改正案を可決
- H 14. 1. 9 大雪で豪雪対策本部を4年ぶりに設置
10 環境プラント排ガス高度処理施設整備工事竣工
2. 14 北アルプス広域葬祭場使用開始
3. 15 山岳文化都市宣言
5. 11 第1回「笑顔と元気でまちづくり事業」公開審査会開催
24～27 第20回全国シニアソフトボール大町大会開催
6. 26 市役所がISO14001を認証取得
30 大町市長選挙 腰原愛正氏4選果す
8. 5 住民基本台帳ネットワークシステムがスタート
10. 1 総合福祉センターがオープン
- H 15. 1. 5 日本棋院から「第2回囲碁普及大賞」を受賞
2. 1 2003大町雪まつり～冬のファンタジア～開催
26 「信越連帯新道」関係史料、飯嶋家文書市の指定文化財に指定
3. 15 大町市、八坂村、美麻村「大北地域任意合併協議会」を設立
4. 1 第一中学校2学期制スタート
27 大町市議会議員一般選挙が行われる
7. 30 東町駐車場オープン
8. 15 「木崎湖花火大会」5年ぶりに復活
10. 25～26 第7回全国ミニテニス交流信州大町大会が開催
12. 15 地元産のそば粉を使用したそば焼酎の完成発表（発売は1月1日から）
- H 16. 2. 4 大町市・八坂村・美麻村合併協議会を設立
3. 21 しらかば保育園しゅん工式
4. 1 大町市男女共同参画推進条例が施行
1 働く婦人の家が、女性未来館ピュアに名称変更
4 蔵の音楽館しゅん工
5. 15 スケボーパークしゅん工

H 16.	22～23	全国雪形フェスティバル開催
	7. 6	第一中学校全面改築事業起工式
	8. 27～29	第10回全国シニアソフトボール古希大会開催
	10. 16～17	市制施行50周年「記念式典」及び「笑顔と元気の夢フェスタ」開催
	20	社地区を中心に、台風23号による豪雨災害
H 17.	2. 7	中心商店街火災
	2. 8	大町市・八坂村・美麻村合併調印式
	4. 1	大町市南部在宅介護支援センター開所
	5. 24	上原の湯しゅん工式
	5. 30	第三配水地しゅん工式
	7. 20	新児童館（児童センター）建設工事起工式
	8. 31	高瀬溪谷緑地公園公衆トイレ完成
	9. 3～4	第39回全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
	10. 5	新観音橋開通式
	11. 1	3市村社会福祉協議会合併協議調印式
	21	市営住宅大原団地建設事業完成
	25	第一中学校新校舎開き
	27	八坂村閉村式
	12. 11	美麻村閉村式
H 18.	1. 1	大町市・八坂村・美麻村合併、新大町市誕生
	1. 29	市議会議員増員選挙
	2. 11	合併記念式典挙行
	3. 2	第一中学校体育館完成式
	27	新児童センター完成
	31	信濃大町駅前公衆トイレ完成
	4. 1	大町市社会福祉協議会合併
	3	北アルプス平日夜間小児科・内科急病センター開所
	5. 22	メンドシーノと姉妹都市の継続を調印
	7. 2	牛越徹大町市長無投票当選
	11. 1	大町商工会館、中心市街地多目的ホール・公衆トイレ完成
	12. 22	第一中学校全面改築事業しゅん工式
	12. 20	第4次総合計画基本構想議決
H 19.	3. 12	第4次総合計画策定
	4. 15	アルプス囲碁村会館開館式
	5. 24	はなのき保育園改築工事起工式
	12. 10	信州大学と大町市が「連携に関する協定」を締結
	26	美麻支所・美麻公民館しゅん工式
H 20.	5. 20	はなのき保育園完成式
	7. 22	街路若宮駅前線完成式
	8. 5	仁科台中学校全面改築事業起工式
	11. 26	緊急経済対策を発表
	11. 28	グリーンパーク第2期工事起工式

1. 土地・気象

位置と面積

平成20年10月1日現在

位 置	東 経	北 緯	標 高
大 町 市 役 所	1 3 7 ° 5 1 ' 3 "	3 6 ° 3 0 ' 1 0 "	7 2 6 m
八 坂 支 所	1 3 7 ° 5 5 ' 2 "	3 6 ° 2 9 ' 7 "	7 1 0 m
美 麻 支 所	1 3 7 ° 5 3 ' 3 8 "	3 6 ° 4 3 ' 1 3 "	8 7 2 m
大 町 市 面 積			5 6 4 . 9 9 k m ²

資料：企画財政課

地目別土地面積

平成20年1月1日現在

単位：km² %

項 目	総数	田	畑	宅地	山林	原野	池沼	雑種地	その他
面 積	564.9	24.3	7.4	10.6	119.2	7.1	10.6	4.2	381.5
構 成 比	100.0	4.3	1.3	1.9	21.1	1.3	1.9	0.7	67.5

資料：税務課

年次別気象概況

年次	気 温			天 気 日 数		風 向 風 速		降 水 量		日照時間
	平 均	最 高	最 低	快 晴	曇 天	平 均	最 大	総 量	最 大 量	
	℃	℃	℃	日	日	m/s	m/s	mm	mm	h
平成9年	9.4	31.7	△ 16.5	90	100	1.9	WSW9	1,182	49	1,750
10	10.4	30.2	△ 14.6	54	109	1.8	NNE11	1,738	80	1,459
11	10.0	31.9	△ 15.1	63	106	1.8	W10	1,446	101	1,709
12	9.7	33.8	△ 14.0	55	122	1.8	W10	1,345	92	1,689
13	9.6	33.6	△ 17.0	54	83	1.8	WNW9	1,342	64	1,727
14	10.2	35.0	△ 15.1	47	106	1.8	N9	1,418	102	1,686
15	9.5	33.6	△ 17.0	51	91	1.7	WSW10	1,414	50	1,581
16	10.3	33.1	△ 14.6	56	94	1.8	NW12	1,744	162	1,783
17	9.5	33.5	△ 14.8	49	110	1.8	WNW11	1,261	75	1,593
18	9.6	33.7	△ 15.9	53	126	1.7	W10/NW10	1,604	80	1,581
19	10.1	34.5	△ 11.5	63	99	1.8	N11	1,107	53	1,694
20	9.5	33.4	△ 15.6	64	95	1.8	WNW9	1,208	88	1,860

資料：長野県地方气象台、北アルプス広域消防本部

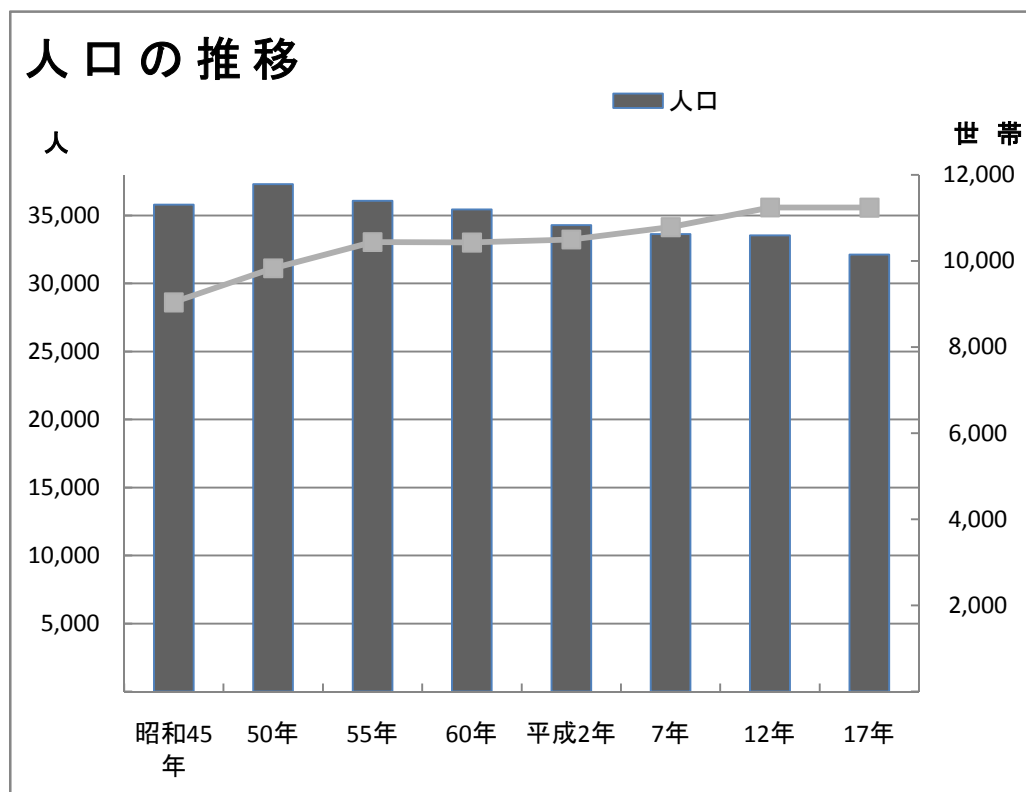
降雪・積雪量

年 次	降 雪 量		雪		月 別 積 雪 量 (最 深)			
	降雪量 合 計	一日の 降雪量	初 月 日	終 月 日	12月	1月	2月	3月
	cm	cm	月 日	月 日	cm	cm	cm	cm
平成 6～7 年	204	22	12. 5	3. 26	30	40	46	32
7～8	253	28	11. 8	4. 12	44	53	68	56
8～9	186	24	12. 1	3. 6	15	56	52	17
9～10	206	27	12. 2	4. 2	27	62	66	34
10～11	158	21	12. 24	3. 31	5	26	32	9
11～12	218	32	12. 7	3. 29	13	11	48	41
12～13	235	29	12. 25	3. 31	20	80	64	53
13～14	252	36	12. 8	4. 6	54	69	50	61
14～15	249	34	10. 29	4. 6	35	63	50	61
15～16	693	33	12. 9	4. 5	54	60	67	32
16～17	619	26	12. 6	4. 4	28	56	75	47
17～18	683	45	12. 3	4. 21	87	83	57	34
18～19	301	24	12. 18	3. 13	15	40	17	10
19～20	540	30	11. 21	…	23	43	58	58

資料：長野地方气象台

注「降雪量合計」は平成15～16年以降、集計方法が変ったため前年と比較できない。

2.人 口



人口の推移

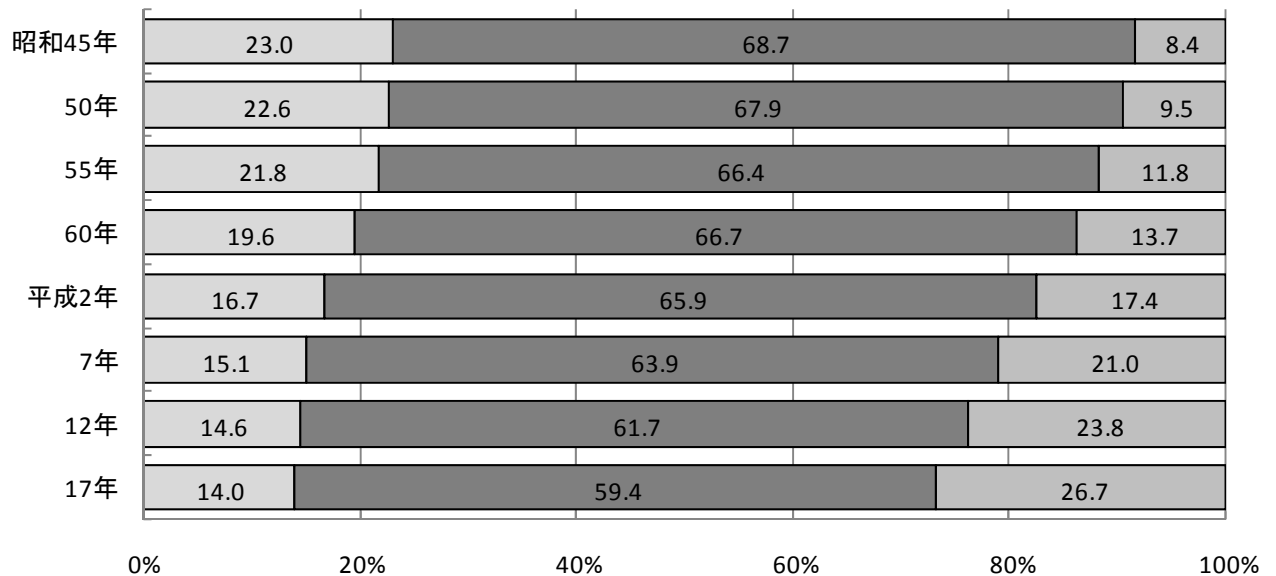
各年10月1日現在

年 次	世 帯 数	人 口	男	女
	世帯	人	人	人
昭和45年	9,041	35,817	17,088	18,729
50	9,830	37,311	18,243	19,068
55	10,441	36,083	17,521	18,562
60	10,432	35,460	17,098	18,362
平成2年	10,502	34,300	16,541	17,759
7	10,788	33,655	16,367	17,288
12	11,244	33,550	16,308	17,242
17	11,240	32,145	15,571	16,574

資料：国勢調査

年齢3区分別構成比の推移

□ 年少人口 ■ 生産年齢人口 □ 老年人口



年齢3区分別人口の推移

各年10月1日現在 (単位: 人・%)

年次	世帯数	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	年齢別割合			年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
						0～14	15～64	65以上				
						(年少人口)	(生産年齢人口)	(老年人口)				
昭和45年	9,041	35,817	8,228	24,594	2,995	23.0	68.7	8.4	33.5	12.2	45.6	36.4
50	9,830	37,311	8,446	25,326	3,539	22.6	67.9	9.5	33.3	14.0	47.3	41.9
55	10,441	36,083	7,860	23,969	4,254	21.8	66.4	11.8	32.8	17.7	50.5	54.1
60	10,432	35,460	6,967	23,636	4,857	19.6	66.7	13.7	29.5	20.5	50.0	69.7
平成2年	10,502	34,300	5,734	22,576	5,946	16.7	65.8	17.3	25.4	26.3	51.7	103.7
7	10,788	33,655	5,071	21,501	7,083	15.1	63.9	21.0	23.6	32.9	56.5	139.7
12	11,244	33,550	4,885	20,686	7,979	14.6	61.7	23.8	23.6	38.6	62.2	163.3
17	11,240	32,145	4,489	19,086	8,567	14.0	59.4	26.7	23.5	44.9	68.4	190.8

資料: 企画財政課 注) 年齢構成指数の説明

- ① 年少人口指数: 生産年齢人口に対する年少人口の比率
- ② 老年人口指数: 生産年齢人口に対する老年人口の比率
- ③ 従属人口指数: 生産年齢人口に対する年少人口と老年人口の計の比率
- ④ 老年化指数: 年少人口に対する老年人口の比率

人 口 動 態

年 次	増加人口	自 然 動 態			社 会 動 態			そ の 他			婚姻	離婚
		増減	出生	死亡	増減	転入	転出	増減	増	減		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	件	件
平成 16 年	△ 297	△ 64	255	319	△ 242	1,065	1,307	9	21	12	129	66
17	△ 403	△ 123	221	344	△ 287	948	1,235	7	20	13	146	49
18	△ 460	△ 141	218	359	△ 327	937	1,264	8	34	26	124	69
19	△ 362	△ 86	222	308	△ 297	828	1,125	21	29	8	119	54
20	△ 359	△ 144	207	351	△ 234	817	1,051	19	26	7	107	52

資料：市民課（毎月人口異動報告） 注）婚姻、離婚は本籍人届出数。

大字別人口の推移

年 次	総 数				大 町				世 帯 数
	世 帯 数	人 口	男	女	世 帯 数	人 口	男	女	
	世帯	人	人	人	世帯	人	人	人	世帯
昭和10年	4,163	21,457	11,133	10,324	2,188	10,637	5,553	5,084	768
15	4,567	23,711	11,669	12,042	2,566	12,977	6,272	6,705	761
22	5,492	28,827	13,253	15,574	3,175	16,256	7,133	9,123	867
25	5,749	30,508	14,118	16,390	3,353	17,473	7,665	9,808	909
30	6,229	30,722	14,715	16,007	3,749	17,610	8,157	9,453	955
35	7,508	35,151	17,745	17,406	4,632	19,619	9,140	10,479	1,188
40	7,700	32,085	15,143	16,942	4,860	19,179	8,741	10,438	1,018
45	8,122	31,899	15,181	16,718	5,156	19,239	8,971	10,268	1,015
50	8,983	33,844	16,518	17,326	5,548	19,752	9,396	10,356	1,342
55	9,605	32,966	15,981	16,985	5,714	18,755	8,976	9,779	1,661
60	9,565	32,451	15,647	16,804	5,669	18,032	8,658	9,374	1,489
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374	5,681	17,215	8,249	8,966	1,578
7	9,942	31,020	15,068	15,952	5,522	16,130	7,786	8,344	1,631
12	10,402	31,011	15,070	15,941	5,526	15,362	7,453	7,909	1,716
17	10,439	29,798	14,446	15,352	5,301	14,446	7,008	7,438	1,790

資料：企画財政課 注）1. 国勢調査に基づく数値を掲載。 2. 旧大町市の数値である。

出生率の推移

年 次	大 町 市		長 野 県	
	実 数	率	実 数	率
	人	‰	人	‰
昭和35年	590	18.3	30,772	15.5
40	576	18.0	31,532	16.1
45	498	15.6	31,390	16.0
50	574	17.0	31,712	15.7
55	373	11.3	27,187	13.0
60	276	8.5	24,176	11.3
平成2年	268	8.5	21,898	10.1
7	281	9.1	21,187	9.7
12	282	9.1	21,194	9.7
13	259	8.4	20,889	9.6
14	263	8.6	20,324	9.3
15	250	8.2	19,735	9.1
16	236	7.8	19,323	8.7
17	209	7.0	18,517	8.6
18	213	6.7	18,775	8.7
19	219	7.0	18,618	8.7

資料：長野県医務課「人口動態統計調査結果」

- 注) 1. 「‰」とは人口1,000人に対する比である。
 2. 比率計算に用いられた人口は各年の10月1日現在の
 国勢調査または推計による人口である。
 3. 合併前は、旧大町市の数値である。

各年10月1日現在

平			常		盤		社			
人 口	男	女	世 帯 数	人 口	男	女	世 帯 数	人 口	男	女
人	人	人	世帯	人	人	人	世帯	人	人	人
4,110	2,225	1,885	789	4,494	2,280	2,214	418	2,216	1,075	1,141
3,820	1,945	1,875	817	4,673	2,347	2,326	423	2,241	1,105	1,136
4,391	2,179	2,212	975	5,618	2,738	2,880	475	2,562	1,203	1,359
4,664	2,350	2,314	1,014	5,763	2,848	2,915	473	2,608	1,255	1,353
4,951	2,578	2,373	1,036	5,671	2,803	2,868	489	2,490	1,177	1,313
7,341	4,639	2,702	1,130	5,594	2,712	2,882	558	2,597	1,254	1,343
4,786	2,529	2,257	1,153	5,261	2,499	2,762	669	2,859	1,374	1,485
4,494	2,288	2,206	1,303	5,491	2,627	2,864	648	2,675	1,295	1,380
5,656	3,052	2,604	1,394	5,750	2,769	2,981	699	2,686	1,301	1,385
5,377	2,763	2,614	1,519	6,134	2,922	3,212	711	2,700	1,320	1,380
5,257	2,584	2,673	1,671	6,453	3,087	3,366	736	2,709	1,318	1,391
5,395	2,623	2,772	1,772	6,556	3,170	3,386	679	2,431	1,181	1,250
5,379	2,633	2,746	1,965	6,783	3,310	3,473	824	2,728	1,339	1,389
5,382	2,638	2,744	2,220	7,288	3,513	3,775	940	2,979	1,466	1,513
5,229	2,536	2,693	2,395	7,306	3,521	3,785	953	2,817	1,381	1,436

年齢（5歳階級）別人口構成

各年10月1日現在

年次	平成12年				平成17年				比較増減
	男	女	計	構成比	男	女	計	構成比	
歳	人	人	人	%	人	人	人	%	人
総数	16,308	17,242	33,550	100.0	15,571	16,574	32,145	100.0	△ 1,405
0～4	839	805	1,644	4.9	641	662	1,303	4.1	△ 341
5～9	848	745	1,593	4.7	811	760	1,571	4.9	△ 22
10～14	832	816	1,648	4.9	862	753	1,615	5.0	△ 33
15～19	818	771	1,589	4.7	681	692	1,373	4.3	△ 216
20～24	781	773	1,554	4.6	601	557	1,158	3.6	△ 396
25～29	1,103	1,065	2,168	6.5	886	782	1,668	5.2	△ 500
30～34	1,062	1,008	2,070	6.2	1,021	1,002	2,023	6.3	△ 47
35～39	960	934	1,894	5.6	997	967	1,964	6.1	70
40～44	955	928	1,883	5.6	934	905	1,839	5.7	△ 44
45～49	1,147	1,121	2,268	6.8	942	902	1,844	5.7	△ 424
50～54	1,421	1,336	2,757	8.2	1,143	1,098	2,241	7.0	△ 516
55～59	1,153	1,164	2,317	6.9	1,366	1,333	2,699	8.4	382
60～64	1,044	1,142	2,186	6.5	1,110	1,167	2,277	7.1	91
65～69	1,083	1,239	2,322	6.9	969	1,103	2,072	6.4	△ 250
70～74	973	1,237	2,210	6.6	964	1,176	2,140	6.7	△ 70
75～79	693	991	1,684	5.0	812	1,127	1,939	6.0	255
80～84	357	621	978	2.9	531	855	1,386	4.3	408
85～89	178	378	556	1.7	219	478	697	2.2	141
90～94	55	142	197	0.6	63	193	256	0.8	59
95～99	6	24	30	0.1	13	54	67	0.2	37
100以上	0	0	0	0.0	3	1	4	0.0	4
不詳	—	—	—	—	3	—	3	0.0	3

資料：国勢調査

国籍別外国人登録者数

各年3月31日現在

年次 国籍	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
	人	人	人	人	人
総数	596	527	481	472	553
韓国及び朝鮮	126	126	122	125	125
中国	72	78	90	98	105
ブラジル	204	164	134	115	160
タイ	35	35	43	45	45
フィリピン	138	104	65	63	70
その他	21	20	27	26	48

資料：市民課

人口集中地区別人口・面積・人口密度 DIDs

各年10月1日現在（単位：人・km²）

市	人 口			面 積			人 口 密 度	
	人 口 集 中 地 区 (DIDs)	市 全 域	全域に対す る人口集中 地区の割合	人 口 集 中 地 区 (DIDs)	市 全 域	全域に対す る人口集中 地区の割合	人 口 集 中 地 区 (DIDs)	市 全 域
昭和55年	9,201	32,966	26.8	2.2	464.16	0.47	4,152.3	71.0
60	8,426	32,451	26.0	2.2	464.16	0.47	3,830.0	69.9
平成2年	9,691	31,597	30.7	2.7	464.84	0.58	3,589.3	68.0
7	9,318	31,020	30.0	2.7	464.84	0.58	3,451.1	66.7
12	8,029	31,011	25.9	2.6	464.84	0.56	3,088.1	66.7
17	7,535	29,798	25.3	2.6	464.84	0.56	2,954.9	64.1

資料：国勢調査

注）旧大町市の数値である。

15歳以上男女別労働力人口

平成17年10月1日現在

区 分	15歳以上 人 口	労 働 力 人 口							非労働力 人 口
		労働力 人口計	就 業 者					完全失業者	
			就業者計	主に仕事	家 事 の ほか仕事	通 学 の かたわら 仕 事	休 業		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総 数	27,653	17,578	16,655	13,845	2,480	77	253	923	9,907
15～64歳	19,086	15,099	14,243	12,199	1,787	77	180	856	3,847
65歳以上	8,567	2,479	2,412	1,646	693	—	73	67	6,060
男	13,254	10,084	9,454	9,053	223	34	144	630	3,063
15～64歳	9,681	8,601	8,028	7,833	77	34	84	573	986
65歳以上	3,573	1,483	1,426	1,220	146	—	60	57	2,077
女	14,399	7,494	7,201	4,792	2,257	43	109	293	6,844
15～64歳	9,405	6,498	6,215	4,366	1,710	43	96	283	2,861
65歳以上	4,994	996	986	426	547	—	13	10	3,983

資料：国勢調査

産業分類別就業者数

各年10月1日現在

産業分類	平成7年			平成12年			平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	人 18,907	人 10,974	人 7,933	人 18,170	人 10,493	人 7,677	人 16,655	人 9,454	人 7,201
第一次産業	1,864	961	903	1,686	869	817	1,797	969	828
農業	1,783	893	890	1,615	808	807	1,743	918	825
林業	76	65	11	70	60	10	49	46	3
漁業	5	3	2	1	1	—	5	5	—
第二次産業	7,119	4,854	2,265	6,615	4,669	1,946	5,112	3,757	1,355
鉱業	39	34	5	41	37	4	16	15	1
建設業	3,022	2,561	461	2,768	2,342	426	2,075	1,785	290
製造業	4,058	2,259	1,799	3,806	2,290	1,516	3,021	1,957	1,064
第三次産業	9,913	5,156	4,757	9,861	4,952	4,909	9,647	4,675	4,972
電気・ガス・熱供給・水道業	209	177	32	228	206	22	184	169	15
情報通信業・運輸業	874	721	153	788	625	163	783	635	148
卸売・小売業	3,214	1,466	1,748	2,862	1,239	1,623	2,347	1,029	1,318
金融・保険業	297	122	175	256	113	143	215	88	127
不動産業	62	42	20	58	45	13	54	32	22
飲食店・宿泊業							1,353	512	841
医療、福祉・教育、学習支援業	4,612	2,148	2,464	5,001	2,247	2,754	4,134	1,788	2,346
複合サービス事業、サービス業									
公務	645	480	165	668	477	191	577	422	155
分類不能の産業	11	3	8	8	3	5	99	53	46

資料：国勢調査 注)産業大分類は、平成17年国勢調査による。平成12年以前の「飲食店」は「卸売、小売業」に、「宿泊業」は「サービス業」にそれぞれ分類。

産業別従業上の地位・男女別15歳以上就業者数

産業大分類	従業上の地位	総数				男	
		総数	雇用者・役員含	自営業主・家庭内職者含	家族従事者	総数	雇用者・役員含
		人	人	人	人	人	人
総数		16,655	13,250	2,337	1,067	9,454	7,526
農業		1,743	255	909	579	918	100
林業		49	37	10	2	46	35
漁業		5	5	—	—	5	5
鉱業		16	13	2	1	15	13
建設業		2,075	1,665	327	83	1,785	1,424
製造業		3,021	2,834	152	35	1,957	1,859
電気・ガス・熱供給・水道業		184	184	—	—	169	169
情報通信業・運輸業		783	740	40	2	635	596
卸売・小売業		2,347	1,995	234	118	1,029	862
金融・保険業		215	207	8	—	88	83
不動産業		54	46	8	—	32	29
飲食店・宿泊業		1,353	1,011	209	133	512	373
医療、福祉・教育、学習支援業		4,134	3,587	435	112	1,788	1,504
複合サービス事業、サービス業							
公務		577	577	—	—	422	422
分類不能の産業		99	94	3	2	53	52

資料：国勢調査

職業分類別就業者数

各年10月1日現在

区 分	平成 7 年			平成 12 年			平成 17 年		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総 数	18,907	10,974	7,933	18,170	10,493	7,677	16,655	9,454	7,201
専 門 的 ・ 技 術 的 職 業 従 事 者	1,795	1,024	771	1,874	1,036	838	1,637	779	858
管 理 的 職 業 従 事 者	676	599	77	492	442	50	368	336	32
事 務 従 事 者	3,025	1,168	1,857	2,954	1,083	1,871	2,702	1,028	1,674
販 売 従 事 者	1,961	1,051	910	1,877	1,053	824	1,675	903	772
農 林 ・ 漁 業 作 業 者	1,841	960	881	1,685	878	807	1,742	977	765
運 輸 ・ 通 信 従 事 者	637	576	61	596	564	32	515	469	46
技 能 工 ・ 生 産 工 程 作 業 ・ 労 務 作 業 者	7,015	4,814	2,201	6,606	4,604	2,002	5,862	4,161	1,701
保 安 職 業 従 事 者	159	151	8	188	176	12	183	168	15
サ ー ビ ス 職 業 従 事 者	1,787	628	1,159	1,890	654	1,236	1,873	581	1,292
分 類 不 能 の 職 業 従 事 者	11	3	8	8	3	5	98	52	46

資料：国勢調査

平成17年10月1日現在

男		女			
自営業主・ 家庭内職者含	家族従事者	総数	雇用者・ 役員含	自営業主・ 家庭内職者含	家族従事者
人	人	人	人	人	人
1,776	151	7,201	5,724	561	916
770	48	825	155	139	531
10	1	3	2	—	1
—	—	—	—	—	—
2	—	1	—	—	1
327	34	290	241	—	49
94	4	1,064	975	58	31
—	—	15	15	—	—
38	—	148	144	2	2
144	23	1,318	1,133	90	95
5	—	127	124	3	—
3	—	22	17	5	—
119	20	841	638	90	113
263	21	2,346	2,083	172	91
—	—	155	155	—	—
1	—	46	42	2	2

世帯の家族類型別一般世帯数・一般世帯人員及び親族人員

項 目	一 般									
	総 数	親 族								
		総 数	核 家 族 世 帯						そ	
			総 数	夫 婦 のみの 世 帯	夫婦と 子供か ら成る 世 帯	男親と 子供か ら成る 世 帯	女親と 子供か ら成る 世 帯	総 数	夫婦と 両親か ら成る 世 帯	
世帯数	11, 225	8, 692	6, 140	2, 466	2, 761	139	774	2, 552	144	
世帯人員	31, 854	29, 279	17, 088	4, 944	10, 033	319	1, 792	12, 191	576	
親族人員	31, 769	29, 236	17, 057	4, 932	10, 030	312	1, 783	12, 179	576	
1世帯当たり親族人員	2. 83	3. 36	2. 78	2. 00	3. 63	2. 24	2. 30	4. 77	4. 00	
（再掲）6歳未満の親族のいる世帯の数	1, 180	1, 180	706	—	669	2	35	474	—	
6歳未満の親族のいる世帯の人員	5, 478	5, 478	2, 732	—	2, 628	6	98	2, 746	—	
6歳未満の親族人員	1, 584	1, 584	979	—	936	2	41	605	—	
（再掲）18歳未満の親族のいる世帯の数	2, 956	2, 953	1, 656	—	1, 462	20	174	1, 297	—	
18歳未満の親族のいる世帯の人員	13, 635	13, 632	6, 346	—	5, 802	53	491	7, 286	—	
18歳未満の親族人員	5, 355	5, 352	2, 981	—	2, 672	27	282	2, 371	—	
（再掲）親族のみから成る一般世帯の数	11, 157	8, 660	6, 118	2, 459	2, 759	135	765	2, 542	144	
親族のみから成る一般世帯の人員	31, 635	29, 138	17, 005	4, 918	10, 024	303	1, 760	12, 133	576	

資料：国勢調査

世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員

平成17年10月1日現在

一 般 世 帯											
世 帯 数										世帯人員	1世帯 当たり 人 員
総 数	世帯人員 1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人	9人以上		
11, 225	2, 497	3, 234	2, 047	1, 697	894	563	243	39	11	31, 854	2. 84

資料：国勢調査

平成17年10月1日現在

世帯											
世帯									非親族世帯	単独世帯	
の	他	の	親	族	世	帯					
夫婦とひとり親から成る世帯	夫婦、子供と両親から成る世帯	夫婦、子供とひとり親から成る世帯	夫婦と他の親族（親、子供を含まない）から成る世帯	夫婦、子供と他の親族（親を含まない）から成る世帯	夫婦、親と他の親族（子供を含まない）から成る世帯	夫婦、子供、親と他の親族から成る世帯	兄弟姉妹のみから成る世帯	他に分類されない親族世帯			
343	627	817	27	143	65	172	46	168	36	2,497	
1,030	3,771	3,897	89	662	343	1,138	96	589	78	2,497	
1,029	3,768	3,895	89	661	342	1,136	96	587	36	2,497	
3.00	6.01	4.77	3.30	4.62	5.26	6.60	2.09	3.49	1.00	1.00	
—	185	110	1	43	11	105	—	19	—	—	
—	1,125	558	4	205	77	701	—	76	—	—	
—	251	126	1	45	14	146	—	22	—	—	
—	505	432	3	108	16	160	—	73	—	3	
—	3,095	2,202	15	508	106	1,068	—	292	—	3	
—	998	803	5	152	22	277	—	114	—	3	
342	625	815	27	142	64	171	46	166	—	2,497	
1,026	3,755	3,886	89	656	338	1,130	96	581	—	2,497	

住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数・人員、 1世帯当たり延べ面積及び1人当たり延べ面積

大町市

平成17年10月1日現在

住居の種類・ 住宅の所有の関係（6区分）	世帯数	世 人 帯 員	1世帯当たり 人 員	1世帯当たり 延べ面積 （㎡）	1人当たり 延べ面積 （㎡）
一般世帯	10,425	29,541	2.83	—	—
住宅に住む一般世帯	10,078	29,130	2.89	138.6	48.0
主世帯	9,996	28,953	2.90	139.4	48.1
持ち家	7,798	24,185	3.10	163.2	52.6
公営・公団・公社の借家	725	1,767	2.44	48.7	20.0
民営の借家	1,109	2,175	1.96	57.7	29.4
給与住宅	364	826	2.27	59.4	26.2
間借り	82	177	2.16	41.0	19.0
住宅以外に住む一般世帯	347	411	1.18	—	—

旧八坂村

住居の種類・ 住宅の所有の関係（6区分）	世帯数	世 人 帯 員	1世帯当たり 人 員	1世帯当たり 延べ面積 （㎡）	1人当たり 延べ面積 （㎡）
一般世帯	370	1,078	2.91	—	—
住宅に住む一般世帯	366	1,074	2.93	159.0	54.2
主世帯	366	1,074	2.93	159.0	54.2
持ち家	306	900	2.94	173.8	59.1
公営・公団・公社の借家	40	133	3.33	80.7	24.3
民営の借家	9	22	2.44	105.7	43.3
給与住宅	11	19	1.73	77.3	44.7
間借り	—	—	—	—	—
住宅以外に住む一般世帯	4	4	1.00	—	—

旧美麻村

住居の種類・ 住宅の所有の関係（6区分）	世帯数	世 人 帯 員	1世帯当たり 人 員	1世帯当たり 延べ面積 （㎡）	1人当たり 延べ面積 （㎡）
一般世帯	430	1,235	2.87	—	—
住宅に住む一般世帯	430	1,235	2.87	151.2	52.7
主世帯	429	1,234	2.88	151.5	52.7
持ち家	333	967	2.90	173.4	59.7
公営・公団・公社の借家	85	246	2.89	67.3	23.3
民営の借家	9	19	2.11	140.8	66.7
給与住宅	2	2	1.00	133.0	133.0
間借り	1	1	1.00	49.5	49.5
住宅以外に住む一般世帯	—	—	—	—	—

資料：国勢調査

住居の種類・住宅の所有の関係別65歳以上の親族のいる一般世帯数・人員、
1世帯当たり延べ面積及び1人当たり延べ面積

大町市

平成17年10月1日現在

区 分	世帯数	世帯人員	65歳以上 親族人員	1世帯 当たり 人員	1世帯 当たり 延 面 積 (m ²)	1人 当たり 延 面 積 (m ²)
65歳以上親族のいる一般世帯	5,244	15,959	7,622	3.04	—	—
住宅に住む一般世帯	5,229	15,937	7,604	3.05	163.2	53.6
主 世 帯	5,218	15,920	7,591	3.05	163.5	53.6
持 ち 家	4,822	15,236	7,121	3.16	172.2	54.5
公 営 ・ 都市機構 ・ 公社の借家	195	327	230	1.68	46.7	27.8
民 営 の 借 家	186	317	225	1.70	67.3	39.5
給 与 住 宅	15	40	15	2.67	97.5	36.6
間 借 り	11	17	13	1.55	34.5	22.3
住宅以外に住む一般世帯	15	22	18	1.47	—	—

旧八坂村

区 分	世帯数	世帯人員	65歳以上 親族人員	1世帯 当たり 人員	1世帯 当たり 延 面 積 (m ²)	1人 当たり 延 面 積 (m ²)
65歳以上親族のいる一般世帯	250	736	365	2.94	—	—
住宅に住む一般世帯	250	736	365	2.94	179.2	60.9
主 世 帯	250	736	365	2.94	179.2	60.9
持 ち 家	245	720	360	2.94	181.1	61.6
公 営 ・ 都市機構 ・ 公社の借家	5	16	5	3.20	87.0	27.2
民 営 の 借 家	—	—	—	—	—	—
給 与 住 宅	—	—	—	—	—	—
間 借 り	—	—	—	—	—	—
住宅以外に住む一般世帯	—	—	—	—	—	—

旧美麻村

区 分	世帯数	世帯人員	65歳以上 親族人員	1世帯 当たり 人員	1世帯 当たり 延 面 積 (m ²)	1人 当たり 延 面 積 (m ²)
65歳以上親族のいる一般世帯	254	716	382	2.82	—	—
住宅に住む一般世帯	254	716	382	2.82	171.9	61.0
主 世 帯	253	715	381	2.83	172.4	61.0
持 ち 家	243	697	369	2.87	177.1	61.7
公 営 ・ 都市機構 ・ 公社の借家	9	17	11	1.89	56.5	29.9
民 営 の 借 家	1	1	1	1.00	83.0	83.0
給 与 住 宅	—	—	—	—	—	—
間 借 り	1	1	1	1.00	49.5	49.5
住宅以外に住む一般世帯	—	—	—	—	—	—

資料：国勢調査

高齢者の年齢（5区分）、男女別高齢単身者数

平成17年10月1日現在

区 分	総 数	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	(別掲) 60歳以上
65歳以上の高齢単身者数	1,029	190	238	257	213	131	1,219
男	255	63	58	57	48	29	350
女	774	127	180	200	165	102	869

資料：国勢調査

常住人口・流入流出人口及び昼間人口（通勤・通学ほか 15歳以上）

大町市

各年10月1日現在

年 次	(a)常住人口	(b) 流 入		(c) 流 出		昼 間 人 口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住100人 当 たり 昼間人口
		従 業	通 学	従 業	通 学			
昭和60年	32,451	3,001	663	2,543	457	33,115	664	102.0
平成2年	31,553	2,940	701	3,276	541	31,377	△ 176	99.4
7	31,020	3,281	594	3,464	680	30,751	△ 269	99.1
12	31,011	3,465	411	3,719	592	30,576	△ 435	98.6
17	29,795	3,630	440	3,661	562	29,642	△ 153	99.5

旧八坂村

各年10月1日現在

年 次	(a)常住人口	(b) 流 入		(c) 流 出		昼 間 人 口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住100人 当 たり 昼間人口
		従 業	通 学	従 業	通 学			
昭和60年	1,499	76	—	346	77	1,152	△ 347	76.9
平成2年	1,363	75	—	308	37	1,093	△ 270	80.2
7	1,315	119	—	270	43	1,121	△ 194	85.2
12	1,257	182	—	242	45	1,152	△ 105	91.6
17	1,112	176	—	215	47	1,026	△ 86	92.3

旧美麻村

各年10月1日現在

年 次	(a)常住人口	(b) 流 入		(c) 流 出		昼 間 人 口 (a) + ((b) - (c))	流入超過数 (b) - (c)	常住100人 当 たり 昼間人口
		従 業	通 学	従 業	通 学			
昭和60年	1,510	67	—	354	61	1,162	△ 348	77.0
平成2年	1,340	62	—	321	46	1,035	△ 305	77.2
7	1,320	97	—	303	46	1,068	△ 252	80.9
12	1,282	109	1	294	60	1,037	△ 244	80.9
17	1,235	99	—	299	34	1,001	△ 234	81.1

資料：国勢調査

通勤者市町村別内訳(15歳以上)

大町市

各年10月1日現在

	年	総 数	松本市	池田町	松川村	八坂村	美麻村	白馬村	小谷村	安曇野市	その他市町村	県 外
大町市への通勤者数 (流入)	60	3,001	180	509	617	193	248	228	80	583	294	69
	2	2,940	202	473	596	163	209	236	81	624	304	52
	7	3,281	214	533	717	133	188	236	72	771	317	100
	12	3,465	248	560	742	102	173	306	72	824	336	102
	17	3,630	278	530	771	93	152	392	66	1006	282	60
大町市からの通勤者数 (流出)	60	2,543	769	403	201	36	40	193	31	708	127	35
	2	3,276	850	452	287	24	29	341	48	1049	158	38
	7	3,464	776	468	286	49	42	404	60	1087	206	86
	12	3,719	776	504	317	98	45	347	64	1229	273	66
	17	3,661	767	471	381	95	36	299	48	1199	298	67

旧八坂村

各年10月1日現在

	年	総 数	松本市	大町市	池田町	松川村	美麻村	白馬村	小谷村	生坂村	安曇野市	その他市町村	県 外
旧八坂村への通勤者数 (流入)	60	76	…	36	…	…	…	…	…	…	…	39	1
	2	75	1	24	7	6	2	2	—	—	5	27	1
	7	119	…	49	10	…	…	…	…	11	…	48	1
	12	182	…	98	18	17	…	…	…	10	…	39	—
	17	176	…	95	16	17	…	…	…	…	21	26	1
旧八坂村からの通勤者数 (流出)	60	346	51	193	18	…	…	…	…	13	…	71	—
	2	308	43	163	20	12	—	2	1	8	26	33	—
	7	270	48	133	18	…	…	…	…	…	…	71	—
	12	242	39	102	19	…	…	…	…	…	…	80	2
	17	215	33	93	25	…	…	…	…	…	29	35	—

旧美麻村

各年10月1日現在

	年	総 数	松本市	大町市	池田町	松川村	八坂村	白馬村	小谷村	小川村	安曇野市	その他市町村	県 外
旧美麻村への通勤者数 (流入)	60	67	…	40	…	…	…	…	…	…	…	26	1
	2	62	—	29	7	5	—	7	2	4	5	3	—
	7	97	…	42	…	…	…	…	…	12	—	34	9
	12	109	…	45	…	10	…	22	…	…	…	31	1
	17	99	…	36	…	…	…	19	…	…	…	43	1
旧美麻村からの通勤者数 (流出)	60	354	7	248	8	…	…	43	…	16	…	32	…
	2	321	5	209	11	7	2	45	—	13	12	16	1
	7	303	11	188	10	…	…	53	…	11	…	27	3
	12	294	11	173	14	10	…	39	…	…	…	47	…
	17	299	19	152	16	…	…	57	…	…	15	37	3

資料：国勢調査

通学者市町村別内訳（15歳以上）

大町市

各年10月1日現在

	年	総 数	松本市	池田町	松川村	八坂村	美麻村	白馬村	小谷村	安曇野市	その他 市町村	県 外
大町市への 通学者数 （流入）	60	663	1	135	117	30	37	90	44	185	22	2
	2	701	4	137	147	17	28	98	34	234	2	—
	7	594	5	109	109	11	29	110	33	179	9	—
	12	411	2	53	79	10	27	95	37	103	3	2
	17	440	3	56	76	15	15	110	33	127	5	—
大町市から の通学者数 （流出）	60	457	224	106	—	—	—	31	—	85	11	—
	2	541	193	177	—	—	—	12	—	144	15	—
	7	680	292	133	—	—	—	59	—	145	38	13
	12	592	270	95	—	—	—	29	—	141	49	7
	17	562	244	67	1	—	—	20	—	141	60	29

旧八坂村

各年10月1日現在

	年	総 数	長野市	松本市	大町市	池田町	信州 新町	安曇野市	その他 市町村	県 外
旧八坂村から の通学者数 （流出）	60	77	3	10	30	12	18	…	4	—
	2	37	1	9	17	2	8	—	—	—
	7	43	8	13	11	4	5	2	—	—
	12	45	6	12	10	5	4	…	7	1
	17	47	8	12	15	4	1	4	3	—

旧美麻村

各年10月1日現在

	年	総 数	長野市	松本市	大町市	池田町	白馬村	安曇野市	その他 市町村	県 外
旧美麻村への 通学者数 （流入）	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	1	…	…	…	…	…	…	1	—
	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
旧美麻村から の通学者数 （ 流出）	60	61	2	6	37	11	1	…	4	—
	2	46	1	1	28	4	9	1	2	—
	7	46	…	4	29	7	1	…	4	1
	12	60	4	17	27	3	9	—	—	—
	17	34	2	9	15	2	3	2	1	—

資料：国勢調査

注）旧八坂村の通学者（流入）については該当がありません。

町名別、男女別人口及び世帯数

平成20年10月1日現在

地 区	町 名	世帯数	人 口		
			総 数	男	女
大 町	三 日 町	135	384	192	192
	俵 町	608	1,742	848	894
	不 二 塚 町	62	155	83	72
	大 黒 町	277	713	354	359
	相 生 町	165	369	192	177
	九 日 町	114	288	132	156
	六 九 町	98	274	125	149
	幸 町	161	425	213	212
	名 店 街	7	15	9	6
	上 仲 町	32	83	38	45
	下 仲 町	40	106	47	59
	八 日 町	63	140	59	81
	神 栄 町	364	913	440	473
	五 日 町	94	210	101	109
	旭 町	182	393	208	185
	日 の 出 町	14	42	21	21
	光 明 町	33	104	47	57
	仁 科 町	111	258	131	127
	高 見 町	85	218	106	112
	桜 田 町	128	379	176	203
	南 原 町	160	387	175	212
	堀 六 日 町	103	258	124	134
	東 町	46	104	54	50
	白 塩 町	162	408	204	204
	下 白 塩 町	51	129	70	59
	山 田 町	73	181	85	96
	北 山 田 町	42	135	62	73
	宮 田 町	161	483	221	262
	大 原 町	229	696	346	350
	若 原 町	54	161	84	77
	栄 町	173	429	215	214
	大 原 2 号 団 地	81	145	59	86
	中 原 町	207	535	261	274
	東 中 原 町	51	132	61	71
	北 原 町	200	533	262	271
	十 日 町	167	452	225	227
	高 根 町	119	350	177	173
	大 新 田 町	382	951	456	495
	東 若 宮 町	66	160	76	84
	西 若 宮 町	13	33	15	18
	若 宮 町	4	8	5	3
	昭電社宅・アパート	56	104	66	38
	小 計	5,373	13,985	6,825	7,160

地 区	町 名	世帯数	人 口		
			総 数	男	女
平	加 蔵	22	58	32	26
	築 場	22	47	23	24
	青 木	41	109	52	57
	中 綱	37	128	66	62
	海 の 口	106	302	147	155
	稲 尾	46	139	67	72
	山 崎	22	65	34	31
	森	40	125	61	64
	外 堀	10	30	12	18
	木 崎	90	242	124	118
	白 樺	10	22	10	12
	仁 科 郷	36	102	46	56
	西 原	151	424	216	208
	借 馬	252	771	378	393
	借 馬 団 地	178	388	182	206
	新 郷	62	193	95	98
	二 ツ 屋	65	202	103	99
	中 花 見	23	66	34	32
	源 汲	61	174	88	86
	鹿 島	11	29	15	14
	野 口	318	787	386	401
	上 原	132	221	74	147
	秋 葉 林	30	84	42	42
	日 向 山・扇 沢	16	30	18	12
	高 瀬 入	30	58	32	26
	温 泉 郷	101	192	95	97
	高 瀬 分 譲 地	11	22	12	10
	塩 の 原	8	20	10	10
	小 計	1,931	5,030	2,454	2,576
常 盤	泉	230	677	329	348
	上 一	892	2,494	1,198	1,296
	上 一 住 宅	97	168	76	92
	下 一	291	849	429	420
	清 水	423	1,319	634	685
	須 沼	212	671	320	351
	西 山	204	633	295	338
	西 山 住 宅	75	225	100	125
	南 住 宅	33	88	46	42
	松 原 団 地	33	95	41	54
	小 計	2,490	7,219	3,468	3,751
社	松 崎	167	497	237	260
	館 之 内	178	524	262	262
	社 団 地	113	302	139	163
	山 下	184	451	225	226
	閨 田	52	144	70	74
	曾 根 原	47	132	68	64
	宮 本	178	541	266	275
	小 計	919	2,591	1,267	1,324

地 区	町 名	世帯数	人 口		
			総 数	男	女
八 坂	相 川	15	46	24	22
	大 平	13	46	24	22
	梨 平	9	24	12	12
	藤 尾	1	1	1	
	笹 尾	10	36	21	15
	矢 下	10	26	14	12
	明 野	58	156	73	83
	塩 の 貝	2	4	2	2
	横 瀬	11	28	9	19
	石 原	3	8	4	4
	満 仲	7	29	13	16
	菅 の 窪	5	7	3	4
	小 松 尾	8	20	9	11
	宮 の 尾	10	20	9	11
	押 の 田	5	11	6	5
	切 久 保 南	13	54	28	26
	切 久 保 北	46	83	46	37
	曾 山	2	3	2	1
	一 の 瀬	9	18	8	10
	西 大 塚	6	18	9	9
	東 大 塚	3	11	5	6
	小 菅	10	27	13	14
	長 畑	1	2	1	1
	布 宮 ・ 二 滝	1	1		1
	池 の 平	2	3	2	1
	野 平 南	15	51	27	24
	野 平 中	22	64	33	31
	野 平 北	15	39	17	22
	地 志 原	10	19	10	9
	舟 場	22	45	17	28
	栃 沢	11	25	12	13
	上 籠	23	58	26	32
	菖 蒲	1	1		1
	小 計	379	984	480	504

地 区	町 名	世帯数	人 口		
			総 数	男	女
美 麻	南 村	26	72	33	39
	中 村	16	50	19	31
	北 村	17	51	25	26
	中 ノ 貝	4	8	5	3
	日 影 川 下	7	18	10	8
	峯	6	14	7	7
	西 平	3	11	2	9
	中 村 団 地	16	59	36	23
	高 地	2	3	2	1
	宮 村	19	62	30	32
	向	15	46	20	26
	向 山	9	23	13	10
	元 の 関	12	34	16	18
	湯 ノ 海	14	45	20	25
	教 員 住 宅	2	2	1	1
	東	13	26	11	15
	上 手	7	22	12	10
	中	10	36	13	23
	西 の 上	7	18	8	10
	西 の 下	6	16	8	8
	西 原	10	33	18	15
	藤	21	71	33	38
	池 の 平	6	11	5	6
	花 尾	9	23	10	13
	矢 地 由 久 保	5	12	4	8
	矢 久	15	42	23	19
	一 宇 田	16	46	19	27
	米 山	8	11	5	6
	日 向	10	21	13	8
	塩 の 川	8	12	4	8
	石 原	1	3	1	2
	袖	1	3	1	2
	峠	1	1		1
	川 手	15	34	20	14
	奈 良 尾	1	1	1	
	片 岡	6	13	7	6
	万 中	8	14	6	8
	大 倉				
	旭 団 地	8	26	13	13
	境 ノ 宮	7	25	12	13
	外 山	2	5	2	3
	本 村 東	6	14	5	9
	本 村 中	17	36	19	17
	本 村 西	6	15	9	6
	三 百 地	4	10	5	5
	菅 ノ 窪				
	中 ノ 埜	14	31	15	16
	小 計	416	1,129	541	588
	総 計	11,508	30,938	15,035	15,903

資料：市民課

3. 行 政

議会の開催状況

各年12月31日現在

年 次	招 集 回 数		本 会 議 日 数	提出議案 件	議 案 内 容			請願陳情件数 件
	定 例 会	臨 時 会			市長提出 件	議員提出 件	専決処分 報 告 件	
平成 16 年	4	4	22	119	81	24	14	62
17	4	6	28	222	189	22	11	58
18	4	3	25	183	144	14	25	58
19	4	3	24	151	128	12	11	58
20	4	2	22	124	92	16	16	52

資料：議会事務局

注）合併前は旧大町市の数値である。

市議会委員会の状況

各年12月31日現在

年 次	総務文教委員会		社会厚生委員会		産業建設委員会		議会運営委員会		全員協議会
	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	委員数	開催日数	開催日数
平成 16 年	7	12	7	10	7	11	7	12	13
17	7	15	7	15	7	15	7	22	18
18	8	12	8	10	8	12	7	15	10
19	7	12	6	10	6	10	7	18	16
20	7	10	6	10	6	10	7	13	8

資料：議会事務局

注）合併前は旧大町市の数値である。

市議会会派別議員数

平成20年12月31日現在

結成期間	定数	会 派 別						
		政友クラブ	進成クラブ	市民クラブ	日本共産党	無会派		
自H 7. 5. 10 至H11. 4. 29	22	10	4	3	2	3		
自H11. 5. 10 至H11. 12. 9	22	9	5	4	2	2		
自H11. 12. 10 至H13. 5. 30	22	9	5	4	2	2		
自H13. 5. 31 至H14. 9. 23	22	9	4	2	2	5		
自H14. 9. 24 至H15. 4. 29	22	9	4	3	2	2	無会派 2	
自H15. 5. 13 至H15. 6. 1	22	9	4	2	2	虹と緑の会 2	無会派 3	
自H15. 6. 2 至H15. 12. 16	22	7	4	2	2	虹と緑の会 2	無会派 5	
自H15. 12. 17 至H16. 11. 28	22	7	4	3	2	虹と緑の会 2	無会派 4	
自H16. 11. 29 至H18. 2. 5	21	7	4	3	2	虹と緑の会 2	無会派 3	
自H18. 2. 6 至H18. 7. 18	23	9	4	3	2	虹と緑の会 2	無会派 3	
自H18. 7. 19 至H19. 2. 18	24	9	4	3	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派 2
自H19. 2. 19 至H19. 4. 29	23	9	4	3	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派 1
自H19. 5. 9 至H19. 10. 30	20	7	6	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 1	
自H19. 10. 31 至H19. 12. 20	19	6	6	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 1	
自H19. 12. 21 至	19	6	5	2	2	虹と緑の会 2	日本共産党 2	無会派 2

資料：議会事務局 注）合併前は旧大町市の数値である。

年齢別議員数

各年5月1日現在

年 次			年 齢 別								
			25～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
平成	14	年	—	—	—	—	6	3	7	4	2
	15		1	—	—	—	5	5	6	5	0
	16		1	—	—	—	2	8	6	3	1
	17		1	—	—	—	2	8	3	6	1
	18		1	—	—	—	1	7	5	6	3
	19		1	—	—	—	3	4	4	6	2
	20		—	1	—	—	3	4	4	6	1

資料：議会事務局 注）合併前は旧大町市の数値である。

選挙の執行状況

選挙名	執行年月日	当日の有権者			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
大町市長選挙	61. 6. 29 (無投票)	23,881	11,295	12,586	—	—	—	—	—	—
参議院議員通常選挙	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,242	9,106	10,136	80.73	80.83	80.64
衆議院議員総選挙	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,243	9,107	10,136	80.73	80.84	80.64
最高裁判所裁判官国民審査	61. 7. 6	23,835	11,265	12,570	19,191	9,071	10,120	80.52	80.52	80.51
長野県議会議員一般選挙	62. 4. 12	23,575	11,143	12,432	16,288	7,641	8,647	69.09	68.57	69.55
大町市議会議員一般選挙	62. 4. 26	23,580	11,147	12,433	21,706	10,158	11,548	92.05	91.13	92.88
長野県知事選挙	63. 10. 16	23,751	11,266	12,485	13,926	6,491	7,435	58.63	57.62	59.55
参議院議員通常選挙	元. 7. 23	23,962	11,378	12,584	17,162	8,237	8,925	71.62	72.39	70.92
衆議院議員総選挙	2. 2. 18	23,987	11,392	12,595	19,514	9,229	10,285	81.35	81.01	81.66
最高裁判所裁判官国民審査	2. 2. 18	23,987	11,392	12,595	19,351	9,137	10,214	80.67	80.21	81.10
大町市長選挙	2. 7. 1	23,650	11,212	12,438	20,943	9,740	11,200	88.55	86.87	90.07
長野県議会議員一般選挙	3. 4. 7 (無投票)	24,104	11,461	12,643	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員一般選挙	3. 4. 21	23,761	11,298	12,463	20,648	9,656	10,992	86.90	85.47	88.20
参議院議員通常選挙	4. 7. 26	24,205	11,534	12,671	14,026	6,809	7,217	57.95	59.03	56.96
長野県知事選挙	4. 10. 18	24,010	11,443	12,567	12,648	5,994	6,654	52.68	52.38	52.95
衆議院議員総選挙	5. 7. 18	24,345	11,629	12,716	18,197	8,723	9,474	74.75	75.01	74.50
最高裁判所裁判官国民審査	5. 7. 18	24,345	11,629	12,716	17,639	8,443	9,196	72.45	72.60	72.32
大町市長選挙	6. 6. 26 (無投票)	24,225	11,543	12,682	—	—	—	—	—	—
長野県議会議員一般選挙	7. 4. 9	24,384	11,669	12,715	19,052	8,911	10,141	78.13	76.36	79.76
大町市議会議員一般選挙	7. 4. 23	24,349	11,660	12,689	20,159	9,419	10,740	82.79	80.78	84.64
参議院議員通常選挙	7. 7. 23	24,741	11,855	12,886	12,877	6,375	6,502	52.05	53.77	50.46
長野県知事選挙	8. 10. 20	24,638	11,828	12,810	16,214	7,861	8,353	65.81	66.46	65.21
衆議院小選挙区選出議員選挙	8. 10. 20	24,811	11,917	12,894	16,212	7,856	8,356	65.34	65.92	64.81
衆議院比例代表選出議員選挙	8. 10. 20	24,811	11,917	12,894	16,204	7,857	8,347	65.31	65.93	64.74
最高裁判所裁判官国民審査	8. 10. 20	24,811	11,917	12,894	15,686	7,590	8,096	63.22	63.69	62.79
大町市長選挙	10. 6. 28 (無投票)	24,988	12,006	12,982	—	—	—	—	—	—
参議院議員通常選挙	10. 7. 12	24,933	11,976	12,957	15,631	7,620	8,011	62.69	63.63	61.83
長野県議会議員一般選挙	11. 4. 11 (無投票)	25,130	12,092	13,038	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員一般選挙	11. 4. 25	24,715	11,889	12,826	20,227	9,535	10,692	81.84	80.20	83.36
参議院長野県選出議員補欠選挙	11. 10. 17	25,109	12,076	13,033	11,896	5,867	6,029	47.38	48.58	46.26
衆議院小選挙区選出議員選挙	12. 6. 25	25,041	12,035	13,006	16,812	8,201	8,611	67.14	68.14	66.21
衆議院比例代表選出議員選挙	12. 6. 25	25,053	12,043	13,010	16,808	8,200	8,608	67.09	68.09	66.16
最高裁判所裁判官国民審査	12. 6. 25	25,041	12,035	13,006	16,447	8,011	8,436	65.68	66.56	64.86
長野県知事選挙	12. 10. 15	24,843	11,925	12,918	17,562	8,366	9,196	70.69	70.16	71.19
参議院長野県選出議員選挙	13. 7. 29	24,977	12,011	12,966	15,222	7,509	7,713	60.94	62.52	59.49
参議院比例代表選出議員選挙	13. 7. 29	24,988	12,017	12,971	15,224	7,510	7,714	60.93	62.49	59.47
大町市長選挙	14. 6. 30	24,565	11,795	12,770	18,899	8,968	9,931	76.93	76.03	77.77
長野県知事選挙	14. 9. 1	24,741	11,891	12,850	18,539	8,869	9,670	74.93	74.59	75.25
長野県議会議員一般選挙	15. 4. 13	24,481	11,747	12,734	16,678	7,989	8,689	68.13	68.01	68.23
大町市議会議員一般選挙	15. 4. 27	24,437	11,728	12,709	8,911	9,956	18,867	77.21	75.98	78.34
衆議院小選挙区選出議員選挙	15. 11. 9	24,720	11,870	12,850	16,481	8,082	8,399	66.67	68.09	65.36
衆議院比例代表選出議員選挙	15. 11. 9	24,728	11,876	12,852	16,477	8,078	8,399	66.63	68.02	65.35
最高裁判所裁判官国民審査	15. 11. 9	24,720	11,870	12,850	15,916	7,774	8,142	64.39	65.49	63.36
参議院長野県選出議員選挙	16. 7. 11	24,660	11,847	12,813	14,838	7,309	7,529	60.17	61.69	58.76
参議院比例代表選出議員選挙	16. 7. 11	24,669	11,854	12,815	14,840	7,310	7,530	60.16	61.67	58.76
衆議院小選挙区選出議員選挙	17. 9. 11	24,359	11,697	12,662	16,684	8,142	8,542	68.49	69.61	67.46
衆議院比例代表選出議員選挙	17. 9. 11	24,369	11,704	12,665	16,685	8,143	8,542	68.47	69.57	67.45
最高裁判所裁判官国民審査	17. 9. 11	24,359	11,697	12,662	15,965	7,776	8,189	65.54	66.48	64.67
大町市議会議員増員選挙八坂選挙区	18. 1. 29	872	416	456	711	341	370	81.54	81.97	81.14
大町市議会議員増員選挙美麻選挙区	18. 1. 29	945	446	499	768	361	407	81.27	80.94	81.56
大町市長選挙	18. 7. 2 (無投票)	26,142	12,547	13,595	—	—	—	—	—	—
大町市議会議員補欠選挙 (旧大町市の区域)	18. 7. 2 (無投票)	24,333	11,681	12,652	—	—	—	—	—	—
長野県知事選挙	18. 8. 6	25,839	12,387	13,452	18,134	8,744	9,390	70.18	70.59	69.80
長野県議会議員一般選挙	19. 4. 8	25,494	12,215	13,279	16,399	7,880	8,519	64.32	64.51	64.15
大町市議会議員一般選挙	19. 4. 22	23,689	11,352	12,337	16,734	7,924	8,810	70.64	69.80	71.41
参議院長野県選出議員選挙	19. 7. 29	25,743	12,350	13,393	16,248	7,992	8,256	63.12	64.71	61.64
参議院比例代表選出議員選挙	19. 7. 29	25,743	12,350	13,393	16,246	7,991	8,255	63.11	64.70	61.64

資料:選挙管理委員会

注)合併前は旧大町市の数値である。

選挙人名簿登録者数等の推移

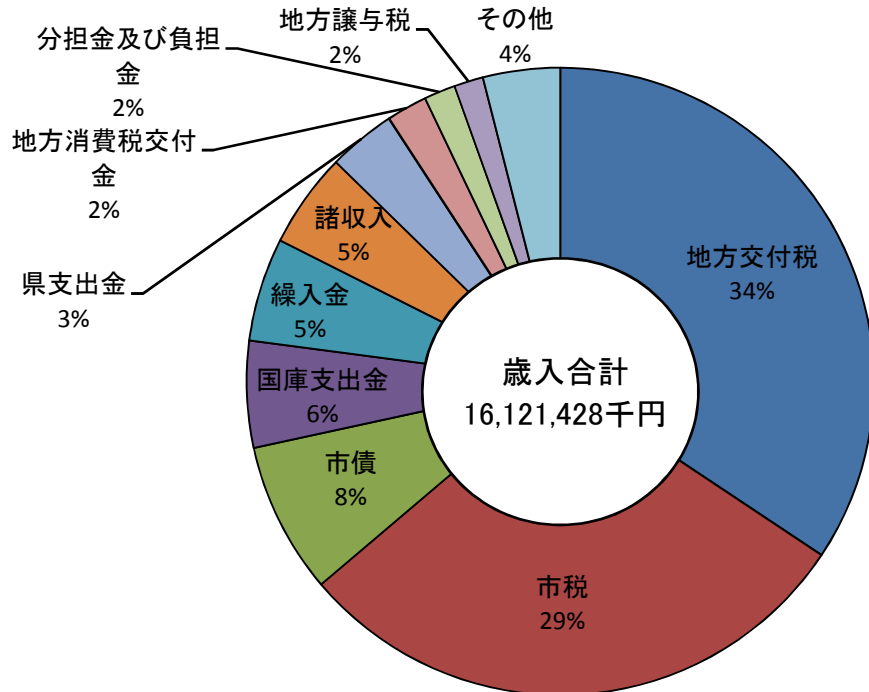
年次			選挙人名簿登録者数			人口100人に 対する有権者	在外選挙人名簿登録者数		
			総数	男	女		総数	男	女
			人	人	人	人	人	人	人
平成	15	年	24,794	11,903	12,891	81.4	8	6	2
	16		24,701	11,872	12,829	81.8	9	7	2
	17		24,444	11,748	12,696	81.9	10	7	3
	18		26,081	12,514	13,567	82.1	12	8	4
	19		25,793	12,380	13,413	82.3	16	11	5
	20		25,562	12,254	13,308	81.2	16	9	7

資料：選挙管理委員会

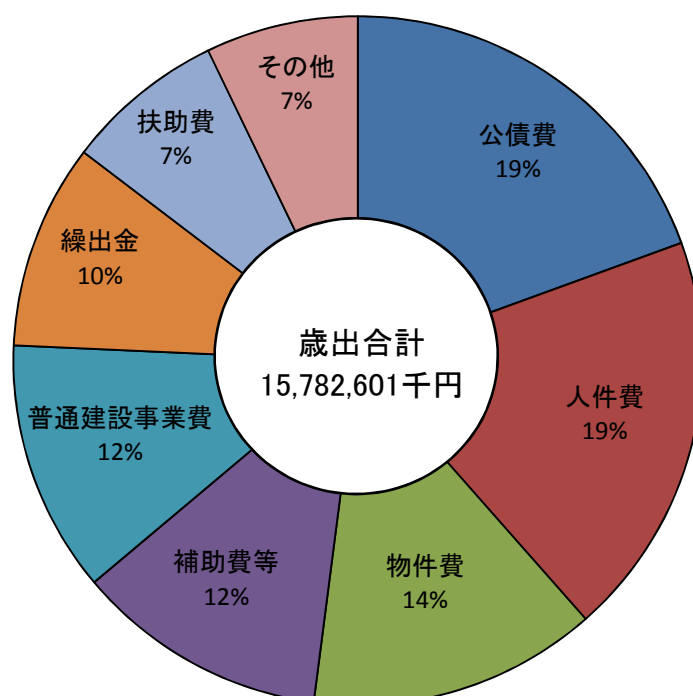
- 注) 1. 合併前は旧大町市の数値である。
2. 選挙人名簿登録者は9月1日現在で9月2日に確定した数値。
3. 人口対比率は有権者総数を各年の10月1日現在の住民基本台帳による総人口で除した。

4. 財 政

平成19年度一般会計歳入決算構成比



平成19年度一般会計歳出決算構成比



会計別決算の状況

年 度	歳 入												
	一 般 会 計	国 保	老 人 保 健 医	病 院	指 定 訪 問 看 護 事 業	水 道	温 泉 引 湯	地 域 包 括 支 援 事 業	住 宅 新 築 金	公 下 水 道	農 業 集 落 排 水 事 業	公 営 簡 易 水 道	温 泉 宿 泊 施 設
	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
平成15年度	12,728,292	2,233,389	3,032,995	4,166,353	45,114	548,532	69,950	68,344	5,831	2,154,909	64,010	—	—
16	13,743,683	2,351,930	3,052,862	4,200,564	44,868	536,098	69,454	67,823	6,445	2,500,435	60,002	—	—
17	19,447,812	2,624,803	3,230,506	4,067,817	38,532	540,736	70,360	59,806	4,608	1,928,786	78,754	242511	226852
18	17,084,622	2,906,578	3,487,538	4,184,052	34,063	529,586	73,295	147,951	4,610	1,855,382	101,169	184,241	186,637
19	16,121,427	3,182,748	3,369,711	3,904,914	31,704	523,520	73,215	132,626	2,779	1,840,679	97,577	226,208	—

資料：企画財政課 注)平成16年度以前は、旧大町市の数値、平成17年度以降は合併後の数値である。

市税の収入状況

税 目		平 成 15 年 度			平 成 16 年 度		
		調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
		千 円	千 円	%	千 円	千 円	%
総 額		4,901,728	4,446,023	90.7	4,908,286	4,459,125	90.8
(1)	普 通 税	4,707,912	4,265,729	90.6	4,715,367	4,280,097	90.8
	市 民 税	1,322,416	1,215,986	92.0	1,309,169	1,212,152	92.6
	固 定 資 産 税	3,107,149	2,802,170	90.2	3,127,474	2,815,737	90.0
	軽 自 動 車 税	68,251	64,877	95.1	68,989	65,351	94.7
	市 た ば こ 税	182,190	182,190	100.0	186,357	186,357	100.0
	特 別 土 地 保 有 税	27,906	506	1.8	23,378	500	2.1
(2)	目 的 税	193,816	180,294	93.0	192,919	179,028	92.8
	入 湯 税	57,739	57,739	100.0	54,658	54,658	100.0
	都 市 計 画 税	136,077	122,555	90.1	138,261	124,370	90.0

資料：税務課

年 度	歳 出												
	一 般 会 計	国 保	老 人 保 健 医	病 院 療	指 定 訪 問 看 護 事	水 道	温 泉 引 湯	地 域 包 括 支 援 事 業	住 宅 新 築	公 共 下 水 道	農 業 集 落 排 水 事 業	公 営 簡 易 水 道	温 泉 宿 泊 施 設
	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
平成15年度	12,673,070	2,159,802	3,032,987	4,421,415	44,960	511,726	56,651	67,571	5,826	2,141,234	59,884	—	—
16	13,574,949	2,227,439	3,052,855	4,310,959	44,725	505,151	58,140	66,694	6,440	2,484,678	55,698	—	—
17	19,368,135	2,541,355	3,230,499	4,303,087	39,640	517,810	56,722	59,095	4,605	1,912,412	78,550	304425	225828
18	16,891,687	2,823,936	3,487,529	4,256,489	33,905	512,120	56,564	146,202	4,607	1,825,383	96,928	183,591	186,637
19	15,782,600	3,058,427	3,369,701	4,231,044	33,693	514,373	55,329	132,516	2,767	1,807,091	91,923	222,711	—

平 成 17 年 度			平 成 18 年 度			平 成 19 年 度		
調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
千 円	千 円	%	千 円	千 円	%	千 円	千 円	%
4,924,747	4,509,795	91.6	4,897,161	4,468,571	91.3	5,208,666	4,750,309	91.2
4,725,828	4,323,657	91.5	4,716,472	4,300,945	91.2	5,033,480	4,589,092	91.2
1,328,060	1,236,469	93.1	1,457,395	1,370,775	94.1	1,838,727	1,740,680	94.7
3,109,704	2,822,274	90.8	2,974,218	2,668,818	89.7	2,910,722	2,588,257	88.9
75,684	71,731	94.8	77,950	73,254	94.0	79,832	74,767	93.7
190,572	190,572	100.0	188,048	188,048	100.0	185,388	185,388	100.0
21,808	2,611	12.0	18,861	50	0.3	18,811	0	0.0
198,919	186,138	93.6	180,689	167,626	92.8	175,186	161,217	92.0
63,335	63,335	100.0	56,360	56,360	100.0	54,327	54,327	100.0
135,584	122,803	90.6	124,329	111,266	89.5	120,859	106,890	88.4

歳入内容別決算状況（一般会計）

年度 歳入項目	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比	歳入額	対前年度比
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
市 税	4,446,023	93.8	4,459,125	100.3	4,509,795	101.1	4,468,571	99.1	4,750,309	106.3
地 方 譲 与 税	209,183	105.1	273,135	130.6	399,089	146.1	500,189	125.3	243,111	48.6
利 子 割 交 付 金	32,121	68.5	31,658	98.6	19,698	62.2	11,617	59.0	15,335	132.0
配 当 割 交 付 金	—	—	3,737	皆増	6,132	164.1	10,823	176.5	11,783	108.9
株式等譲渡所得割交付金	—	—	4,281	皆増	10,038	234.5	8,167	81.4	6,918	84.7
地方消費税交付金	328,523	109.4	365,480	111.2	355,415	97.2	351,034	98.8	338,689	96.5
ゴルフ場利用税交付金	3,801	108.8	3,480	91.6	3,434	98.7	2,897	84.4	2,979	102.8
特別地方消費税交付金	177	皆増	0	皆減	0	—	0	—	0	—
自動車取得税交付金	92,244	96.9	97,251	105.4	116,008	119.3	106,075	91.4	97,966	92.4
地方特例交付金	114,759	102.6	104,889	91.4	108,784	103.7	80,450	74.0	23,087	28.7
地方交付税	3,351,851	93.9	3,458,778	103.2	5,630,238	162.8	5,835,120	103.6	5,535,913	94.9
交通安全対策特別交付金	6,212	104.1	5,667	91.2	6,387	112.7	6,645	104.0	6,420	96.6
分担金及び負担金	221,888	91.0	235,928	106.3	218,392	92.6	243,603	111.5	260,463	106.9
使用料及び手数料	169,124	100.2	159,614	94.4	293,316	183.8	236,652	80.7	236,552	100.0
国庫支出金	809,830	108.8	846,353	104.5	2,159,999	255.2	830,943	38.5	886,209	106.7
県 支 出 金	464,964	106.8	428,988	92.3	865,301	201.7	455,055	52.6	562,093	123.5
財 産 収 入	49,469	317.8	16,791	33.9	31,934	190.2	20,741	64.9	38,129	183.8
寄 付 金	4,305	44.2	3,007	69.8	4,807	159.9	3,473	72.2	7,461	214.8
繰 入 金	330,044	109.0	564,425	171.0	1,345,234	238.3	281,613	20.9	858,727	304.9
繰 越 金	35,616	46.7	55,223	155.1	249,141	451.2	285,678	114.7	192,935	67.5
諸 収 入	823,758	86.4	870,973	105.7	1,269,570	145.8	799,676	63.0	791,019	98.9
市 債	1,234,400	85.1	1,754,900	142.2	1,845,100	105.1	2,545,600	138.0	1,255,330	49.3
歳 入 合 計	12,728,292	94.5	13,743,683	108.0	19,447,812	141.5	17,084,622	87.8	16,121,428	94.4

資料：企画財政課 注)平成16年度以前は、旧大町市の数値、平成17年度以降は合併後の数値である。

歳出内容別決算状況（一般会計）

年度 歳出項目	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比	歳出額	対前年度比
	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
人 件 費	2,396,172	102.1	2,303,994	96.2	3,096,034	134.4	2,993,330	96.7	3,006,955	100.5
扶 助 費	919,736	107.5	993,180	108.0	1,038,892	104.6	1,035,925	99.7	1,183,141	114.2
公 債 費	1,704,638	100.2	2,490,804	146.1	3,377,764	135.6	3,068,249	90.8	3,068,534	100.0
普 通 建 設 事 業 費	1,499,626	65.3	1,819,928	121.4	3,113,748	171.1	1,537,327	49.4	1,868,648	121.6
災 害 復 旧 事 業 費	4,940	12.3	123,640	2502.8	1,567,678	1267.9	173,507	11.1	215,578	124.2
物 件 費	1,933,805	97.0	1,850,354	95.7	2,506,122	135.4	2,165,682	86.4	2,138,988	98.8
補 助 費 等	1,761,796	93.1	1,665,379	94.5	2,082,972	125.1	1,850,877	88.9	1,866,483	100.8
維 持 補 修 費	310,441	117.8	307,244	99.0	415,744	135.3	294,032	70.7	392,911	133.6
積 立 金	416,626	101.6	268,168	64.4	52,167	19.5	1,641,074	3145.8	15,399	0.9
出 資 金 貸 付 金	617,200	101.9	619,446	100.4	567,322	91.6	506,483	89.3	505,804	99.9
繰 出 金	1,108,090	107.5	1,132,812	102.2	1,549,692	136.8	1,625,201	104.9	1,520,110	93.5
歳 出 計	12,673,070	94.3	13,574,949	107.1	19,368,135	142.7	16,891,687	87.2	15,782,601	93.4
歳 入 歳 出 差 引 額	55,222	155.0	168,734	305.6	30,869	18.3	192,935	625.0	338,827	175.6

資料：企画財政課 注)平成16年度以前は、旧大町市の数値、平成17年度以降は合併後の数値である。

目的別市債の状況

平成20年3月31日現在 住民基本台帳 人口 31,048人 世帯 11,477戸

区 分	平成18年度末 現在高 (A)	平成19年度中 借入額 (B)	平成19年度 元金償還額 (C)	平成19年度末 現在高 (A)+(B)-(C) (D)	(D) に 対 す る	
					1人当たり現在高	1世帯当たり現在高
(一般会計分)	千円	千円	千円	千円	円	円
1 普 通 債	12,381,221	172,300	1,803,838	10,749,683	346,228	936,628
(1) 総 務 債	913,874		136,822	777,052	25,027	67,705
(2) 民 生 債	1,443,653	103,600	183,736	1,363,517	43,916	118,804
(3) 衛 生 債	1,976,616		379,642	1,596,974	51,436	139,146
(4) 労 働 債				0	0	0
(5) 農 林 債	1,604,685	1,500	174,129	1,432,056	46,124	124,776
(6) 商 工 債	241,137		39,116	202,021	6,507	17,602
(7) 土 木 債	2,965,929	12,600	402,543	2,575,986	82,968	224,448
(8) 消 防 債	81,542	54,600	16,900	119,242	3,841	10,390
(9) 教 育 債	3,153,785		470,950	2,682,835	86,409	233,758
2 災 害 復 旧 債	195,175	30,100	32,103	193,172	6,222	16,831
(1) 補 助 債	190,768	30,100	30,282	190,586	6,138	16,606
(2) 単 独 債	4,407		1,821	2,586	83	225
3 過 疎 対 策 事 業	3,371,884	48,100	535,663	2,884,321	92,899	251,313
4 合 併 特 例 債	1,650,000	641,300		2,291,300	73,799	199,643
5 そ の 他	4,499,303	392,830	285,809	4,606,324	148,361	401,353
(1) 臨 時 財 政 特 例 債	14,691		3,206	11,485	370	1,001
(2) 地 域 再 生 事 業 債	126,100			126,100	4,061	10,987
(3) 減 税 補 て ん 債	942,310		80,812	861,498	27,747	75,063
(4) 臨 時 税 収 補 て ん 債	163,022		13,390	149,632	4,819	13,038
(5) 臨 時 経 済 対 策 債	326,060		78,360	247,700	7,978	21,582
(6) 臨 時 財 政 対 策 債	2,915,120	392,830	108,041	3,199,909	103,063	278,811
(7) 減 収 補 て ん 債	12,000		2,000	10,000	322	871
計	22,097,583	1,284,630	2,657,413	20,724,800	667,508	1,805,768
(特別会計分)						
水 道 事 業	2,838,600	10,900	103,302	2,746,198	88,450	239,278
温 泉 引 湯 事 業	42,880		14,280	28,600	921	2,492
病 院 事 業	5,121,766	178,500	454,198	4,846,068	156,083	422,242
指 定 訪 問 看 護 事 業				0	0	0
地 域 包 括 支 援 事 業				0	0	0
公 共 下 水 道	11,342,600	600,100	359,613	11,583,087	373,070	1,009,243
農 業 集 落 排 水	1,165,768		48,336	1,117,432	35,990	97,363
公 営 簡 易 水 道	1,065,148	77,700	94,277	1,048,571	33,773	91,363
住 宅 新 築 資 金 等	6,107		2,409	3,698	119	322
計	21,582,869	867,200	1,076,415	21,373,654	688,407	1,862,303
合 計	43,680,452	2,151,830	3,733,828	42,098,454	1,355,915	3,668,071

資料：企画財政課

市税市民負担額の推移

年 度	人 口	世 帯	調 定 額 (現 年 度)	市 民 負 担 額	
				1 人 当 た り	1 世 帯 当 た り
	人	世帯	千円	円	円
平成15年度	30,493	10,558	4,482,278	146,994	424,536
16	30,198	10,596	4,492,660	148,773	423,996
17	29,844	10,626	4,423,954	148,236	416,333
18	31,752	11,479	4,509,588	142,025	392,855
19	31,347	11,506	4,803,365	153,232	417,466

資料：税務課 注) 1. 人口、世帯は各年10月1日現在。
2. 合併前は旧大町市の数値である。

地方交付税の状況（普通交付税）

年度	基準財政需要額	基準財政収入額	交付基準額	交付額	財政力指数
	千円	千円	千円	千円	
平成15年度	6,578,144	3,889,996	2,688,148	2,675,646	0.592
16	6,721,864	3,884,178	2,837,686	2,837,686	0.586
17	6,909,243	3,925,506	2,983,737	2,983,737	0.579
18	9,082,212	4,147,137	4,935,075	4,935,075	0.474
19	8,841,721	4,120,740	4,720,981	4,705,859	0.472

資料：企画財政課 注) 錯誤措置額を含む。 18年度は合併後（合併算定替）数値である。

(参考)

年度	基準財政需要額	基準財政収入額	交付基準額	交付額	財政力指数
	千円	千円	千円	千円	
平成16年度	8,642,422	4,110,673	4,531,749	4,531,749	0.478
17	8,882,943	4,153,201	4,729,742	4,729,742	0.475
18	9,082,212	4,147,137	4,935,075	4,935,075	0.474
19	8,841,721	4,120,740	4,720,981	4,705,859	0.472

資料：企画財政課 注) 錯誤措置額を含む。平成17年度以前は旧団体の合算数値、平成18年度は合併算定替数値である。

市 有 財 産

平成20年9月30日現在

年 次		大町市	
区 分		土 地	建 物
		m ²	m ²
行政財産		5,658,225	226,063
本 庁 舎		21,438	10,759
消 防 施 設		2,536	1,133
その他の行政施設		6,574	3,562
学 校		302,546	64,429
公 営 住 宅		174,996	27,039
公 園		361,568	668
その他の公共施設		4,788,567	118,473
普通財産		8,291,700	4,107
宅 地 ・ 貸 家		61,802	2,961
墓 地		42,804	—
山 林		7,135,931	—
そ の 他		1,051,163	1,146

資料：企画財政課

5. 農林業

専業・兼業別農家数と農家人口

各年2月1日現在

年次	区分	総数	大町	平	常盤	社	八坂	美	麻
平成2年	総数	3,027 戸	604	684	871	353	261	254	
	自給的農家	… 戸	…	…	…	…	…	…	…
	販売農家	… 戸	…	…	…	…	…	…	…
	専業農家	268 戸	54	45	102	33	20	14	
	兼業農家主	164 戸	20	21	75	9	32	7	
	兼業主	2,414 戸	530	618	694	311	82	179	
	農家人口	12,511 人	2,544	2,902	3,711	1,457	977	920	
平成7年	総数	2,776 戸	526	615	821	337	250	227	
	自給的農家	686 戸	223	88	101	66	137	71	
	販売農家	2,090 戸	303	527	720	271	113	156	
	専業農家	205 戸	25	42	76	28	17	17	
	兼業農家主	271 戸	33	63	112	23	30	10	
	兼業主	1,614 戸	245	422	532	220	66	129	
	農家人口	10,992 人	2,125	2,572	3,364	1,307	842	782	
平成12年	総数	2,579 戸	483	581	772	308	223	212	
	自給的農家	676 戸	191	108	110	55	132	80	
	販売農家	1,903 戸	292	473	662	253	91	132	
	専業農家	214 戸	22	44	81	25	17	25	
	兼業農家主	130 戸	24	25	62	12	3	4	
	兼業主	1,559 戸	246	404	519	216	71	103	
	農家人口	10,464 人	1,979	2,443	3,317	1,228	791	706	
平成17年	総数	2,310 戸	437	534	700	288	187	164	
	自給的農家	720 戸	203	136	132	70	109	70	
	販売農家	1,590 戸	234	398	568	218	78	94	
	専業農家	233 戸	28	50	86	32	18	19	
	兼業農家主	202 戸	36	40	87	23	6	10	
	兼業主	1,155 戸	170	308	395	163	54	65	
	農家人口	8,662 人	1,623	2,058	2,788	1,065	607	521	

資料：農林業センサス

注) ①自給的農家…経営耕地面積が30 a 未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

②販売農家…経営耕地面積が30 a 以上または農産物販売金額が50万円以上の農家。

販売農家における主副業別農家数

各年2月1日現在

年次	区分	総数	大町	平	常盤	社	八坂	美	麻
平成12年	販売農家	1,903	292	473	662	253	91	132	
	主業農家	127	25	22	62	13	3	2	
	準主業農家	566	70	171	222	64	24	15	
	副業的農家	1,210	197	280	378	176	64	115	
平成17年	販売農家	1,590	234	398	568	218	78	94	
	主業農家	157	30	25	79	15	6	2	
	準主業農家	454	53	129	172	54	25	21	
	副業的農家	979	151	244	317	149	47	71	

資料：農林業センサス

注) ①主業農家・・・農業所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

②準主業農家・・・農外所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。

③副業的農家・・・65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家。

農業産出額の推移

(単位：1,000万円)

年次	区分	農業産出額															
		総額	農産物										畜産				
			計	米	麦類	雑穀豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸作物	種苗苗木	計	肉用牛	乳用牛	豚	鶏
平成14年		349	318	241	0	7	1	27	24	14	X	1	31	X	12	17	0
15		341	311	234	1	8	2	25	26	X	X	1	30	X	13	15	X
16		346	313	234	0	10	3	25	24	15	X	X	33	0	14	18	X
17		346	311	236	0	7	3	21	26	15	X	X	35	X	16	18	0
18		325	296	219	0	7	3	23	28	13	1	2	29	X	14	13	0

資料：関東農政局長野農政事務所（生産農業所得統計）

- 注） 1. 「－」は事実がないもの、「0」は単位に満たないもの、「X」は秘密保護上統計数値を公表しないものです。
 2. 単位未満を四捨五入したため、計とその内訳は一致しない場合があります。
 3. 平成16年以前は、各年次の旧市村値を合計しました。

経営耕地面積の推移

(単位 ha) 各年2月1日現在

年次	大字別	経営耕地面積											
		総面積	田				畑				樹園地		
			面積	稲作田	稲以外	作付けしなかった	面積	普通畑	牧草専用	作付けしなかった	面積	果樹園	その他
平成2年	総数	2,570	2,241	1,850	341	50	254	235	3	16	75	65	10
	大町	351	309	269	30	10	19	17	0	1	24	24	－
	平	634	584	502	66	16	44	41	－	3	5	5	－
	常盤	1,020	938	733	188	17	52	50	0	1	30	30	0
	社	292	263	223	35	5	28	23	1	3	1	1	0
	八坂	129	45	39	5	1	71	65	1	5	13	4	10
平成7年	美麻	144	103	85	17	1	41	39	0	2	0	－	0
	総数	2,516	2,175	2,042	108	24	271	236	9	25	72	69	2
	大町	361	313	292	16	4	21	20	...	1	27	26	1
	平	622	572	526	37	9	43	39	－	4	7	7	0
	常盤	1,019	908	872	33	3	79	69	8	2	32	32	0
	社	291	261	241	17	3	29	25	1	3	1	1	...
平成12年	八坂	107	39	35	1	2	63	54	－	9	5	4	1
	美麻	117	82	75	4	3	36	30	...	5	0	...	－
	総数	2,280	2,005	1,433	364	208	211	187	0	22	65	63	2
	大町	309	266	195	45	26	17	15	0	2	25	25	0
	平	579	536	379	95	62	38	33	0	5	5	4	0
	常盤	956	872	622	164	86	54	49	－	5	30	29	1
平成17年	社	260	235	167	45	23	23	21	0	2	2	2	0
	八坂	82	27	19	2	6	52	49	0	2	4	3	1
	美麻	95	68	51	12	5	27	21	－	6	－	－	－
	総数	2,048	1,840	1,425	320	93	154	136	0	18	56	...	...
	大町	280	246	204	35	6	13	12	－	1	22	...	...
	平	497	463	341	90	32	31	26	0	5	4	...	...
平成17年	常盤	898	830	644	147	38	42	37	－	5	26	...	...
	社	239	217	165	38	14	20	17	－	3	2	...	...
	八坂	59	29	26	3	1	28	26	0	2	2	...	...
	美麻	75	55	45	7	2	20	18	－	2	0	...	...

資料：農林業センサス

- 注） 1. 経営耕地面積は四捨五入したため、個々の数値を合計しても必ずしも総数と一致しない。
 2. 平成2・7年は総数、12・17年は販売農家のみの数値である。 3. 樹園地の内訳について、平成17年は集計項目なし。

経営耕地規模別農家数

各年2月1日現在

年 次	地区別	総農家数	販売農家 総数	販 売 農 家 数							3.0ha 以上
				0.3ha 未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～2.5	2.5～3.0	
平成2年	総 数	3,027	2,289	5	493	834	490	252	108	55	52
	大 町	604	326	-	117	113	47	18	12	10	9
	平	684	580	1	96	218	145	75	27	12	6
	常 盤	871	757	-	99	227	184	132	55	31	29
	社	353	292	1	59	123	69	22	12	2	4
	八 坂	261	134	2	52	55	18	2	1	-	4
	美 麻	254	200	1	70	98	27	3	1	-	-
平成7年	総 数	2,776	2,090	7	454	707	422	239	116	56	89
	大 町	526	303	1	100	105	39	21	12	8	17
	平	615	527	2	88	184	123	74	25	15	16
	常 盤	821	720	1	94	209	165	115	63	26	47
	社	337	271	-	68	90	65	23	13	6	6
	八 坂	250	113	2	48	43	13	2	1	1	3
	美 麻	227	156	1	56	76	17	4	2	-	-
平成12年	総 数	2,579	1,903	2	395	642	397	209	115	53	90
	大 町	483	292	-	100	102	32	21	12	7	18
	平	581	473	-	71	168	117	56	30	14	17
	常 盤	772	662	-	86	183	158	99	62	27	47
	社	308	253	1	60	90	59	22	11	5	5
	八 坂	223	91	1	35	36	12	4	-	-	3
	美 麻	212	132	-	43	63	19	7	-	-	-
平成17年	総 数	2,310	1,590	-	294	563	318	188	132		95
	大 町	437	234	-	65	94	23	17	20		15
	平	534	398	-	52	153	88	52	34		19
	常 盤	700	568	-	71	172	126	79	67		53
	社	288	218	-	54	71	54	22	9		8
	八 坂	187	78	-	26	31	12	9	-		-
	美 麻	164	94	-	26	42	15	9	2		-

資料：農林業センサス

生産農業所得額の推移

年 次	区 分	生産農業所得 (含補助金)	生産農業所得率	農家1戸当たり 生産農業所得	生産農業所得	参 考	
						農家戸数	耕地面積
		千万円	%	千円	千円	戸	ha
平成17年		107	30.9	463	41	2,310	2,630
18		97	29.8	419	37	2,310	2,620

資料：関東農政局長野農政事務所（生産農業所得統計）

注） 1. 農家戸数は「2005農林業センサス」（平成17年2月1日現在）によります。

2. 耕地面積は、「面積統計調査」によります。

参考（分析指標等）

- ・ 生産農業所得率＝生産農業所得÷農業生産額
- ・ 農家1戸当たり生産農業所得＝生産農業所得÷農家戸数
- ・ 耕地10a当たり生産農業所得＝生産農業所得÷耕地面積

※表記未満で計算しているので表記数値での計算値と一致しない場合がある。

販売農家における農家人口と就業状態別世帯員数

各年2月1日現在

年 次	地 区 別	15 歳 以上の 農 家 人 口	男						女					
			総 数	農 業 だけに 従 事	農 業 と 兼 業 に 従 事		兼 業 だけに 従 事	農 業 に も 兼 業 にも 従 事 せ ず	総 数	農 業 だけに 従 事	農 業 と 兼 業 に 従 事		兼 業 だけに 従 事	農 業 に も 兼 業 にも 従 事 せ ず
					農 業 が 主	兼 業 が 主					農 業 が 主	兼 業 が 主		
平成 12 年	総数	6,997	3,398	857	151	1,963	152	275	3,599	1,514	119	1,190	251	525
	大町	6,285	3,056	766	132	1,763	148	247	3,229	1,353	108	1,049	235	484
	八坂	299	147	43	6	86	3	9	152	76	4	47	7	18
	美麻	413	195	48	13	114	1	19	218	85	7	94	9	23
平成 17 年	総数	5,620	2,767	668	313	1,428	150	208	2,853	1,063	264	911	200	415
	大町	5,071	2,502	618	248	1,301	141	194	2,569	957	222	819	189	382
	八坂	257	132	33	29	58	7	5	125	61	14	34	5	11
	美麻	292	133	17	36	69	2	9	159	45	28	58	6	22

資料：農林業センサス

販売農家における家畜の頭羽数

各年2月1日現在

区分	乳 用 牛			肉 用 牛			豚			鶏		
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	百羽	百羽	百羽
総 数	341	278	180	57	8	X	3,110	2,305	525	50	—	X
大 町	—	—	—	47	—	—	—	—	—	—	—	—
平	—	—	—	—	—	—	…	—	X	50	—	—
常 盤	329	X	X	…	X	X	2,545	X	X	—	—	X
社	12	X	X	…	—	—	545	X	X	—	—	—
八坂	—	—	—	9	X	—	—	—	—	1	—	—
美麻	—	—	—	—	—	—	…	—	—	…	0	—

資料：農林業センサス

販売農家における年齢別農家人口

各年2月1日現在

年		総 数	0～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上
平成12年		8,064 人	1,067	418	868	768	1,022	1,079	549	2,293
平成17年		6,320 人	700	310	571	587	718	942	465	2,027
増 減	実 数	△ 1744 人	△ 367	△ 108	△ 297	△ 181	△ 304	△ 137	△ 84	△ 266
	比 率	△ 21.6 %	△ 34.4	△ 25.8	△ 34.2	△ 23.6	△ 29.7	△ 12.7	△ 15.3	△ 11.6
構成比	平成12年	100.0 %	13.2	5.2	10.8	9.5	12.7	13.4	6.8	28.4
	平成17年	100.0 %	11.1	4.9	9.0	9.3	11.4	14.9	7.4	32.1

資料：農林業センサス

個人有農業用機械台数

各年2月1日現在

区 分	平成12年	平成17年	増減数	増減率	普及率	
	台	台	台	%		%
動力耕耘機・農用トラクター	1,758	1,602	△ 156	△ 9.7	対・販売農家数	100.8
15馬力未満	310	306	△ 4	△ 1.3		19.2
15～30	1,121	975	△ 146	△ 15.0		61.3
30馬力以上	327	321	△ 6	△ 1.9		20.2
動力防除機	1,080	983	△ 97	△ 9.9		61.8
乗用型スピードブレイヤー	60	76	16	21.1	対・田のある農家数	4.8
動力田植機	1,402	1,224	△ 178	△ 14.5		78.1
バインダー	689	...	—	—		—
コンバイン	876	821	△ 55	△ 6.7		52.4
米麦用乾燥機	630	...	—	—		—

資料：農林業センサス
注）販売農家数は1590戸。田のある農家数は1568戸。

農地の移動状況

(単位：件・a)

年次	審 議 件 数						面 積					
	総数	法第3条 (所有権)	法第3条 (貸借権等)	法第4条	法第5条	法第20条	総数	法第3条 (所有権)	法第3条 (貸借権等)	法第4条	法第5条	法第20条
平成15年	152	32	—	8	66	46	2,370	465	—	41	736	1,125
16	126	12	—	10	59	45	3,231	467	—	60	598	2,106
17	124	21	—	7	47	49	2,540	108	—	24	642	1,766
18	161	26	—	15	63	57	2,773	283	—	55	814	1,621
19	160	28	—	15	69	48	2,843	370	—	37	648	1,788

(単位：件・a)

年次	審 議 件 数		面 積		国・県・市等の転用
	促進法第4条 (所有権)	促進法第4条 (貸借権等)	促進法第4条 (所有権)	促進法第4条 (貸借権等)	
平成15年	9	273	414	13,380	—
16	7	334	236	16,992	—
17	3	310	127	15,972	—
18	5	376	75	18,195	—
19	14	510	329	25,002	—

資料：農業委員会

区分説明 ①法＝農地法

法第3条（所有権）＝所有権の移転

法第3条（貸借権等）＝賃貸借権、使用貸借件の設定

法第4条＝所有者による農地以外の転用

法第5条＝所有権の移転及び貸借権等の設定による農地以外の転用

法第20条＝貸借の解約など

②促進法＝農業経営基盤強化促進法第4条

促進法第4条（所有権）＝所有権の移転

促進法第4条（貸借権等）＝賃貸借権、使用貸借権の設定

主要農作物作付面積及び収穫量

種 別	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t	ha	t
水 陸 稲	1,492	9,999	1,492	8,793	1,518	9,899	1,640	10,600	1,650	9,940
そ ば	139	117	164	108	152	105	176	128	146	108
大 豆	91	132	79	130	74	123	38	52	61	76
ば れ い し ょ	18	415	19	475	19	475	20	480	20	533
き ゅ う り	4	136	4	148	4	148	5	148	4	143
ト マ ト	9	418	8	310	6	275	7	298	7	314
な す	10	253	9	228	8	198	7	178	7	159
キ ャ ベ ツ	9	224	9	245	9	225	8	205	8	190
は く さ い	7	270	7	263	7	251	7	255	7	261
レ タ ス	2	49	1	38	1	22	1	17	1	16
ね ぎ	13	226	12	200	12	200	12	195	12	181
だ い こ ん	21	510	20	495	20	490	20	490	20	511
さ と い も	1	10	1	10	1	10	1	9	1	9
た ま ね ぎ	1	29	1	31	1	33	2	33	1	32
り ん ご	61	1,420	62	1,410	61	1,131	61	1,410	61	1,480
も も	1	8	1	7	1	7	1	10	1	9
か き	6	22	6	23	6	13	6	18	6	17
	ha	本	ha	本	ha	本	ha	本	ha	本
カーネーション	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
ゆ り	X	X	174	231	75	230	40	130	X	X
ス タ ー チ ス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

資料：長野県農林業市町村別統計書

林 野 面 積

平成17年2月1日現在 （単位 ： ha）

計	国 有			民 有							
	計	林野庁 以外の 官 庁	林野庁 以外の 官 庁	計	緑資源 公 団	公 有					私 有
						小 計	都道府県	森林整備法人 （林業・ 造林公社）	市区町村	財産区	
40,412	21,512	21,299	213	18,900	106	1,561	165	585	811	—	17,233

資料：農林業センサス

林種別森林面積 （計画面積）

平成12年8月1日現在 （単位 ： ha）

林 野 面 積													
計	森 林 面 積											森 林 以外の 草生地	
	計	地域森林計画面積による森林面積									計画に 含まれ ない 面 積		
		計	樹 林 地						竹 林	伐 採 跡 地			未 立 木 地
			計	人 工 林		天 然 林							
				針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹						
40,575	40,517	40,490	39,911	8,005	9	12,297	19,600	74	59	446	27	58	

資料：農林業センサス 注）国有 ・ 公有 ・ 私有の総数。

6. 事 業 所

事業所数・従業者数の推移

年 次	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成11年 (簡易調査)	平成13年	平成16年 (簡易調査)	平成18年
事業所数	2,395	2,407	2,296	2,274	2,023	2,146	1,887	1,877
従業者数	18,062	17,697	17,299	17,727	14,261	16,238	13,578	14,145

資料：企画財政課 注）平成11、16年は公務（国及び地方公共団体の事業所）を除く。

産業大分類別事業所数

産業大分類	平成16年 (簡易調査)		平成18年	
		構成比		構成比
全 産 業	1,887	100.0	1,877	100.0
農 林 漁 業	15	0.8	19	1.0
鉱 業	2	0.1	2	0.1
建 設 業	312	16.5	277	14.8
製 造 業	139	7.4	126	6.7
電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.4	9	0.5
情報通信業・運輸業	46	2.4	45	2.4
卸売・小売業	429	22.7	405	21.6
金融・保険業	24	1.3	20	1.1
不動産業	73	3.9	61	3.2
飲食店・宿泊業	373	19.8	355	18.9
医療、福祉・教育、学習支援業	467	24.7	531	28.3
複合サービス事業、サービス業				
公 務	—	—	27	1.4

資料：企画財政課 注）平成16年は公務を含まない。

産業大分類別従業者数

産業大分類	平成16年 (簡易調査)		平成18年	
		構成比		構成比
全 産 業	13,578	100.0	14,145	100.0
農 林 漁 業	347	2.6	416	2.9
鉱 業	11	0.1	8	0.1
建 設 業	1,987	14.6	1,806	12.8
製 造 業	2,640	19.4	2,351	16.6
電気・ガス・熱供給・水道業	196	1.4	206	1.5
情報通信業・運輸業	723	5.3	693	4.9
卸売・小売業	2,560	18.9	2,500	17.7
金融・保険業	213	1.6	224	1.6
不動産業	168	1.2	131	0.9
飲食店・宿泊業	1,880	13.8	1,736	12.3
医療、福祉・教育、学習支援業	2,853	21.0	3,512	24.8
複合サービス事業、サービス業				
公 務	—	—	562	4.0

資料：企画財政課 注）平成16年は公務を含まない。

7. 工 業

産業中分類別の製造品出荷額等の推移

産業分類	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等	工場数	出荷額等
		万円		万円		万円		万円		万円
総 数	76	6,422,799	63	6,824,551	75	7,204,772	63	8,715,567	61	10,027,774
食・飲料	18	469,253	13	430,285	17	449,566	18	559,353	18	622,634
織 維	1	X	1	X	1	X	1	X	1	X
衣 服	4	17,233	2	X	3	6,601	2	X	2	X
木 材	5	23,397	4	21,338	5	20,676	3	17,974	2	X
家 具	3	6,414	2	X	3	7,080	1	X	-	-
紙	1	X	1	X	1	X	1	X	1	X
印 刷	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
化 学	2	X	2	X	2	X	2	X	2	X
プラスチック	3	X	3	X	3	X	2	X	2	X
土 石	8	1,742,928	7	2,096,820	7	2,310,011	6	2,847,007	6	3,369,512
金 属	4	525,517	5	577,514	5	626,730	4	1,326,340	4	1,404,090
機 械	4	140,592	4	193,690	5	150,153	3	125,252	4	156,640
電 機	4	546,960	2	X	3	142,921	3	197,003	3	328,607
情 報	4	34,163	4	46,635	4	72,789	3	73,923	3	74,629
電 子	6	1,923,906	6	2,203,680	7	2,312,318	6	2,757,820	5	3,215,651
輸 送	1	X	1	X	1	X	2	X	2	X
精 密	4	3,784	2	X	2	X	2	X	2	X
そ の 他	2	X	2	X	4	48,579	2	X	2	X
X の 計	-	988,652	-	1,254,589	-	1,057,348	-	810,895	-	856,011

資料：工業統計調査 注) 1. 従業者数が4人以上の事業所が対象。
2. 平成16年数値は、旧美麻村分を除く。

年次別の工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

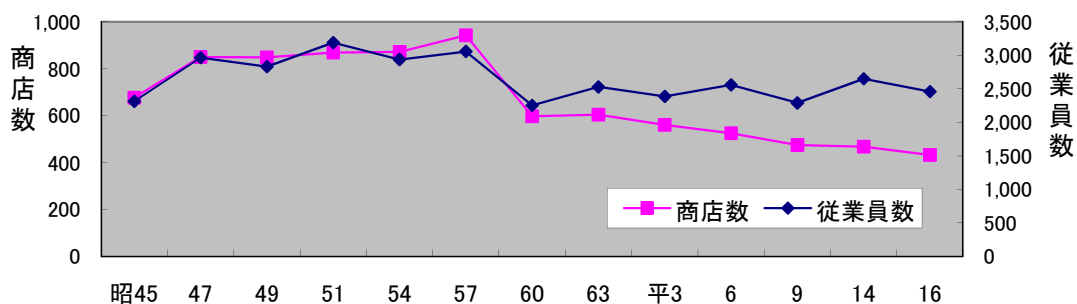
各年12月31日現在

年 次	工場数	従業者数			製造品出荷額等		1事業所当り			1従業者当り	
		総 数	男	女	実 数	対前年比	従業員	出荷額	対前年比	出荷額	対前年比
		人	人	人	万円	%	人	万円	%	万円	%
平成15年	76	2,383	1,573	810	6,422,799	104.1	31.4	84,511	97.2	2,695	99.3
16	63	2,218	1,481	737	6,824,551	106.3	35.2	104,993	124.2	3,077	114.2
17	75	2,282	1,505	777	7,204,772	105.6	30.4	96,064	91.5	3,157	102.6
18	63	2,054	1,406	648	8,715,567	121.0	32.6	138,342	144.0	4,243	134.4
19	61	2,084	1,415	669	10,027,774	115.1	34.2	164,390	118.8	4,812	113.4

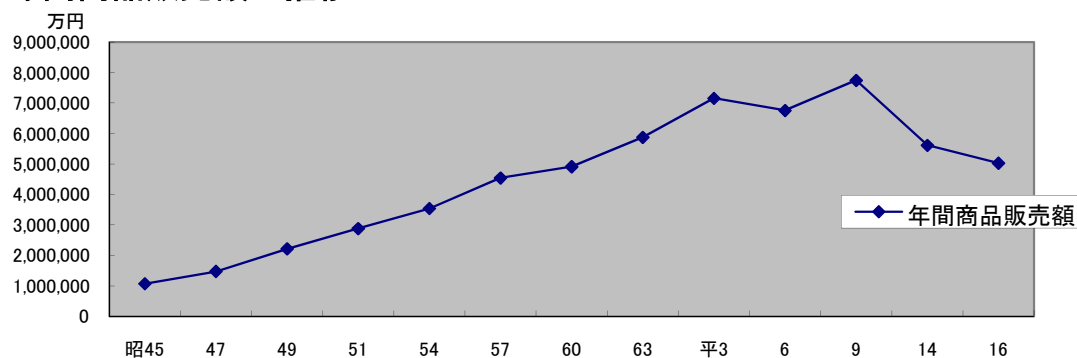
資料：工業統計調査 注) 1. 従業者数4人以上の事業所が対象。 2. 平成16年の数値は、旧美麻村の数値を除く。

8. 商 業

卸売・小売業の推移



年間商品販売額の推移



商 業 の 推 移

年 次	商 店 数	従業者数	年 間 商 品 販 売 額	そ の 他 の 収 入 額	商 品 手 持 額	1 商 店 当 た り		1人当たり 販 売 額
						従 業 者	販 売 額	
		人	万円	万円	万円	人	万円	万円
昭和45年	677	2,311	1,068,142	13,220	128,460	3.4	1,578	462
47	850	2,965	1,471,566	18,382	142,520	3.5	1,731	496
49	849	2,831	2,213,841	28,700	237,240	3.3	2,608	782
51	869	3,191	2,880,965	55,316	294,434	3.7	3,315	903
54	872	2,939	3,541,045	63,085	330,679	3.4	4,061	1,205
57	943	3,058	4,542,633	95,755	464,071	3.2	4,817	1,485
60	592	2,238	4,893,838	125,316	461,123	3.8	8,267	2,187
63	604	2,527	5,878,910	187,916	509,328	4.2	9,733	2,326
平成3年	561	2,385	7,160,369	243,716	650,268	4.3	12,764	3,002
6	525	2,557	6,758,250	260,948	514,750	4.9	12,873	2,643
9	474	2,288	7,749,198	281,409	563,795	4.8	16,349	3,387
14	467	2,650	5,616,014	223,151	482,318	5.7	12,026	2,119
16	432	2,458	5,031,070	...	...	5.7	11,646	2,047
19	385	2,291	4,299,494	80,510	373,182	6.0	11,168	1,877

資料：商業統計調査

- 注) 1. 54、57年の従業者数及び年間商品販売額は飲食店のうちバー、酒場等を除く。
2. 昭和60年以降は飲食店を除く。

産業中分類別年間商品販売額の推移（卸売・小売業）

年次 産業中分類	昭和60年（5月1日）		昭和63年（6月1日）		平成3年（7月1日）	
	商店数	販 売 額	商店数	販 売 額	商店数	販 売 額
		万円		万円		万円
総 数	597	(4, 911, 821)	604	(5, 878, 910)	561	7, 160, 369
卸 売 業	64	1, 480, 984	71	2, 261, 679	62	2, 997, 766
各 種 商 品 小 売 業	1	X	2	X	4	(448, 219)
織物・衣服・身の回り品小売業	65	(538780)	61	(568, 951)	58	232, 361
飲 食 料 品 小 売 業	193	1, 036, 528	201	1, 125, 761	169	1, 172, 613
自 動 車 ・ 自 転 車 小 売 業	41	(549, 901)	42	(751, 967)	40	(897, 396)
家 具 建 具 什 器 小 売 業	56	(279, 086)	57	(335, 322)	56	(322, 951)
そ の 他 の 小 売 業	177	(1, 000, 353)	168	(792, 609)	172	(1, 045, 561)

平成6年（7月1日）		平成9年（6月1日）		平成14年（6月1日）		平成16年（6月1日）	
商店数	販 売 額	商店数	販 売 額	商店数	販 売 額	商店数	販 売 額
	万円		万円		万円		万円
525	6, 758, 250	474	7, 749, 198	467	5, 616, 014	432	5, 031, 070
54	2, 523, 796	52	3, 301, 812	52	(1, 628, 729)	45	1, 226, 715
2	X	2	X	4	(310, 275)	2	X
56	238, 361	50	220, 860	39	159, 828	41	150, 303
164	1, 336, 044	142	1, 376, 844	134	1, 099, 158	130	(919, 497)
35	(846, 286)	33	(868, 042)	33	(607, 384)	32	X
47	(320, 786)	51	X	43	320, 733	40	332, 437
167	(6, 564)	144	(1, 293, 895)	162	1, 481, 457	142	(1, 560, 104)

平成19年（7月1日）	
商店数	販 売 額
	万円
385	4, 299, 494
42	1, 070, 968
2	X
37	97, 971
94	845, 559
33	499, 528
39	292, 538
138	X

資料：商業統計調査 注）1. 表中のXは伏数値。2.（ ）内の数値はXの数字を含まないため、総数と一致しない。

9. 教育・文化

学 校 総 覧

平成20年5月1日現在

学 校 名	創立年月日	学級数	教員数	児 童 生 徒 数 (平成20年5月1日現在)			一般校舎 面 積	屋 内 運動場 講堂面積	屋 外 運動場
				総 数	男	女			
		級	人	人	人	人	m ²	m ²	m ²
大町東小学校	S56. 4. 1	14	23	310	157	153	5,899	1,002	13,715
大町西小学校	S59. 4. 1	14	26	377	194	183	7,360	1,486	13,169
大町南小学校	S62. 4. 1	19	26	443	219	224	5,689	1,247	9,275
大町北小学校	S52. 4. 1	21	32	510	263	247	6,705	982	11,750
八坂小学校	S61. 4. 1	6	10	62	35	27	2,865	1,027	8,190
美麻小学校	S51. 4. 1	7	12	69	36	33	1,346	1,227	11,956
第一中学校	S34. 4. 1	13	25	385	210	175	6,687	2,123	12,455
仁科台中学校	S40. 4. 1	16	35	476	258	218	6,776	1,487	15,750
八坂中学校	S22. 4. 1	3	11	41	25	16	2,167	1,198	9,388
美麻中学校	S52. 4. 1	4	11	49	33	16	2,015	1,227	11,956
大町高等学校	M34. 4. 1	12	39	479	254	225	6,307	2,141	18,422
大町北高等学校	M45. 4. 1	9	35	341	128	213	6,209	2,853	19,586
大町幼稚園	S 9. 3. 15	4	5	60	33	27	626	—	1,491
こまくさ幼稚園	S35. 4. 1	3	5	58	29	29	445	91	587
りんどう幼稚園	S55. 4. 1	3	6	63	34	29	486	150	1,540

資料：企画財政課（学校基本調査）、教育委員会、大町高校、大町北高校

注）1. 学級数は特別支援教室を含む。

2. 美麻小中学校の屋内運動場及び屋外運動場は、小中兼用。

幼稚園の状況

各年5月1日現在

年 次	園 数	学級数	園 児 数				教 員 数		園 児 の 年 齢 別		
			総 数	男	女	1学級 当たり 園児数	実 数	教員1人 当たりの 園児数	3 歳	4 歳	5 歳
		級	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成16年	3	13	256	134	122	19.7	22	11.6	77	84	95
17	3	13	237	126	111	18.2	23	10.3	71	78	88
18	3	12	204	103	101	17.0	19	10.7	61	65	78
19	3	12	187	97	90	15.6	17	11.0	61	61	65
20	3	10	181	96	85	18.1	16	10.6	55	61	65

資料：企画財政課（学校基本調査）

小学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	児童数			教員数 実数	学年別児童数					
			総数	男	女		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成16年	6	81	1,957	1,021	936	117	319	332	324	318	337	327
17	6	81	1,936	1,030	906	122	311	317	334	325	313	336
18	6	83	1,912	1,016	896	120	319	304	315	335	324	315
19	6	82	1,846	957	889	124	261	313	301	315	331	325
20	6	81	1,771	904	867	118	260	257	312	299	315	328

資料：企画財政課（学校基本調査）

中学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数		学年別生徒数			3月 卒業 者数
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数	実数	教員1人 当たりの 生徒数	1学年	2学年	3学年	
	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成16年	4	35	942	475	467	26.9	75	12.6	324	298	320	335
17	4	35	945	469	476	27.0	81	11.6	324	324	297	318
18	4	36	971	505	466	27.0	78	12.4	328	329	314	297
19	4	35	964	515	449	27.5	76	12.7	313	324	327	315
20	4	36	951	526	425	26.4	78	12.2	310	318	323	326

資料：企画財政課（学校基本調査）

高等学校の状況

各年5月1日現在

年次	学校数	学級数	生徒数				教員数		学年別生徒数		
			総数	男	女	1学級 当たりの 生徒数	実数	教員1人 当たりの 生徒数	1学年	2学年	3学年
	校	級	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成10年	2	26	998	466	532	38.4	72	13.9	313	360	325
11	2	25	977	453	524	39.1	73	13.4	315	307	355
12	2	24	918	416	502	38.3	70	13.1	316	302	300
13	2	23	853	395	458	37.1	68	12.5	263	303	287
14	2	22	825	371	454	37.5	64	13.5	286	252	287
15	2	21	807	373	434	38.4	61	13.2	291	272	244
16	2	22	874	395	479	39.7	79	11.1	326	282	266
17	2	22	871	391	480	39.6	78	11.2	281	316	274
18	2	22	865	393	472	39.3	74	11.7	287	273	305
19	2	21	829	387	442	39.5	75	11.1	285	276	268
20	2	21	820	382	438	39.0	74	11.1	286	269	265

資料：大町高等学校、大町北高等学校

中学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業 者 総 数	A進学者 (就職進学を含む)						(就職して入学した者を含む) B教育訓練機関等入学者	就職者 (左記A及びBを除く)	無業者	死亡・不詳	左記Aのうち他県への進学者(再掲)	左記A及びBのうち就職している者(再掲)		卒業者のうち入学を志願した者				進学率	就職率
		計	全日	定時	通信	高専	特別支援学校 高等部(本科)						左記Aのうち	左記Bのうち	高校	高専	中等教育学校	特別支援学校 高等部(本科)		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		人	%	%
平成16年3月	335	325	311	1	6	3	4	2	1	7	-	12	-	1	300	3		4	97.0	0.3
男	174	167	159	0	3	3	2	2	-	3	-	9	-	1	159	3		2	96.0	-
女	161	158	152	1	3	-	2	-	1	4	-	3	-	-	141	-		2	98.1	0.6
平成17年3月	318	314	301	5	1	2	4	-	3	1	-	7	1	-	300	2		4	98.7	0.9
男	160	156	150	2	-	2	2	-	3	1	-	6	1	-	150	2		2	97.5	1.9
女	158	158	151	3	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-	150	-		2	100.0	-
平成18年3月	297	294	283	4	3	3	1	-	-	3	-	6	-	-	287	3		1	99.0	-
男	135	135	128	3	1	3	-	-	-	-	-	3	-	-	131	3		-	100.0	-
女	162	159	155	1	2	-	1	-	-	3	-	3	-	-	156	-		1	98.1	-
平成19年3月	315	308	292	10	4	2	-	-	4	3	-	8	-	-	305	2	1	-	97.8	1.3
男	174	171	163	3	3	2	-	-	2	1	-	5	-	-	168	2	-	-	98.3	1.1
女	141	137	129	7	1	-	-	-	2	2	-	3	-	-	137	-	1	-	97.2	1.4
平成20年3月	326	324	307	11	2	3	1	-	1	1	-	8	-	-	318	3	-	-	99.4	0.3
男	157	155	147	4	1	2	1	-	1	1	-	5	-	-	151	2	-	-	98.7	0.6
女	169	169	160	7	1	1	-	-	-	-	-	3	-	-	167	1	-	-	100.0	-

資料：企画財政課（学校基本調査）

高等学校進路別卒業生数

各年5月1日現在

年次	卒業生総数	A進学者 (就職進学を含む)				B教育訓練機関等入学者 (就職して入学した者を含む)	就職者 (左記A及びBを除く)	無業者	死亡・不詳	進学者 (再掲)	左記A及びBのうち就職している者 (再掲)		卒業生のうち入学を志願した者		進学率	就職率
		総数	大学	短大	大・短大の別課 通信教育部						左記Aのうち	左記Bのうち	大学	短大		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%
平成16年3月	242	115	78	37	—	98	22	7	—	80	—	—	125	40	47.5	9.1
男	115	55	47	8	—	49	6	5	—	...	—	—	77	9	47.8	5.2
女	127	60	31	29	—	49	16	2	—	...	—	—	48	31	47.2	12.6
平成17年3月	266	121	95	26	—	94	39	12	—	67	—	—	128	30	45.5	14.7
男	115	67	65	2	—	31	12	5	—	44	—	—	82	2	58.3	10.4
女	151	54	30	24	—	63	27	7	—	23	—	—	46	28	35.8	17.9
平成18年3月	271	134	109	25	—	89	40	8	—		—	—	146	27	49.4	14.8
男	136	71	68	3	—	43	17	5	—	55	—	—	97	3	52.2	12.5
女	135	63	41	22	—	46	23	3	—	42	—	—	49	24	46.7	17.0
平成19年3月	301	152	115	36	1	110	27	12	—	132	—	—	147	36	50.5	9.0
男	140	71	69	1	1	52	10	7	—	59	—	—	95	1	50.7	7.1
女	161	81	46	35	—	58		57	—	73	—	—	52	35	50.3	—
平成20年3月	267	136	106	29	1	65	20	7		66			140	29	50.9	7.5
男	112	59	59			12	8	3		30			86	0	52.7	7.1
女	155	77	47	29	1	53	12	4		36			54	29	49.7	7.7

資料：大町高等学校、大町北高等学校

高等学校卒業者の産業大分類別就職者数（県内）

5月1日現在

産 業 別	19年3月卒			20年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	—	—	—	19	8	11
農 林 業	—	—	—	—	—	—
建 設 業	—	—	—	—	—	—
製 造 業	7	2	5	9	4	5
電気・ガス・熱供給、水道業	1	1	—	1	1	—
情 報 通 信 業	—	—	—	—	—	—
運 輸 業	—	—	—	—	—	—
卸 売 ・ 小 売 業	7	3	4	2	—	2
金 融 ・ 保 険 業	—	—	—	—	—	—
不 動 産 業	—	—	—	—	—	—
飲 食 店 ， 宿 泊 業	3	1	2	—	—	—
医 療 ， 福 祉 業	1	—	1	2	1	1
サ ー ビ ス 業	5	—	5	3	—	3
公 務 業	3	3	—	2	2	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—

資料：大町高等学校、大町北高等学校

高等学校卒業者の職業分類別就職者数（県内）

5月1日現在

産 業 別	19年3月卒			20年3月卒		
	計	男	女	計	男	女
総 数	27	10	17	19	8	11
専 門 技 術	—	—	—	2	1	1
事 務 従 事	2	—	2	2	2	—
販 売 従 事	7	3	4	2	—	2
農 林 業 作 業	—	—	—	—	—	—
運 輸 ・ 通 信 業 従 事	1	1	—	—	—	—
技 能 工 程 生 産 工 程 作 業	6	2	4	9	4	5
単 純 労 働	—	—	—	—	—	—
保 安 職 業	3	3	—	1	1	—
サ ー ビ ス 職 業	6	1	5	3	—	3
そ の 他	2	—	2	—	—	—

資料：大町高等学校、大町北高等学校

高等学校卒業者の都道府県別大学等進学者数

各年5月1日現在

年 次	総 数			県 内		県 外 （ 都 道 府 県 別 ） 内 訳									
	計	男	女	人 数	率	計	率	東 京	神 奈 川	山 梨	愛 知	埼 玉	千 葉	その他	
平成16年	人	人	人	人	%	人	%	人	人	人	人	人	人	人	
	115	55	60	35	30.4	80	69.6	33	5	3	8	4	5	22	
17	121	67	54	34	28.1	87	71.9	31	5	8	6	4	2	31	
18	134	71	63	37	27.6	97	72.4	26	14	9	13	6	3	26	
19	152	71	81	49	32.2	103	67.8	28	16	7	14	6	3	29	
20	136	59	77	37	27.2	99	72.8	32	9	2	6	6	11	33	

資料：大町高等学校、大町北高等学校

高等学校卒業者の県内地区別就職者数

各年5月1日現在

年 次	就職者総数	県外就職者	県内就職者		大 北 地 域			そ の 他 の 地 方					
			人 数	就職率	計	大町市	北安曇郡	計	松本市	長野市	岡谷市	安曇野市	その他
平成16年	人	人	人	%	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	22	2	20	90.9	9	6	3	11	3	—	—	7	1
17	39	3	36	92.3	23	19	4	13	3	1	—	9	—
18	40	3	37	92.5	27	23	4	10	6	—	—	3	1
19	27	1	26	96.2	12	11	1	14	8	2	—	3	1
20	20	1	19	95	7	4	3	12	7	2	—	3	—

資料：大町高等学校、大町北高等学校

奨学金貸与の状況

平成20年3月31日現在

年 度	貸 付 者 数				貸 付 額		償還者数	償 還 額	
	大学生		高校生		年 額	累 計 額		年 額	累 計 額
	新規	継続	新規	継続					
	人	人	人	人	千円	千円	人	千円	千円
平成15年度	6	9	5	1	4,290	51,474	8	750	30,163
16	6	9	3	2	5,980	57,454	12	1,250	31,413
17	—	7	—	4	3,180	60,634	17	1,827	33,240
18	4	3	—	1	2,700	63,334	17	2,039	35,279
19	3	2	—	—	1,800	65,134	21	3,617	38,896

資料：教育委員会 注) 旧八坂村・旧美麻村は該当なし。

図書館貸出冊数の推移

年 度	児 童	高校生・一般	計	一日平均
平成15年度	37,822	146,927	184,749	646
16	62,122	120,893	183,015	642
17	61,471	120,806	182,277	644
18	63,004	121,316	185,390	662
19	69,261	127,063	196,324	686

資料：市立大町図書館 注)平成16年度以降、「児童」は総児童書貸出数掲載。

図書館登録者数（累計）

年 度	児 童	高校生・一般	計	一人当たり貸出数
平成15年度	1,684	10,189	11,873	15.6
16	1,946	11,231	13,177	13.9
17	1,537	12,047	13,584	13.4
18	2,305	12,211	14,516	12.8
19	2,510	12,971	15,481	12.6

資料：市立大町図書館

図書館の蔵書と利用冊数

分 類	蔵書冊数	蔵書構成比
	冊	%
N 郷土資料	5,565	5.5
0 総記	3,522	3.5
1 哲学	2,895	2.8
2 歴史	7,535	7.4
3 社会科学	10,010	9.8
4 自然科学	7,463	7.3
5 技術	4,916	4.8
6 産業	2,574	2.5
7 芸術	8,387	8.2
8 語学	1,240	1.2
9 文学	24,007	23.6
小 計	78,114	—
大活字本	1,357	—
児童図書	23,755	23.3
紙芝居	891	—
大活字本	73	—
図書合計	101,869	100.0
雑誌	4,130	—
フリー	112	—
C D	1,701	—
ビデオ	1,640	—
D V D	289	—
合 計	109,741	—

平成20年3月31日現在

資料種別	19年度貸出数
一般図書	94,607
児童図書	69,261
郷土資料	957
資料小計	164,825
雑 誌	7,285
フリー	3,441
C D	5,242
ビデオ	8,599
学習室利用	6,932
合計	196,324

資料：市立大町図書館

夏期大学講座の受講者数

年 度	職 業 別 受 講 者				地 域 別 受 講 者					
					県 内					県外 一般
	総 数	教 員	学 生	そ の 他	郡内 教員	郡内 一般	教 他 員 都市	一 他 般 都市	学 生	
	人	人	人	人	人	人		人		人
平成9年度	1,484	966	23	495	…	…	…	…	…	83
10	1,385	895	8	482	…	…	…	…	…	73
11	1,567	929	15	623	…	…	…	…	…	69
12	1,608	1,026	5	577	…	…	…	…	…	42
13	1,636	1,113	5	518	…	…	…	…	…	65
14	1,886	1,164	8	714	…	…	…	…	…	60
15	1,860	1,190	6	664	…	…	…	…	…	49
16	1,803	1,122	12	669	…	…	…	…	…	48
17	2,063	1,145	14	904	…	…	…	…	…	74
18	2,340	1,201	19	1,120	1,168	861	33	131	19	128
19	2,111	1,177	2	932	1,155	777	22	79	2	76
20	1,963	1,118	8	837	1,079	698	39	83	8	56

資料：北安曇教育会

注）数値は開講中の延べ数。

山岳博物館の観覧状況

年 度	総 数				一 般 個 人			団 体			減免及び 無料入館者
	計	大 人	高校生	小中学生	大 人	高校生	小中学生	大 人	高校生	小中学生	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成15年度	26,431	21,877	1,320	3,234	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	20,234	17,539	978	1,717	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	17,666	15,203	905	1,558	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	20,688	17,176	680	2,832	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	15,698	13,392	527	1,779	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874

資料：山岳博物館

注）減免及び無料入館者は総数に含まない。

文 化 財

平成20年3月31日現在

名称・指定年月日・所在地	説 明
〔 国 宝 〕	
仁科神明宮本殿・中門(前殿) S28. 3. 31 社1159番地	本殿は桁行3間・梁間2間・神明造・檜皮葺。中門(前殿・御門屋)は四脚門・切妻造・檜皮葺で釣屋がこれらを連結している。ともに寛永13年(1636)の造営で江戸時代初期の端正な建築である。本殿は神明造の建築物として、わが国で最古の様式を伝えていることで極めて高く評価されている。
〔 重要文化財 〕	
盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30 社2937番地ー1	もとは東北側山中の山寺地籍にあった堂を移築したものと伝えられているが、仁科氏の祈願寺であった関係から、同氏によって造られたものと考えられる。 室町時代に建立されているが、鎌倉時代末頃の創建当時のおもかげをわずかにとどめている。桁行3間・梁間3間の寄棟造で、松本平最古の木造建築物である。
木造棟札 S25. 8. 29 社1159番地	永和2年(1376)から安政3年(1856)にいたる480年間に及ぶ27枚が指定されており、棟札が単独で指定されているのは全国でもこれだけである。この棟札によって仁科神明宮の20年に一度の式年造営の様子、仁科氏の家系と家臣、造営事情等を詳細に極めることができ、地方文化の究明の上でも貴重な資料とされている。仁科神明宮蔵。
若一王子神社本殿 S30. 2. 12 大町2097番地	一間社・隅木入春日造・檜皮葺で、承応3年(1654)の棟札1枚が付属指定されている。室町時代の末頃に仁科氏によって造営されたもので、建築様式に多くの地方様式を残している。
鉄鰐口 S32. 2. 19 社4886番地2	面径24cmで表面に安貞2年(1228)8月の陽刻銘が見られる。木船にあった仁科氏の祈願寺跡から出土したものと伝えられており、鉄製で年代の明らかな鰐口としては、わが国最古のものである。このような珍しい鰐口が、この地に残っているのは、仁科氏文化の性格を語るものとして貴重で興味深い。木船部落所蔵。大町山岳博物館保管。
御正体 S36. 2. 17 社1159番地	銅製の円盤に仁科神明宮の本地仏大日如来などを取り付けた懸仏で、指定されているのは5面であるが、ほかに11面が附属指定されている。裏面に「弘安元年卯月廿一日」の朱漆銘のあるものや、「弘安九年十二月廿二日」の墨書銘のあるものがあるほか、「志ん名」「志んめいの御しやうたい」と記されているものがある。仁科神明宮蔵。
木造千手観音立像 S25. 8. 29 八坂1625番地	檜材、寄木造、像高168. 2cm。像造年代が、平安時代末期であるが、技法や彫り方にはそれ以前のものを感じさせる。木像の胎内には、願主・仏師などの名前や治承3年(1179)3月と年代など造像事情を記した墨書木札1枚、白銅製菊花双雀文鏡1枚、紙本千手観音摺仏28枚が納入されており、白銅鏡は附属指定となっている。藤尾覚音寺の本尊で、「藤尾の観音さま」と呼ばれ、人々に親しまれている。
木造持国天立像・木造多聞天立像 S25. 8. 29 八坂1625番地	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、檜材、寄木造。像高は、持国天161. 5cm、多聞天157. 6cm。像の背面には、持国天・建久5年(1194)、多聞天・建久6年(1195)年と年号の陰刻銘が刻まれており、これが造像年代と考えられる。鎌倉時代初頭の造像であるが、作風は平安時代後期の作風を残している。
旧中村家住宅 主屋・土蔵 H9. 12. 3 美麻17668番地	主屋は、桁行14間・梁行6間・建坪84坪(約 278 m ²)の木造平屋・茅葺・寄棟造で、元禄11年(1698)建立と建築年代が明らかな民家として県内最古で、大きさも当時の民家としては県内屈指で、農村における居住形態を知る上で貴重である。 土蔵は、桁行6間・梁行4間の切妻造で、安永9年(1780)と建築年代が判明するものとしては県下で古い例に属す。置屋根で軒支柱を立てて屋根の荷重を支える構造である。

〔 国 天然記念物 〕	
高瀬溪谷の噴湯丘と球状石灰石 T11. 10. 12 平 湯俣	高瀬溪谷の湯俣川下流付近で、温泉沈殿物(主に炭酸カルシウム)が河床に堆積して小さな火山のような形(噴湯丘)になり、中央の湧き口に白い小豆粒大の霰石(あられいし)【球状方解石】ができる現象が珍しい。
〔 国 特別天然記念物 〕	
ライチョウ S30. 2. 15	動物・鳥類
カモシカ S30. 2. 15	動物・哺乳類
〔 国 天然記念物 〕	
イヌワシ S40. 5. 12	動物・鳥類
ヤマネ S50. 6. 26	動物・哺乳類
〔 長野県宝 〕	
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14 大町4188番地	平安時代中期の制作と考えられるもので、樺(けやき)の一木造。後に補われ修理された部分もあるが、平安時代初期の貞観様式を多分にもつ安曇平最古の木像である。像高5尺3寸3分(約161. 5cm)の立像。弾誓寺観音堂保存会蔵。
若一王子神社三重塔及び棟札 S41. 1. 27 大町2097番地	弾誓寺六世木食故信法阿の発願で宝永3年(1706)から工事を始め、宝永8年(1711)に竣工した。墓股(かえるまた)内部に方位に合わせ獣面人身という珍しい彫刻が施されており、この地方としてはまれに見る優雅な塔で、松本平で唯一の木造の塔である。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27 大町4729番地4	若一王子神社の三重塔の原型とも言い伝えられ、10分の1の縮尺であるとされているが、細部の手法には若一王子神社の三重塔とは異なったところが見られる。造られた年代は江戸中期とみられる。
大黒町舞台 S62. 8. 17 大町2199番地	諏訪の名匠二代目立川和四郎富昌により、江戸時代後期の文政9年(1826)頃までに完成したと思われる。二層構成・切妻起屋根・三輪形式の移動舞台。随所に入念巧遅な立川流の彫刻があり、美術的価値が高い。明治21年(1888)年に松本の本町二丁目から購入し、以来毎年7月の若一王子神社の夏祭りに市街を巡行している。大黒町自治会蔵。
霊松寺山門 H5. 8. 12 大町6665番地イ	入母屋造・正面3間・側面2間の楼門形式の八脚門で総檜造(そうけやきづくり)である。和様の重厚な形式を基本にして、唐様を取り入れた折衷様式でいたる所に施された素木彫の建築彫刻は、江戸時代後期立川流の流れをよく表している。嘉永5年(1852)に諏訪郡高部村の藤森広八(二代目政因)が棟梁となって、松川村観勝院に建てられたが、同寺が廃寺となった明治11年(1878)に霊松寺へ移築されたものである。
銅造十一面観音坐像御正体残闕 (ざんけつ) H11. 3. 18 大町2097番地	若一王子神社観音堂の現在の本尊。本来は懸仏であったものであるが鏡板を失い仏体のみとなっている。鑄銅造で像高19cm、蓮華座の高さ3cmの坐像で、右手は施無畏、左手には瓶中蓮を持っていたと思われるがこれも失われている。元は金銅仏であったと思われるが、今は剥落している。やや下膨れの顔が柔和で、体型はふっくらとしている。彫りは浅く衲衣(のうい)も簡略であるができればは優美である。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16 社3945番地2	鎌倉～室町時代に社間田の東山中にあったと伝えられる山寺廃寺跡から出土した火葬骨の蔵骨器で、四耳壺1・瓶子2・土師質小皿1・青白磁水注1・写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1がある。四耳壺・瓶子は古瀬戸で鎌倉時代中期以前の優れた製品で、水注は中国の景德鎮での製造と推定される。大町市民俗資料館保管。
〔 長野県無形文化財 〕	
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3 社1159番地	仁科神明宮の秋の例祭に奉納される、能を取り入れた神楽。演目は剣の舞・岩戸神楽・五行の舞・水継・幣の舞・竜神神楽・道祖神の7座である。舞だけの座と舞を伴いつつ謡曲によって天の岩戸・海幸山幸・天孫降臨の神話を展開していく座がある。

〔 長野県無形民俗文化財 〕	
仁科神明宮・作始め神事 H2. 2. 19 社1159番地	仁科神明宮の春の例祭に、伊勢神宮の祈念祭(としごいのまつり)にならって行われている神事。鍬初めから苗代づくり・種播き・鳥追いまでの一連の水田耕作の所作が、神楽殿内を一坪の広さに仕切った中で演じられる。その年の作況を占う神事。
流鏑馬の神事 H13. 9. 20 大町2097番地	毎年7月28日～29日(旧来は7月15日～17日)の若一王子神社の例祭で、最終日に行われる7～8歳の男子が化粧をして狩衣装束をつけ飾った馬に乗り、的板めがけ弓矢を射る神事。この神事のもとには農作の豊凶を占う神事で、武士の間で盛んであった「やぶさめ」の形を取り入れた地方色の強い神事と考えられる。
〔 長野県史跡 〕	
上原遺跡 S35. 2. 11 平1955番地355ほか	昭和25年～27年の数次にわたる発掘調査で配石跡や竪穴等の遺構の発見があった縄文時代前期を代表する遺跡。配石遺構は2群あって、1号群は中心石柱1個、側石柱12個により南北径3.6m、東西径2.2mの楕円形に復元され、2号群はこの南に2.4m離れ、中心石柱1個、側石柱6個により径1.8mの円形に復元されている。竪穴は配石跡の南40mにあり、径2m・深さ1mの円形竪穴で、側壁が階段状になっており焚火跡も見られた。出土遺物では、土器は縄文時代前期のものを中心とし、それに伴う石器は石斧・石鏃・石匙・石錐・球状耳飾等がある。指定区域面積は約40,000㎡。
〔 長野県天然記念物〕	
大塩のイヌ桜 S37. 7. 12 美麻3342番地	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静かの桜」と呼ばれる。目通り幹囲は8.45m、太い幹に比して樹高約20mと低いが、枝は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。開花期は5月下旬で、花径5mmぐらいの梅花状の白い花が穂状につく。このようなイヌ桜の巨木は非常に珍しく貴重である。
若一王子神社社叢 S40. 4. 30 大町2097番地	約300本のスギと約130本のヒノキを主体にした、指定区域面積17,186.4㎡の社叢である。平坦地においてこれだけの面積の針葉樹林が見られるのは珍しく貴重である。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17 社1159番地	国宝仁科神明宮を囲むスギ、ヒノキを主体とした、指定区域面積19,257.78㎡の社叢である。境内入口にある三本杉(現在中央1本を失っている)や国宝本殿の西側にあるスギは、目通り周囲5m樹高50mを越える巨木でこれらに加え境内には幹囲2mをこえるスギ20数本・ヒノキ10数本が生育し古い歴史を物語っている。
居谷里湿原 S46. 8. 23 大町8279番地10ほか	この湿原の状態は、ミズゴケのよく育ったところもあり、泥炭層の発達したところもあって、必ずしも一様ではない。湿原内にはモウセンゴケやミミカキグサ・タヌキモなどの多種の食虫植物のほか、ハンノキ・ミヤマウメモドキ・イソノキなどの木本と、ミズバショウ・リュウキンカ・ミツガシワなどの草本等、湿原特有の植物が見られる。また、県内では珍しい暖地性のハチョウトンボの生息地であり、ハナノキの隔離分布として学術上貴重な湿原である。指定区域面積は、20,902㎡。
大町市のカワシンジュガイ生息地 H19. 1. 11 農具川水系 平20677番地2先から15637番地1先まで 居谷里沢水系 大町8267番地11先から8194番地先まで	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。中部農具川と居谷里沢の生息地2箇所を地域指定。
〔 長野県天然記念物〕	
ミヤマモンキチョウ S50. 2. 24	動物・高山蝶

ヤリガタケシジミ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネキマダラセセリ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモマツマキチョウ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
タカネヒカゲ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
クモマベニヒカゲ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
コヒオドシ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
オオイチモンジ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
ベニヒカゲ	S50. 2. 24	動物・高山蝶
ホンドオコジョ	S50. 11. 4	動物・哺乳類
ホンシュウモモンガ	S50. 11. 4	動物・哺乳類
[大町市有形文化財]		
広形銅戈(海の口上諏訪社) S46. 12. 10 平14505番地	出土地等は明らかではないが、糸魚川地方または小谷村と推定されている。全長24. 5cm。銅戈は、北九州から近畿地方に分布しているが、中部地方以北の出土は稀で、本銅戈が今のところ北限となっており、弥生文化の伝播を知る貴重な資料である。大町市文化財センター保管。	
若一王子神社観音堂及び厨子 S46. 12. 10 大字大町2097番地	観音堂は江戸時代中期の宝永3年(1706)に建立された宝形造、茅葺・三間四面の和様建築。内部は表側 2 間通りを外陣とし、奥1間通りを内陣として厨子を置く。厨子は、禅宗様式を多く取り入れ、和様と唐様を折衷したものである。	
盛蓮寺木造不動明王立像 S57. 3. 3 社2937番地1	腰をひねるようにして、右足に体重をのせて岩座に立つ。半眼半開、二牙を上下交互にあらわしている。右肩にたれる髪の一部、左臂、裾に傷が見られる他はほぼ完全であるが、右手に構える剣を失っている。鎌倉時代末の製作で台座・光背は後の時代に補っている。総丈98cm・仏丈65cm・岩座15. 5cm。	
盛蓮寺木造薬師如来坐像 S57. 3. 3 社2937番地1	室町時代前半の文安4年(1447)に製作された檜材の小像である。小さいながら作風は大まかにゆったりとしており大きな感じをあらわしている。本像の胎内に「文安第四丁目卯三月廿四日 願主 喜香叟」の墨書銘がある。台座・光背・両手首・薬壺等を失っている。	
大沢寺木造阿弥陀如来立像 S62. 3. 23 大町4156番地	檜材・寄木造。全高78cm。後補を繰り返していると思われ、鉢部は室町時代末～桃山時代。頭部は、古く平安時代の藤原様式が伺える。形状は整い均整がとれている。仁科氏の旧臣であった松村市左衛門の拝仏堂に安置されていたと伝えられる。	
西正院木造大姥尊坐像 S63. 1. 14 平1298番地	檜材・寄木造。像高39. 5cm。頭に白布をかぶり、ゆったりとした単衣をまとい、帯を前に結び右脚を立てて坐った老婆の姿の像で、写実性に富、量感も豊かな室町時代中期の作。台座を失っている。当地における山岳信仰の一面を伝える証左として貴重。	
天正寺山門 S63. 1. 14 大町4730番地1	装飾的な要素がほとんど無い、純粋な和様の薬医門である。元禄元(1688)年の建立で宝暦10(1760)年修理しているが、柱から梁間は、建立当時のままとされる。禅寺にふさわしい簡素な山門で江戸時代中期の数少ない建造物である。現八坂村大塚の丸山九郎左衛門尉が寄進したもの。	
長性院木造聖観世音菩薩立像 H1. 3. 28 大町3682番地4	檜材・寄木造。総高184. 3cm、像高107cm。弾誓寺6世木食山居による江戸時代中期の作。背面下部に「万鉢之内 木食山居作」の墨書銘がある。木食山居の数多い仏像の中でも、最も円熟した時期における大型で入念な作品である。	
盛蓮寺木造如意輪観音坐像 H3. 5. 31 社2937番地1	檜材・寄木造。像高77. 6cm。後補の著しい像であるが、左膝の後部は造像当初のもので、鎌倉時代後期の像容がみられる。享保3年(1718)に修理したことを伝える朱漆銘が光背裏にある。一般的な如意輪観音の印相と左右逆になっている。	

木舟薬師堂木造薬師如来立像 H3. 5. 31 社4886番地2	檜材・寄木造。総高122. 8cm、像高113cm。後補の著しい像であるが、体部と両肩から先の主要部分は造像当初のもので、鎌倉時代後期の写実的な像容が見られる。寛文6年(1666)に修理したことを伝える木札が残っている。
弾誓寺観音堂木造伝弾誓上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高75cm。像容は、衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して合掌する姿である。およそ江戸時代17世紀中頃の作。地方色でありながら彫技の冴えのみられる完成度の高い作品である。本像は江戸時代前期の常念仏盛行の時代を看取れる貴重な文化財である。
弾誓寺観音堂木造伝長音上人坐像 H4. 5. 19 大町4188番地	檜材・寄木造・玉眼嵌入・糊粉下地に彩色を施す。像高78cm。像容は、衲衣の上に袈裟をまとい、跏趺して両手で数珠を持つかと見られる姿である。胎内の胸部および背部の2か所に墨書銘が記されている。江戸時代中期の元禄13年(1700)制作。弾誓寺4世願誓岳空寂阿野造像。本格的な彫技を用いた貴重な作品である。
盛蓮寺木造虚空蔵菩薩坐像 H6. 4. 28 社2937番地	桂材・寄木造。像高24. 1cm。制作は室町時代前半と考えられる。台座・光背・持物・彩色等は江戸時代後期に補われたもの。虚空蔵菩薩像は、県下において室町時代前半に遡る類例が少なく、真言密教及び修験道の信州への伝播を示す貴重な仏像である。
天正寺木造薬師如来立像 H7. 4. 26 大町4729番地	檜材・寄木造。像高261cm。胎内に打ち付けられた木札の墨書銘から造仏を修行とする作仏聖「生誉蓮入比丘」により延宝5年(1677)5月に造立されたことがわかる。かなりの巨大像であり、しかも丁寧に仕上げられている点で文化的価値が高い。
大黒町追分の石造大黒天像・附版木 H8. 3. 25 大町1514番地1	嘉永5年(1852)に高遠の石工によって彫られた石像で、大黒町の名の由来ともなっている。現在のところ松本平では最大(全長約1. 7m)にして最古のもので、彫刻技術も優れている。造立の由来を記した趣意書の版木も残っている。
山寺廃寺跡出土遺物 H8. 3. 25 社3945番地2	写経石(法華経の一部が石に墨で書かれたもの)1、灰釉小皿1の2点。県宝指定されている「山寺廃寺跡出土品」と同じ、社閨田の山寺廃寺跡から出土したものであるが表面採集されたもので出土状況は明確でない。大町市民俗資料館保管。
若一王子神社木造伝十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24 大町2097番地	檜材・寄木造。推定像高180cm。11世紀の製作。台座・光背・瓔珞(ようらく)の残闕(ざんけつ)は江戸時代の後補。明治時代の初めに燃やされ軀部が大きく損傷を受けているが、若一王子神社の本地仏と考えられ、神社の歴史を語る資料として貴重である。
仁科神明宮銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25 社1159番地	円形、直径27. 4cm。鏡背には五大明王、奉納者名、紀年銘などが記されている。この鏡は江戸時代寛永13年(1636)の仁科神明宮式年造営の時に日岐盛貞によって奉納されたもので実用品ではない。
仁科神明宮木造棟札 H10. 3. 25 社1159番地	国の重要文化財に指定されている室町時代(1376)～江戸時代末期(1856)の27枚の棟札に続く明治時代～昭和時代の棟札6枚。仁科神明宮で20年に一度行われる式年造営の歴史を明らかにできる資料である。
仁科神明宮木造小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25 社1, 159番地	江戸時代初期の慶長19年(1614)に松本領主小笠原秀政が、領内の主要な社寺に対してその保護を目的として交付したものの一枚である。檜板に墨で禁制文が書かれた縦34cm、横61. 3cmの高札である。
山下神社木造小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26 社6097番地	小笠原秀政が領民掌握のために、社寺境内に交付した禁制札である。慶長19年(1614)5月15日の墨書銘が残る。高札上部には屋根形の棧があった痕跡が残るが、現在は、失われている。法量は最大高33. 8cm、最大幅59. 0cm。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22 大町2097番地	「天王様の神輿」として市民に親しまれた神輿は、戦後しばらくまで7月15日の八坂神社例祭時に巡行されたものである。江戸中期18世紀初頭の製作とされ、若一王子神社観音堂宮殿などを建立した大町の宮大工金原一門の手になったものと推定される。

飯嶋善士氏所有「信越連帯新道」関係史料及び飯嶋家文書一括附その他の史料 H15. 2. 26 大町4700番地 大町市文化財センターほか	江戸時代末期から明治初年にかけての野口村庄屋文書の中核とする。 この中で注目されるのが信州内陸部と北陸沿岸部を結んだ交流最短路である「信越連帯新道」開削の関係史料である。 指定数は、古文書類628点、その他看板等の史料84点を数える。
八日町毘沙門堂の木造毘沙門天立像 H16. 2. 19 大町1134番地9	仏像の総高168cm、仏高114cm、台座高40cmを測る。製作年代は頭部檜材が鎌倉時代、髣部が江戸時代初期、台座が江戸時代中期と補作が見られる。 かつては右手に戟を持ち、左手に宝塔を掲げていたが、現在は欠失している。
西澤正雄氏所有文書一括附、その他の史料 H16. 2. 19 大町4700番地 大町市文化財センター保管	西澤家文書には江戸時代初期の庄屋関係文書と江戸時代末期の大庄屋関係文書とが含まれている。指定された古文書類は、慶長16年(1611)年～明治25年(1892)におよぶ258点、その他の史料1点を含む。
栗林士郎氏所有文書一括 H17. 3. 25 大町4700番地 大町市文化財センター保管	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家柄である。今回指定された文書の内容は、庄屋という役目上から関与した法令・藩制村制・租税・土地・林野・戸口・農林業・醸造・水利・土建・治安・宗教・凶災・救恤・身分・絵図等々の農政に関する文書と大町の宿場に関わる交通・宿駅・運輸・通信・商業・都市等々の分野の古文書を包括して極めて多彩である。
高橋鴻生氏所有文書一括 H18. 3. 27 大町4700番地 大町市文化財センターほか	高橋家は大庄屋格を受け、江戸期を通じて松崎村庄屋、閨田村庄屋を兼務した家柄である。所蔵文書には、長年勤めた村方文書を主とする、租税関係、用水堰普請などのほか地域の特産である菰の栽培・出荷関係であるとか家業の酒造関係文書がある。 特出すべきものとしては、文政8年に当地で発生した赤蓑騒動の見聞を記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』は唯一の現存本として大変貴重なもの。
生婦平出土銅造瑞花双鳥八稜鏡 H18. 3. 27 八坂1108番地1 八坂支所	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。花卉を摸した八稜縁に、双鳥や花文が施される唐式鏡から和鏡への過渡期を示す。
大平地蔵堂の木造地藏菩薩立像 H18. 3. 27 八坂1298番地	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の作と考えられる像である。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27 八坂5693番地	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は、浅川豊八(大隈流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。神社祭神は健御名方命。麻田家に建立に関する由緒書が残っている。
野平神社本殿 H18. 3. 27 八坂14695番地	祭神は、天照大神(明神)、健御名命(諏訪) 菅田別命(八幡)の三神を祀り、江戸時代前期の元和5年(1619)8月10日の勧請と言われる。本殿は、三間社・流造り、柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大工は、大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27 八坂9641番地1	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、約200年にわたって5つの彫刻が刻まれたものである。年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3(1718)年。③庚申塔が江戸後期の文化4(1807)年。④徳本上人名合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3(1850)年となる。大日如来のお祭は、もとは、4月8日に行なわれていたが、現在は、5月8日に行なわれている。

北条峰の徳本上人追善供養塔 H18. 3. 27 八坂13609番地ロー1	砂岩製で残存する石碑高が108cm、最大幅が85cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人称阿弥陀陀佛徳本 文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。碑文によると製作年代は、江戸後期の文政元年(1818)。
曾山の善光寺千人参り名号塔 H18. 3. 27 八坂9179番地4	江戸時代後期の弘化2年(1845)の製作。材質は、砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。塔身正面は、花頭形輪郭を彫り窪め、上部には円輪郭の中に阿弥陀如来、観世音菩薩、勢至菩薩の三体、いわゆる阿弥陀三尊像を半肉彫りしている。その下に「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原、若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による。毎年5月3日には講中によるお祭が現在でも行なわれている。平成6年道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地籍に所在した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	一間社・流造。規模は、間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年(1815)9月12日の再建されたもので、立川豊八(安曇郡長長尾組岩原住)のよる建築。附属指定として、棟札3枚がある。
富士浅間神社楽殿 H18. 3. 27 美麻2708番地	江戸時代中期の建立。伝元禄11年(1698)大工は千見村真面、久兵衛による建築。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁、床板張り舞台は、幅11m、高さ2.8m舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27 美麻2708番地	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のもものが主体。大型のものも多く、保存も良好である。制作年代の最も古いものは安永6年(1777)から昭和14年(1939)のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27 美麻25878番地	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年(1841)9月の造営再建である。一間社・神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、曾根原謙蔵。神社の棟札には、慶長17(1612)年、寛文3(1663)年、宝永4(1707)年、天保12年(1841)年、嘉永2年(1849)年等が存在する。最も古い慶長17年(1617)の棟札と藩奉行六名の連署が見られる幕末の万延元年(1860)の禁制札の2点が附属指定されている。
千見神明宮絵額と句額 H18. 3. 27 美麻25878番地	千見神明宮拝殿に奉納される絵額(絵馬)のうち6面、句額のうち8面が今回指定された。絵額の制作年代は、天明7年(1787)～安政2年(1855)にわたる。また句額の制作年代は、文化5年(1808)～明治33年(1900)のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27 美麻9152番地	一間社・流造。彫刻が優れる。古い棟札として、江戸時代中期享保4年(1719)のものが残る。現在の社殿は、文政8年(1825)建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。庄屋小林家にはこの時の造営帳が残っており大変貴重である。
下條家関守門 H18. 3. 27 美麻26036番地	松本藩と松代藩とが境を接する旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏(1656～1735)の代に関守を置き下條家はその任をまかせ、当時50石をあたえられて鉄砲組を配し、警備にあたった。門正面は三間、奥行き二間の門に、切妻屋根。北側には三間の長屋が残存する。現在は、トタン屋根であるが、もとは茅葺き。
下條秀則氏所有文書一括 H18. 3. 27 美麻26036番地	元和年間(1615)より明治初期に及ぶ武家(藩の記録)、関守文書(46点、26%)を中心とする。藩政の一端を担った在地の史料として貴重。
中村武本氏所有文書一括 H18. 3. 27 美麻17668番地旧 中村家住宅土蔵	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政お呼び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。また、「中村家年代記」のように出来事や世の中の風聞など村ならではの史料が残される。

大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 27追加指定 美麻17668番地旧中村家住宅土蔵及び常盤3662番地4	もともとの大塩の高札場(大塩南村)は、現在県天然記念物になっている「静の桜」より、100mほど南側の街道沿いに存在したものであり、指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。①「キリシタン禁制」(正徳元年(1711)・91×33cm)。②「毒薬禁制」(正徳元年(1711)・124×49cm)。③「にせ銭金制」(天保10年(1839)・82×36cm)。④「親子・博奕・忠孝等の定め」(正徳元年(1711)・123×52cm)。①～③の3点は旧中村家土蔵に展示されている。④は若林正臣氏所有。
向生仏屋敷出土灰釉陶器広口瓶 H18. 3. 27 美麻青貝17668番地 旧中村家住宅土蔵	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高は19. 7cm、口径10. 2cm底径8. 5cm。口縁部の一部が欠損するのみでほぼ完形である。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は大原1号窯式(10世紀前半)。
横川重忠氏所有木造阿弥陀仏如来立像 H18. 3. 27 常盤須沼4308-3番地	総高48. 5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。
千見細貝薬師堂の木造薬師如来立像 H18. 3. 27 常盤須沼4308-3番地 横川重忠氏保管	薬師如来像は木食山居作と推定され、総高45cm、像高36. 5cm、台座12. 5cm。附属指定の聖観音立像も木像も木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。聖観音立像の総高53cm、像高43cm、台座10cm。
中村孝三述『学びの糸口』 H19. 3. 27 大町4733-3大町西小学校	この手記は、明治維新の学制発布当時の大町の人々の動きを記録し、単なる制度の解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ちも察せられる重要な文献史料である。
[大町市民俗資料]	
宮本・松崎紙紙すき用具コレクション S50. 4. 15 大字社3, 945番地2	社地区は江戸時代から紙漉きが盛んで、宮本紙・松崎紙と呼ばれ珍重されてきた。この資料は当地で行われてきた紙漉き用具を集めたもので紙漉きの全容を知る上で貴重な資料である。大町市民俗資料館保管。
仏崎観音寺の千有一馬集絵馬 H9. 3. 24 大字常盤6, 966番地	安政2年(1855)に絵師村上完民、中藤月漢によって描かれた縦210cm、横475cmの北安曇郡内最大の絵馬。画面下部に寄進者名などが村ごとに二段余にわたって列記されており、当時の庶民信仰の在り方などを示す貴重な資料である。
医王谷飯綱神社筒粥占い神事 H9. 3. 24 八坂25794番地	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行なわれていたものである。伝承によれば江戸時代初期の元和7年(1621)に飯綱神社がその地に勧請されたときから、神事は始められたと言われている。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行なう年頭の神事。郡内では唯一の神事。
水上神社の御輿巡幸 H18. 3. 27 美麻9152番地	担い棒つき鳥居形、神殿等で構成されていたが、現在は、神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裃に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。神輿は、江戸時代末期の作と推定される。
[大町市史跡]	
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6 大町4, 729番地4ほか	鎌倉時代後期から室町時代末までの仁科氏の居館跡である。平城で規模は、東西180m・南北120m、外堀と内堀の二重の堀や土居を回らせた居館である。仁科氏の滅亡後にその菩提を弔って、ここに天正院を造ったといわれている。
新郷1号古墳及び副葬品一括 H8. 3. 25 大字平8, 040番地443	古墳時代後期の6世紀末に築造され、8世紀初めまで使用された松本平では数少ない積石塚である。横穴式石室で埋葬状態もよく残っており、副葬品も豊富に残されていた。昭和58年に発掘調査。副葬品(出土品)は大町市文化財センターで保管。

権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27 美麻 新行 権現山南東	権現山の山麓に堂屋敷と言伝えられてきた礎石が残る屋敷跡。永禄年間(1558～1569)、戸隠大権現が上杉の兵火の難を逃れる為、この地に奉遷を計画したとの伝承がある。しかし文禄3年(1594)の鎮静により夫筏別院から当地への奉遷はなかった。附属指定として、戴神社奥社に隣接するウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラムツ(1本)の計5本
千見山城跡 H18. 3. 27 美麻 千見 城山25450ーロー3 ほか	伝承では、城主は上杉方大日方源吾長辰氏と言われる。また武田方の山県昌景により、弘治2年(1556)火攻めにされ落城したと伝えられる。曲輪や堀跡が残り、網戸、空堀、犬戻、厩、水の手、城裏、帳場、山城、一ノ木戸、二ノ木戸、西木戸、馬場、鍵掛などの地名が残る。本丸東西50m×南北20m、二の丸東西40m×南北30m、三の丸東西20m×南北15mを計る。なお、天保6年造立の城主供養塔がある。
大塩山城跡 H18. 3. 27 美麻 大塩中村城山855番地ほか	本丸跡(12×27m)、二の丸、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山城。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり、「木曾義貞、寿永3年(1184)義仲戦死後、仁科盛遠によって大野田に隠される。安貞元年(1227)森城に拠する阿部貞高を討つ為に大塩城を築く(信府統記)、後義重は仁科の姓を名乗る」とする伝承がある。
堀の内遺跡 H18. 3. 27 美麻 大塩中村城山938番地ほか	これまでに遺跡内では平成5年と平成12年における2回の発掘調査が実施されている。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡である。中世の遺構としては、居館が確認されている。大塩山城跡の根小屋と思われる。
[大町市天然記念物]	
オオヤマザクラ S46. 12. 10 大字平22. 419番地3ほか	日本でも北部の地方で自生するサクラで、群生地としては大町市が南限であり比較的分布密度の高い中綱湖・青木湖周辺の自生のサクラが指定されている。オオヤマザクラは淡紅色の華やかな色彩を持ち、病害虫にも強いサクラである。
霊松寺のオハツキイチョウ S63. 1. 14 大字大町6665番地イ	オハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意味で、ギンナンが葉の上に結実するもの。こうした葉はこの木の場合全体で10%程度である。オハツキイチョウは現在のイチョウの進化以前の姿といわれ、先祖返りのような珍しい現象で学術研究上貴重な木である。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23 大字常盤6720番地3	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。この存在によって、従来はなめらかな地形と考えられていた盆地の岩盤が、実はかなりの起伏に富んでいることがわかった。また糸魚川―静岡構造線の通過位置を知る貴重な手掛りでもある。
一本木神社のカシワ H3. 5. 31 大字常盤4733番地ー1	目通り周囲3.35m、樹高25.5m推定樹齢300年。二次林の構成種としては稀に見る大木で、推定樹齢の割には樹形の均整がとれ、腐朽部が少なく旺盛な活力を維持している。大径木としては残りにくいカシワの中で巨樹として現存するのは珍しい。
市立大町山岳博物館のトキ標本 H4. 5. 19大町8056番地1	トキは特別天然記念物であり国際保護鳥として保護されてきたが、日本産のトキは絶滅した。現在は中国からトキの贈呈をうけ、新潟県佐渡において人工繁殖に取り組んでいる。このような状況下にあるトキの標本は大変に貴重なものである。 市立大町山岳博物館のトキは大正8年(1919)11月、長野県大町高等学校のトキは大正6年(1917)11月にそれぞれ美麻村で捕獲されたものである。
長野県大町高等学校のトキ標本 H4. 5. 19 大町3691番地2	
仏崎観音寺のアカマツ H4. 5. 19 常盤5445番地2	樹形は広円錐形で樹高20m、目通り周囲4.2m。樹齢はおおよそ250年と推定される。2本の独立幹が肥大成長するにともなって融合した「和合木」である。こうした融合の姿や分岐した二幹がよく似ていることから、地元の人々は『夫婦松』と呼んで大切にしている。
海ノ口のアカマツ(カサマツ) H5. 6. 25 平13188番地4	樹形は単幹の傘形で、樹高18m目通り周囲4.17m。樹齢は300年以上と推定される。まっすぐに伸びた樹幹は地上9.5mの位置で大枝に3分岐して、それが広がり傘形となっている。この樹形から地元の人々は『カサマツ(笠松)』と呼んで大切にしている。

中シマのモリアオガエル繁殖地 H6. 4. 28 平23109番地1	モリアオガエルは樹上に泡状の卵塊を産む特異な生態をもつカエルで、産卵は梅雨期の雨の降る夜間に行われる。大町市のモリアオガエルの繁殖地は、5ヵ所しかなく特に中シマは比較的まとまった産卵が見られる貴重な繁殖地である。
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28 常盤4203番地	東西一対のカツラの木は薬師堂の門木として大切にされてきた。市内最大のカツラと思われるが、均整のとれた樹形をもち田園風景の中にひととき目立っている。東幹は樹高20.5m、目通り周囲3.5m。西幹は樹高25.5m、目通り周囲4.1m。
西山西原のイチイ H7. 4. 26 常盤8063番地5	イチイは別名アララギともいう。イチイがひととき目立つためこの木のあるりんご園は通称『アララギ園』と呼ばれている。樹高12.5m目通り周囲2.95m。雌雄異株で、この木は雌木である。イチイは大木として残るものは極めて少なく貴重である。
大黒町追分のシダレザクラ H7. 4. 26 大町1517番地1	大黒天の石像の脇に生育しており、『大黒様のシダレザクラ』と呼ばれ親しまれている。樹高8.5m、目通り周囲3.05m。推定樹齢は約150年で石像の製作年代と重なる。シダレザクラでは市内最大のもの。
三日町若宮八幡宮のヒノキ H9. 3. 24 大町8254番地	樹高29m、目通り周囲5.1m。三日町分水集落の氏神である若宮八幡宮の御神木で均整のとれた自然樹形を保っている。ヒノキは優良な建築用材であるために大径木として残るものは稀で貴重なものである。推定樹齢は400年以上。
西山城山のエドヒガン H9. 3. 24 常盤8099番地1	樹高29m、根回り周囲5.33mで東西二幹に分かれたエドヒガンザクラ。 西山城跡の急峻な北斜面に生息しており、谷側に向かって枝を張る自然樹形である。この樹を切ると山が崩れると言い伝えられ、これが大径木になった一因となっている。
高根町曾根田のエドヒガン H10. 3. 25 大町7174番地1	単幹で均整のとれた傘形の樹冠を呈する、樹高12m、目通り周囲4.65mのエドヒガンザクラ。推定樹齢は300年程で、戦前までこの地にあったお堂との関係が考えられる。地元には400年程前に遊行僧がこの樹を植えていったという伝承がある。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19 平18235～18240番地	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属する。小形の二枚貝で、殻長は3～5mmを測る。地域指定された姿見の池は、西海ノ口西方の山腹(標高約1100m付近)にあり、面積は1.5㎡の小さなものである。本主は今のところ市内ではここだけに確認されている貴重種である。
大倉のイチイ H18. 3. 27 美麻21770番地	昭和8年(1933)に旧長野県天然記念物指定。昭和44年県条例の全面改正により指定解除。坪庭に鉢植えしたのが、大木になったと伝えられ、伝承では、樹齢約1000年といわれている。目通り4.73m、根周り4.7m、高さ21.3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27 美麻9152番地	水上神社ご神木。目通り6m30、根周り7.67m、高さ53.1m。伝承では、樹齢750年余りと推定されている。 「水上神社の小檜と杉」の名称で、昭和22年旧長野県天然記念物に指定。檜は現在枯れて切り株のみが残る。
若栗のアオナシ H18. 3. 27 美麻34161番地口 若栗峠	目通り周囲4.31m、樹高16.8m。長野県では第2位にあたる。樹齢約500年と伝承されている。成長に伴う融合性の枝幹。均整のとれた美しい立木。基部には洞が見られるが、近年保全対策も取られ、樹勢も安定している。
〔大町市天然記念物〕	地域を定めず指定されているもの(種指定)。
大町市のヌマカイメン S62. 3. 2	大字平中綱湖と木崎湖下流の農具川に生息。かつては世界各地に広く分布していたが、開発や汚染などにより急速に姿を消しつつある淡水海綿の一種である。長野県下では大町市のみに生息し、希少かつ貴重な生物である。
大町市のカワシンジュガイ S62. 3. 2	北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水性二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。県指定地以外の農具川と居谷里沢及びその周辺支流(水路)に生息。

大町市のキザキミズシタダミ H13. 6. 27	キザキミズシタダミは日本産ミズシタダミ科の希少種の1種に数えられている。カワシンジュガイとともに氷河期の生き証人(遺存種)ともいえる貝である。国内では大町市平の木崎湖と中綱湖にしか生息していないと考えられる貴重な固有種である。
-----------------------------	---

指定文化財件数

国指定14件

国宝(建造物)1件、国重要文化財8件(建造物3件、美術工芸品5件)、国特別天然記念物(地域を定めず指定)2件、国天然記念物3件(このうち地域を定めず指定2件)、

県指定27件

県宝7件(建造物3件、美術工芸品4件、県史跡1件、県天然記念物16件(このうち地域を定めず指定11件)、県無形文化財1件、県無形民俗文化財2件

市指定80件

市有形文化財48件(建造物9件、美術工芸品39件、市史跡6件、市天然記念物22件(このうち地域を定めず指定3件)、市民俗資料4件(有形2件、無形2件)

10. 労働

一般職業紹介の状況

年 度	求 職			求 人			紹介件数	就職件数	就職率	採用率
	新規求職 申込者数	繰り越された 一般有効求職 者延数	有効求職 者延数	新規求 人延数	繰り越された 一般有効求 人延数	有効求人 延数			$\frac{\text{就職件数}}{\text{有効求職者延数}}$	$\frac{\text{就職件数}}{\text{紹介件数}}$
	人	人	人	人	人	人	件	件	%	%
平成15年度	4,998	12,142	17,140	4,461	5,824	10,285	5,176	1,844	10.8	35.6
16	4,485	11,324	15,809	5,143	8,116	13,259	4,590	1,701	10.8	37.1
17	4,329	10,771	15,100	5,585	9,592	15,177	5,003	1,574	10.4	31.5
18	3,665	9,685	13,350	5,092	8,494	13,586	3,973	1,189	8.9	29.9
19	3,789	9,305	13,094	5,210	8,178	13,388	4,184	1,447	11.1	34.6

資料：大町公共職業安定所

注) 1. 日雇の求職求人は含まない。

2. 大町公共職業安定所管内の数値。

雇用保険失業給付の支給状況

年 度	求職者給付		一般求職者給付		高年齢求職者給付金		特例一時金		日雇労働求職者給付金	
	人	金 額	人	金 額	人	金 額	人	金 額	人	金 額
	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
平成15年度	1,922	1,069,921	1,257	885,316	101	30,063	563	153,680	1	862
16	1,622	799,453	1,040	651,313	80	17,994	501	129,427	1	719
17	1,569	663,533	1,006	523,339	75	16,475	487	123,187	1	532
18	1,423	606,977	849	467,310	83	17,129	491	122,538	-	-
19	1,293	511,374	749	393,337	79	17,922	465	100,115	-	-

資料：大町公共職業安定所

注) 大町公共職業安定所管内の数値。

産業別平均賃金の実態

各年6月30日現在

年 次		集計労働者数	平均年齢	平均勤続年数	平均月間実労働日数	平均月間総実労働		平均月間賃金額	
						時間数	内所定内		内所定内
平成 18 年	男	609	44.6	14.9	22.3	178.9	168.1	315,504	297,776
	女	262	45.3	11.	21.9	171.5	164.1	210,794	202,045
	計	871	44.8	13.7	22.2	176.7	166.9	284,007	268,980
平成 19 年	男	663	44.5	12.1	22.9	188.8	172.7	315,977	292,139
	女	268	45.6	10.3	22.1	175.7	167.9	216,814	206,557
	計	931	44.8	11.6	22.7	185.0	171.3	287,432	267,503
平成 20 年	男	618	44.3	12.5	23.0	180.7	172.2	298,312	283,310
	女	205	44.9	9.3	22.2	176.1	169.2	211,883	202,684
	計	823	44.4	11.7	22.8	179.5	171.5	276,783	263,227
平成 20 年産業別	建設業	211	46.5	14.	22.6	172.0	169.6	296,542	291,408
	製造業	227	42.0	11.4	22.5	181.4	168.7	276,073	253,253
	小売業	88	45.5	15.4	23.7	192.2	184.4	297,883	283,908
	金融・保健業	8	44.0	18.4	20.4	161.9	158.4	377,250	371,000
	運輸業	66	44.5	10.6	25.0	187.6	172.6	292,335	270,212
	サービス業	126	45.4	8.6	22.7	181.4	175.1	240,742	232,299

資料：商工労政課

附属施設の利用状況

年 度	文化会館	コミュニ ティー センター (市民浴場)	扇 沢 総合案内 センター	児童センター	社会就労センター				
					年間就労者人員			年間支払工賃	
					総数	施設内	施設外	施設内	施設外
	件 人	人	人	人	人	人	人	千円	千円
平成19年度	88 40,854	60,746	13,780	20,865	355	355	—	12,983	—

年 度	勤労青少年ホーム	女性未来館ピュア	サン・アルプス大町	フレンドプラザ大町	交流促進 センター 明日香荘	ふれあい センター さざなみ
	件 人	件 人	件 人	件 人	人	人
平成19年度	630 5,684	973 15,237	624 23,651	127 3,935	50,950	53,944

年 度	温泉医療 センター 木喰荘	ぽかぽか ランド美麻	美麻福祉企業センター				
			年間就労者人員			年間支払工賃	
			総数	施設内	施設外	施設内	施設外
	人	人	人	人	人	千円	千円
平成19年度	1,508	115,250	275	275	—	20,133	—

資料：大町市体育協会・観光課・商工労政課・市民課・子育て支援課・福祉課・福祉事務所・教育委員会・八坂支所・美麻支所
 注）年間就労者数は、各月の実績数の合計である。

業種別・主な事故の型別労働災害発生状況

業種 主な事故の型	製造業	鉱 業	建設業	運輸貨物業	林 業	左記以外 の事業	合 計	構成比 (%)
墜 落 ・ 転 落	—	—	3	1	—	—	4	12.2
転 倒	2	—	1	—	—	7	10	30.3
激 突	—	—	—	—	—	1	1	3.0
飛 来 ・ 落 下	—	—	—	—	—	—	—	—
崩 壊 ・ 倒 壊	—	—	—	—	—	—	—	—
激 突 さ れ	—	—	2	—	—	1	3	9.1
はさまれ・巻き込まれ	4	—	1	—	—	—	5	15.2
切 れ ・ こ す れ	2	—	1	1	—	—	4	12.2
感 電	—	—	—	—	—	—	—	—
交 通 事 故	—	—	—	—	—	2	2	6.0
無 理 な 動 作	1	—	—	—	—	1	2	6.0
上 記 以 外	1	—	1	—	—	—	2	6.0
合 計	10	—	9	2	—	12	33	100.0
構 成 比 (%)	30.3	0.0	27.3	6.0	0.0	36.4	100.0	

資料：大町労働基準監督署（労働者死傷病報告）
 注）休業4日以上労働災害（ ）内は死亡の内数

11. 社会・福祉

保 育 施 設

平成20年1月1日現在

名 称	所在地	開設年月日	児童 入所定員	建 物			屋外運動場
				総面積	保育室	その他	
			人	m ²	m ²	m ²	m ²
か え で 保 育 園	大 町 2 2 9 7 - 1	S27. 7. 1	90	941.22	510.30	430.92	800.00
はなのき保育園	大 町 3 3 8 5 - 1	S29. 3.24	120	900.21	480.99	419.22	1,200.00
あすなろ保育園	常 盤 3 6 0 1 - 1 8	S36.10. 1	200	1,379.51	811.61	567.90	3,132.80
しらかば保育園	平 9 3 6 5 - 3	S40. 4. 1 (H15. 3改)	60	686.00	225.84	460.16	1,216.30
もみのき保育園	大 町 4 5 7 1 - 9	S44. 4. 1	60	701.82	390.42	311.40	931.70
こぶし保育園	大 町 5 5 6 4 - 1	S48. 4. 1	90	986.58	563.76	422.82	1,075.00
どんぐり保育園	社 4 6 8 2 - 2 6	S42. 4. 1 (H11.12改)	60	795.10	217.90	577.20	901.00
たけのこ保育園	八 坂 1 0 7 3	H5. 4. 1 (H18.1.1)	45	597.90	578.50	19.40	920.00
みあさ保育園	美 麻 1 1 7 8 0 - 8	S. 61.1	45	460.42	151.69	308.73	3,074.58

資料：子育て支援課

保育園の入園児童の推移

各年3月31日現在

年 度	かえで保育園		はなのき保育園		あすなろ保育園		しらかば保育園		もみのき保育園	
	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成 15 年度	1,044	273	1,523	250	2,711	364	810	132	776	10
16	928	178	1,386	222	2,818	319	710	169	616	—
17	967	184	1,493	233	2,428	337	670	125	558	45
18	951	255	1,293	226	2,428	309	721	140	593	34
19	835	136	1,242	231	2,292	271	848	150	566	45

年 度	こぶし保育園		どんぐり保育園		たけのこ保育園		みあさ保育園	
	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児	総数	うち 3歳未満児
	人	人	人	人	人	人	人	人
平成 15 年度	1,055	207	879	69	408	12	504	72
16	1,019	199	821	61	334	36	543	75
17	922	150	837	120	292	37	396	60
18	910	166	876	159	293	47	401	37
19	873	166	886	164	305	34	398	43

資料：子育て支援課 注）数値は1年間の延べ数。

市民課窓口事務の処理状況

年 度	戸籍届出 申請受理数	戸籍謄抄本 証明書 交付数	住民異動 届出申請 受理件数	住民票の 写し交付数	印鑑証明 交付数	妊娠届 母子手帳 交付数	その他の 証明申請 受理数
	件	件	件	件	件	件	件
平成15年度	1,721	11,651	4,802	17,710	15,455	251	3,981
16	1,722	11,988	5,047	16,722	14,261	234	3,946
17	2,113	15,388	5,209	16,511	13,953	232	3,659
18	1,774	14,290	4,764	16,021	12,758	222	3,436
19	1,770	13,651	4,582	15,113	12,339	233	3,346

資料：市民課

国民年金の保険料納付等及び受給者の推移

年 度	基礎年金受給権者数の推移			拠出制年金受給者数の推移					老齢福祉年金 受給権者数の 推 移
	老齢基礎	障害基礎	遺族基礎	老齢年金	障害年金	母子年金	寡婦年金	遺児年金	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
平成15年度	5,174	428	112	2,275	73	—	20	—	28
16	5,457	457	108	2,127	69	—	16	—	20
17	5,742	479	104	1,987	67	—	15	—	18
18	6,043	485	95	1,837	62	—	15	—	10
19	6,390	492	80	1,716	58	—	12	—	7

資料：長野社会保険事務局

国民健康保険被保険者数・決算状況

年 度	被 保 険 者		決 算 状 況			保 険 税	
	世帯数	人 数	歳入総額	歳出総額	決算剰余金	調定額	収入済額
	世帯	人	千円	千円	千円	千円	千円
平成15年度	5,974	11,340	2,233,389	2,159,802	73,587	833,441	792,931
16	6,095	11,561	2,351,930	2,227,439	124,491	815,606	780,194
17	6,660	12,527	2,696,530	2,613,380	83,150	848,639	811,062
18	6,685	12,458	2,795,392	2,717,572	77,820	854,698	813,983
19	6,681	12,113	3,078,224	2,954,555	123,669	836,352	794,442

資料: 国民健康保険事業年報

- 注) 1. 被保険者世帯数及び人数は年度平均。
 2. 保険税は退職を含む現年度分(平成12年度からは介護分を含む)。

国民健康保険給付状況

年 度	療養の給付		療 養 費		出産育児一時金 (助産費)	葬祭費	高額療養費
	件数	支出額	件数	支出額			
	件	千円	件	千円	千円	千円	千円
平成15年度	90,815	1,250,474	2,191	13,461	11,400	5,850	141,274
16	96,993	1,391,050	2,136	13,410	12,900	7,220	161,440
17	104,097	1,497,633	2,367	14,900	11,100	7,940	161,346
18	109,649	1,618,068	2,535	17,618	10,250	7,860	172,786
19	113,504	1,769,673	2,416	16,157	11,900	6,960	179,580

資料: 国民健康保険事業年報

- 注) 1. 療養の給付及び療養費、高額療養費は退職を含み、件数及び支出額は、第三者・返納金等を控除した数値。
 2. 平成14年度の療養の給付は11ヶ月給付。

老人・乳幼児医療費支給状況

年 度	老人福祉医療費		老人保健法による医療費		乳幼児・母子家庭・父子家庭 ・心身障害者(4級まで) ・精神障害者にかかる医療費	
	件数	支出額	件数	支出額	件数	支出額
	件	千円	件	千円	件	千円
平成15年度	4,441	10,269	147,423	3,222,864	50,432	152,875
16	4,057	9,001	144,531	3,258,289	53,833	151,877
17	3,474	8,256	146,848	3,376,771	54,992	150,479
18	2,371	5,891	140,671	3,408,033	56,381	158,005
19	1,302	3,399	135,614	3,304,128	56,487	168,417

資料: 市民課

老人福祉の状況

年 度	老人クラブ			要介護老人		生活支援ホームヘルプサービス		施設への入所		
	クラブ数	会員数	補助金交付額	ひとり暮らし老人数	老人世帯数	対象者数	サービス時間	計	養護老人ホーム	他市町村養護老人ホーム
平成15年度	50	3,074	4,811,042	790	1,003	92	3,985	34	26	8
16	43	2,705	4,448,760	760	991	90	3,746	33	25	8
17	31	2,158	3,184,620	764	926	72	2,905	31	24	7
18	44	2,572	3,705,480	803	928	45	2,667	30	25	5
19	44	2,475	3,627,550	851	930	22	1,132	30	25	5

資料：福祉事務所

福祉施設の利用状況

年 度	総合福祉センター			ふれあいプラザ
	入 浴	セ ン タ ー		
		件	人	人
平成17年度	33,914	1,915	19,080	3,987
18	33,112	2,046	20,446	3,790
19	30,870	2,204	22,018	3,933

資料：福祉事務所

障害別身体障害者数の推移

年 度	総 数	視 覚	聴 覚 平 衡	音 声 言 語	上 肢 切 断	上 肢 機 能	下 肢 切 断	下 肢 機 能	体 幹	内部（心臓・腎臓・呼吸器・免疫）	ろうあ	ぼうこう直腸機能	そしゃく機能
平成15年度	1,332	113	123	17	43	193	14	294	210	272	8	45	—
16	1,381	115	131	17	42	202	13	308	209	291	7	45	1
17	1,415	110	134	17	41	206	10	318	205	310	8	56	—
18	1,441	109	134	19	38	196	9	350	207	313	8	58	—
19	1,485	109	139	20	35	200	8	381	209	318	7	59	—

資料：福祉事務所

知的障害者数の推移

年 度	総 数	施 設 入 所 者			在 宅 者		
		総 数	18歳以上	18歳未満	総 数	18歳以上	18歳未満
	人	人	人	人	人	人	人
平成15年度	184	54	52	2	130	97	33
16	192	54	53	1	138	108	30
17	204	43	42	1	161	122	39
18	211	49	49	—	162	122	40
19	214	58	56	2	156	117	39

資料：福祉事務所

生活保護状況の推移

年 度	保護実績（1ヶ月平均）		保 護 延 人 員						
	世 帯	人 員	総 数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の扶 助
	世帯	人	人	人	人	人	人	人	人
平成15年度	108	148	4,473	1,489	1,096	69	284	1,529	8
16	108	145	4,398	1,423	1,056	82	275	1,559	11
17	99	133	4,237	1,327	1,009	121	229	1,515	36
18	103	127	3,910	1,255	930	43	215	1,441	26
19	107	125	3,864	1,274	950	38	239	1,350	12

資料：福祉事務所

- 注）1. その他の扶助には生業、出産、葬祭、一時の各扶助を含む。
 2. 保護人員の総数は各項に重複したものは除いてある。
 3. 旧八坂村及び旧美麻村の保護費は、北安曇福祉事務所から支給。

生活保護費の推移

年 度	保 護 費								
	総 額		生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の扶助	施設事務費
	実 数	対前年比							
	千円	%	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
平成15年度	254,456	121.7	71,622	12,622	494	3,935	120,680	987	44,116
16	254,025	99.8	67,499	11,885	562	3,204	123,301	650	46,924
17	246,098	96.9	65,682	12,548	936	2,404	116,484	1,224	46,820
18	253,412	103.0	64,330	11,448	481	2,093	112,456	454	62,150
19	250,232	98.7	65,803	12,853	382	2,248	100,676	335	67,935

資料：福祉事務所 注）旧八坂村、旧美麻村の保護費は、北安曇福祉事務所から支給のため数値不明。

共同募金の状況

年 度	目標額	募 金 実 績 額					目標達成率
		総 額	戸 別	法人個人大口	学校職域	その他	
	円	円	円	円	円	円	%
平成 8 年度	11,550,000	12,728,780	8,445,432	3,986,298	266,776	80,274	110.2
9	11,759,000	12,618,840	8,415,950	3,787,815	334,100	80,975	107.3
10	11,555,000	12,214,020	8,345,300	3,537,345	291,262	40,113	105.7
11	11,622,000	11,838,560	9,394,360	2,285,000	141,556	17,644	101.9
12	11,308,000	11,713,769	9,302,561	2,026,000	286,565	98,643	103.6
13	11,014,000	11,507,483	7,731,450	3,346,000	200,651	229,382	104.5
14	11,010,000	11,184,358	7,716,700	3,115,500	279,431	72,727	101.6
15	11,240,000	10,914,591	9,329,400	1,237,592	302,333	45,266	97.1
16	10,958,000	10,467,408	7,447,580	2,650,000	317,311	52,517	95.5
17	10,460,000	10,333,109	8,925,168	1,025,000	312,336	70,605	98.7
18	11,795,000	11,181,154	8,105,038	2,524,510	493,706	57,900	94.7
19	10,957,000	10,868,447	7,912,089	2,458,914	424,014	73,430	99.2

資料：共同募金会 注）平成7年度より、一般共同募金と歳末たすけあい共同募金を一本化で実施。

12. 保健衛生

医療施設数・医療従事者数の推移

医療施設 各年4月1日現在
医療従事者 隔年12月31日現在

年	医 療 施 設					医 療 従 事 者						
	病 院		診療所		歯 科 診 療 所	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師
	病院数	病床数	診療所数	病床数								
平成16年	1	284	27	32	13	49	17	51	27	10	211	53
17	1	284	26	32	13	...	...	...	...	...	...	...
18	1	284	27	26	13	49	16	36	26	12	206	57
19	1	284	27	26	13	...	...	...	...	...	...	...
20	1	284	28	26	13	...	...	...	22	13	204	50

資料：大町保健所

主な死因別死亡者数の推移

年 次		平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年
死 因		人	人	人	人	人	人
結 核		2	—	—	1	—	—
悪 性 新 生 物		81	94	104	99	98	107
糖 尿 病		1	4	2	9	4	3
高 血 圧 性 疾 患		—	2	4	—	3	2
心 血 管 疾 患		56	54	38	67	52	68
脳 血 管 疾 患		55	54	66	61	29	48
肺 炎		14	14	24	18	23	30
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患		5	3	3	6	3	5
胃 潰 瘍 及 び 十 二 指 腸 潰 瘍		—	—	—	—	—	—
肝 疾 患		6	3	6	3	4	5
腎 不 全		7	4	6	8	3	5
老 衰		6	16	20	24	21	9
不 慮 の 事 故		18	16	16	9	12	14
自 殺		18	9	7	10	3	7

資料：大町保健所

市立大町総合病院の利用状況（延数）

年 度	総 数	内 科	小児科	外 科	整 形 外 科	脳外科	皮膚科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽喉科	麻酔科	形 成 外 科	診療所
平成15年度	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人	千人
16	225	92	14	28	25	13	13	14	12	11	2	0	0	1
17	224	92	15	26	27	12	12	15	11	11	1	0	1	1
18	212	89	13	23	31	11	10	15	11	7	1	0	1	閉所
19	211	97	13	22	30	2	9	16	13	7	1	0	1	閉所
20	197	89	12	21	27	2	9	15	14	7	1	0	0	閉所

資料：市立大町総合病院

予防接種・検診等の状況

種 別		平成17年度			平成18年度			平成19年度		
		対 象 人 員	実 施 人 員	実施率 %	対 象 人 員	実 施 人 員	実施率 %	対 象 人 員	実 施 人 員	実施率 %
予 防 接 種	百日咳・破傷風・ジフテリア混合	1,090	1,028	94.3	1,018	845	83.0	953	842	88.4
	破 傷 風 ・ ジ フ テ リ ア 混 合	333	392	117.8	317	307	96.8	335	292	87.2
	急 性 灰 白 随 炎	625	554	88.6	572	419	73.3	490	436	89.0
	日 本 脳 炎	1,406	637	45.3	－	2	－	－	－	－
	風 し ん	502	512	102.0	－	14	－	－	1	－
	麻 し ん	294	312	106.1	－	3	－	－	－	－
	麻しん・風しん混合（MR1期）	－	－	－	233	210	90.1	212	205	96.7
	麻しん・風しん混合（MR2期）	－	－	－	284	234	82.4	271	253	93.4
検 診 等	B C G	223	275	123.5	223	217	97.3	221	211	95.5
	乳 が ん 検 診	6,686	1,071	16.0	12,375	875	7.1	12,435	821	6.6
	基 本 健 康 診 査	7,291	2,441	33.5	27,000	2,708	10.0	27,003	2,696	10.0
	胃 が ん 検 診	8,788	1,341	15.3	21,410	1,328	6.2	21,767	1,281	5.9
	子 宮 頸 が ん 検 診	7,072	561	7.9	13,803	609	4.4	13,788	576	4.2
	大 腸 が ん 検 診	7,896	1,657	21.0	21,410	1,848	8.6	21,767	1,799	8.3
	胸 部 レ ン ト ゲ ン 検 診	10,001	4,197	42.0	19,482	3,352	17.2	19,792	3,160	16.0

資料：市民課
 平成17年度から、日本脳炎の積極的な予防接種は控えている。
 平成18年度から、法の変更により麻しん・風しんの混合ワクチン接種に変更。
 平成18年度から、検診等の対象者数を対象となる年代の市民の数に変更。

ごみ処理の状況

年 度	収集対象 世帯数	年間収集量				1日平均			焼却量
		可燃ごみ	不燃ごみ	総量	作 業 延人数	作業員	収集車両 延数	収集量	
	世帯	t	t	t	人	人	台	t	t
平成15年度	10,511	6,800	186	6,986	8,444	34	17	28.3	10,134
16	10,549	6,553	175	6,728	8,248	34	17	27.6	9,887
17	10,971	5,788	157	5,945	7,418	30	15	23.4	8,644
18	11,768	6,002	176	6,178	7,998	32	16	24.5	8,486
19	11,787	5,760	143	5,903	8,872	36	18	23.3	7,919

資料：生活環境課
 （記載内容についての説明）

- 収集対象
 - 世帯数（4月1日付け広報掲載世帯数）
- 年間収集量（計量データ、各課ファイルより）
- 作業延人数（年間収集車稼働台数×1台あたりの作業人数2人）
- 1日平均作業員（1日平均収集車両延べ数×1台あたりの作業人数2人）
- 1日平均収集車両延べ数（年間収集車稼働台数÷年間収集日数）
- 1日平均収集量（年間収集総量÷年間収集日数）
- 焼却量（焼却月報、各課ファイルより）

し尿処理の状況

年 度	施設処理	
	収 集 量	処 理 量
	t	t
平成15年度	17,399	17,399
16	16,313	16,418
17	15,000	16,379
18	15,603	16,331
19	14,285	15,608

資料：生活環境課 注) 合併前は、旧大町市の数値である。

狂犬病予防法による犬の登録及び注射状況

年 度	登 録	注 射
	頭	頭
平成15年度	2,386	2,286
16	2,312	2,257
17	2,254	2,215
18	2,204	2,165
19	2,175	2,165

資料：生活環境課

公害苦情処理件数

年 度	総 数	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒 音	悪 臭	振 動	地盤沈下	産業廃棄物	一般廃棄物	日照権	通風権	電波障害	その他
平成15年度	件 15	件 1	件 2	件 —	件 2	件 8	件 —	件 —	件 —	件 2	件 —	件 —	件 —	件 —
16	17	4	1	—	4	5	—	—	—	1	—	—	1	1
17	19	1	5	—	9	3	—	—	—	—	—	—	1	—
18	20	4	7	—	5	3	—	—	—	—	—	—	—	1
19	21	2	2	—	3	5	—	—	—	2	—	—	—	7

資料：生活環境課 注) 平成17年度までは、旧大町市の数値である。

北アルプス広域葬祭場の利用状況

区 分		死 者		死 胎	動 物
		12歳以上	12歳未満		
平成14年度	総 数	456	0	7	179
	市 内	301	0	3	101
	圏 内	139	0	4	78
	圏 外	16	0	0	0
平成15年度	総 数	447	2	7	182
	市 内	272	1	1	103
	圏 内	148	1	4	78
	圏 外	27	0	3	1
平成16年度	総 数	512	3	12	209
	市 内	327	1	9	120
	圏 内	162	1	2	87
	圏 外	23	1	1	2
平成17年度	総 数	485	0	5	253
	市 内	339	0	3	148
	圏 内	122	0	2	105
	圏 外	24	0	0	0
平成18年度	総 数	502	1	3	203
	市 内	350	0	3	102
	圏 内	135	0	0	100
	圏 外	17	1	0	1
平成19年度	総 数	495	1	7	275
	市 内	330	1	3	158
	圏 内	141	0	3	117
	圏 外	24	0	1	0

資料：北アルプス広域連合

注) 平成16年度以前は、旧大町市の数値である。

13. 建設

主要道路

道路番号	種 別	路 線 名	市域内区間（起点～終点）
19	一般国道	1 9 号	大 町 市 八 坂 瀬 口 ～ 大 町 市 八 坂 枳 沢
147	〃	1 4 7 号	大 町 市 大 黒 町 ～ 松 川 村 境
148	〃	1 4 8 号	〃 ～ 白 馬 村 境
031	主要地方道	長 野 大 町 線	小 川 村 境 ～ 大 町 市 大 黒 町
033	〃	白 馬 美 麻 線	白 馬 村 境 ～ 大 町 市 美 麻 青 具
045	〃	扇 沢 大 町 線	扇 沢 ～ 大 町 市 俵 町
051	〃	大 町 明 科 線	大 町 市 旭 町 ～ 池 田 町 境
055	〃	大町麻績インター千曲線	大 町 市 旭 町 ～ 生 坂 村 境
306	一般県道	有 明 大 町 線	松 川 村 境 ～ 大 町 市 下 仲 町
324	〃	青 具 築 場 停 車 場 線	大 町 市 美 麻 青 具 ～ 築 場 駅
325	〃	白 馬 岳 大 町 線	大 町 市 大 谷 原 ～ 大 町 市 木 崎
326	〃	槍 ケ 岳 線	大 町 市 七 倉 ～ 大 町 市 大 黒 町
334	〃	大 平 大 峰 沓 掛 線	大 町 市 宮 本 ～ 大 町 市 沓 掛
393	〃	小島信濃木崎（停）線	信 州 新 町 境 ～ 信 濃 木 崎 駅
394	〃	川 口 大 町 線	信 州 新 町 境 ～ 大 町 市 三 日 町
469	〃	舟 場 矢 下 線	大 町 市 八 坂 舟 場 ～ 大 町 市 八 坂 矢 下
474	〃	信 濃 大 町 停 車 場 線	大 町 市 仁 科 町 ～ 大 町 市 大 黒 町
496	〃	あづみの公園大町線	大 町 市 須 沼 ～ 大 町 市 西 原
497	〃	美 麻 八 坂 線	大 町 市 美 麻 矢 久 ～ 大 町 市 八 坂 梨 平

資料：長野国道事務所信州新町出張所・大町建設事務所

注）1. 国道重用分を除いた数値。

2. 区間（起点～終点）は合併に伴う表示変更後の表記とする。

橋 梁 数

平成20年4月1日現在

種 別	橋 梁		内永久橋		内 木 橋	
	数	延 長	数	延 長	数	延 長
一般国道	18	887.6 ^m	18	887.6 ^m	—	— ^m
主要地方道	59	1,335.5	59	1,335.5	—	—
一般県道	80	2,533.2	80	2,533.2	—	—
合 計	157	4,756.3	157	4,756.3	—	—

資料：長野国道事務所信州新町出張所・大町建設事務所

平成20年4月1日現在

市 域 内 延 長	左 の 内 訳		
	改 良 済	未 改 良	
5,048.0 m	5,048.0 m	— m	
9,729.2	9,729.2	—	
14,705.2	14,705.2	—	
15,955.0	15,955.0	—	
3,775.9	3,775.9	—	
15,110.6	15,110.6	—	
6,350.3	6,350.3	—	
11,493.0	10,696.5	796.5	
14,454.0	14,345.7	108.3	
5,253.2	1,408.9	3,844.3	
12,084.2	11,043.8	1,040.4	
15,763.5	15,763.5	—	
1,592.1	1,592.1	—	
14,864.4	9,571.1	5,293.3	
8,333.4	7,918.6	414.8	
9,271.0	7,580.1	1,690.9	
1,448.8	1,448.8	—	
995.1	995.1	—	
15,468.8	11,736.1	3,732.7	

主 要 河 川

平成13年10月1日現在

河 川 名	延 長		流域面積	
	総 延 長	市域内延長	本川流域面積	市域内面積
	m	m	km ²	km ²
高 瀬 川	47,410.0	34,910.0	175.4	141.4
鹿 島 川	18,700.0	18,700.0	49.1	49.1
箆 川	11,200.0	11,200.0	39.6	39.6
乳 川	18,530.0	10,130.0	80.7	59.1
農 具 川	17,200.0	17,200.0	59.7	58.5
犀 川	62,000.0	11,400.0	413.1	10.1
金 熊 川	18,700.0	13,600.0	51.3	23.7
土 尻 川	28,400.0	7,200.0	61.1	19.1
藤 沢 川	2,900.0	2,900.0	5.6	5.6
片 岡 沢 川	3,000.0	3,000.0	7.6	7.6

資料：大町建設事務所

幅員別の道路状況

平成20年4月1日現在

道 路 別	実 延 長	幅 員 別 内 訳 (車 道)			左 の 内 自 動 車 交 通 不 能 区 間	路 面 別 内 訳	
		改良済		未改良		未舗装	舗装済
		5.5m以上	5.5m未満				
国 道	m 29,482.4	m 29,482.4	m —	m —	m —	m —	m 29,482.4
県 道	152,213.3	107,959.6	27,332.5	16,921.2	1,392.9	—	152,213.3
主 要 地 方 道	52,684.8	50,932.3	956.0	796.5	—	—	52,684.8
一 般 県 道	99,528.5	57,027.3	26,376.5	16,124.7	1,392.9	—	99,528.5
市 道	817,244.2	92,274.8	224,294.4	500,675.0	188,543.0	266,010.2	551,234.0
1 級 市 道	119,412.8	45,632.2	44,533.4	29,247.2	5,839.2	8,443.3	110,969.5
2 級 市 道	113,000.1	10,943.9	42,367.7	59,688.5	10,782.8	16,415.8	96,584.3
そ の 他 の 道 市	584,831.3	35,698.7	137,393.3	411,739.3	171,921.0	241,151.1	343,680.2

資料：長野国道事務所信州新町出張所、大町建設事務所、建設課

都市計画区域

指定年月日	面 積	人 口（平成17年10月1日現在）
平成6年8月29日	ha 8,490	人 29,767

資料：都市計画・国営公園対策課

地域地区

地域地区	内 訳			摘 要
	名 称	面積（延長）	指定年月日	
準防火地区		135.0 ha	S34. 10. 1	
風致地区	木崎湖風致地区（第1・2種）	598.0 ha	S40. 3. 19	1種528ha、2種70ha
	青木湖風致地区（第1種）	455.0 ha		
	日向山風致地区（第1種）	103.0 ha		

資料：都市計画・国営公園対策課

都市計画用途地域

(当初決定年月日 昭和48年10月15日 最新決定年月日 平成13年3月1日)

	第一種低層住居専用地域			第二種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	
面積 ha	約66	約63	小計 約129	約5	約172	約33	約173	約89	約35	約3.5	約19	約84	約19	約76	合計 約838
容積率 (%)	60	80	—	80	200	200	200	200	200	200	400	200	200	200	
建ぺい率 (%)	40	50	—	50	60	60	60	60	60	80	80	60	60	60	
道路斜線	1.25	1.25	—	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
隣地斜線	1.25	1.25	—	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
建築物の 高さ m	10	10	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

資料：都市計画・国営公園対策課

都市計画区域内の用途地域の指定のない区域

(決定年月日 H16.3.4 施行日 H16.5.1)

	平坦部	山間部	大町温泉郷地区
面積ha	約2,055	約4,420	約20
容積率%	200	100	300
建ぺい率%	60	60	70
道路斜線	1.25	1.25	1.5
隣地斜線	1.25	1.25	2.5

建築確認申請の状況

年次	総数	新築	増築	改築	移転	増改築	修繕	用途変更	工作物
平成16年	233	163	60	1	—	—	—	1	8
17	248	182	49	3	—	—	—	1	13
18	219	158	50	—	—	1	—	2	8
19	245	147	50	4	—	—	—	3	11
20	166	118	36	3	—	—	—	2	7

資料：都市計画・国営公園対策課 注) 1. 合併以前は、旧大町市の数値である。
2. 民間確認検査機関で確認を行ったものを含む。
3. 計画変更及び除却届は含まない。

都 市 施 設

都市施設		内 訳			
		名称	面積・延長	最新決定年月日	当初決定年月日
都市公園		3・3・1 西公園（近隣公園）	3.0 ha	昭和 48年 3月 5日	昭和 43年 9月 16日
		3・3・2 大町文化公園（近隣公園）	3.1	平成 1. 3. 20	62. 2. 26
		4・4・1 大町公園（地区公園）	4.6	13. 2. 9	59. 7. 2
		6・5・1 大町運動公園（運動公園）	18.9	11. 6. 28	48. 3. 5
		1号 高瀬溪谷緑地（都市緑地）	3.4	昭和 59. 7. 2	59. 7. 2
		2号 大町駅前広場公園（都市緑地）	0.1	63. 12. 6	63. 12. 6
		9・6・1 アルプスあづみの公園（国営公園）	233.6	平成 19. 11. 8	平成 2. 11. 19
		3・3・3 やしろ公園（近隣公園）	1.8	3. 10. 3	3. 10. 3
下水道	公共	大町市公共下水道（大町処理区）	803 ha	平成 18. 3. 27	平成 2. 12. 17
	下水道	特定環境保全公共下水道（常盤処理区）	422	18. 3. 27	6. 12. 15
	都市	1号町川都市下水路	1,190 m	昭和 31. 1. 14	昭和 31. 1. 14
	下水路	2号町川都市下水路	610	31. 1. 14	31. 1. 14
		荒沢町川都市下水路	300	35. 3. 17	35. 3. 17
		西区町川都市下水路	1,470	38. 10. 18	38. 10. 18
都市計画街路		3・3・1 白塩北原線	1,080 m	平成 13. 3. 1	昭和 38. 10. 18
		3・3・2 館の内借馬線	4,440	13. 3. 1	26. 6. 30
		3・4・3 俵町線	420	13. 3. 1	38. 10. 18
		3・4・4 中央通り線	3,030	13. 3. 1	26. 6. 30
		3・4・5 若宮駅前線	910	19. 10. 9	26. 6. 30
		3・4・6 貝原山崎線	7,470	13. 3. 1	38. 10. 18
		3・5・7 曾山観音橋線	3,170	13. 3. 1	26. 6. 30
		3・5・8 三日町犬ノ窪線	4,540	13. 3. 1	26. 6. 30
		3・5・9 相生町野口線	3,900	13. 3. 1	26. 6. 30
		3・5・10 東町線	2,140	13. 3. 1	26. 6. 30
		3・5・11 常光寺糸芝線	640	13. 3. 1	33. 12. 23
		3・4・12 あづみの公園大町線	2,050	13. 3. 1	平成 7. 7. 3
		駅前交通広場	3,500 m ²	13. 3. 1	昭和 26. 6. 30
駐車場		木崎湖駐車場	0.28 ha	昭和 55. 3. 1	昭和 55. 3. 1
処理施設		大町市環境プラント（ごみ焼却場）・大町市クリーンプラント（汚物処理場）	1.73	平成 7. 1. 26	平成 7. 1. 26

資料：都市計画・国営公園対策課、下水道課、生活環境課

14. 水道・電気・ガス

大町市水道事業普及状況

年 度	行 政 区 域 内		現在給水区域内		普 及 率	
	世 帯	人 口	世 帯	人 口	世 帯	人 口
	戸	人	戸	人	%	%
平成15年度	10,996	30,903	10,660	29,894	96.9	96.7
16	10,971	30,456	10,632	29,463	96.9	96.7
17	10,941	30,067	10,621	29,132	97.1	96.9
18	11,737	31,859	10,642	28,878	90.7	90.6
19	11,871	31,176	10,852	28,839	91.4	92.5

資料：水道課

大町市公営簡易水道事業普及状況

年 度	行 政 区 域 内		現在給水区域内		普 及 率	
	世 帯	人 口	世 帯	人 口	世 帯	人 口
	戸	人	戸	人	%	%
平成15年度	828	2,403	795	2,323	96.0	96.2
16	817	2,347	785	2,288	96.1	97.0
17	827	2,281	794	2,218	96.0	97.2
18	815	2,216	785	2,140	96.3	96.6
19	794	2,132	763	2,052	96.1	96.2

資料：公営簡易水道課

大町市水道事業配水量の推移

年 度	年間配水 総量	1日最大配水量		1日 平均 配水量	1人1日 最大 配水量	1人1日 平均 配水量	有効水量		無効水量	有収水量 比率	有効水量 比率
		月日	水量				有収水量	無収水量			
	km ³		m ³	総m ³	総ℓ	総ℓ	km ³	km ³	km ³	%	%
平成15年度	4,386	8. 4	13,649	11,985	457	401	3,326	83	977	75.8	77.7
16	4,325	7.28	12,836	11,850	436	402	3,237	139	950	74.8	78.1
17	4,520	8. 2	14,110	12,383	484	425	3,248	119	1,152	71.9	74.5
18	4,336	8.16	14,622	11,880	506	411	3,160	4	1,172	72.9	73.0
19	4,153	8.14	14,575	11,347	505	394	3,124	2	1,027	75.2	75.3

資料：水道課

大町市公営簡易水道事業配水量の推移

年 度	年間配水 総量	1日 最大 配水量	1日 平均 配水量	1人1日 最大 配水量	1人1日 平均 配水量	有効 (有収) 水量	無効水量	有効水量 比率
	km ³		m ³	総ℓ	総ℓ	km ³	km ³	%
平成15年度	332	1471	897	638	389	253	79	76.2
16	308	1329	843	581	368	244	64	79.2
17	309	1156	846	521	382	247	62	79.8
18	306	1057	838	494	392	245	61	80.2
19	318	1082	869	527	423	253	65	79.5

資料：公営簡易水道課

用途別栓数と給水量

年 度	総 数		家事用		官公署 学校用		営業用		工業 病院用		湯屋用		共同栓		別荘用	
	栓 数	年間 給水量	栓 数	年間 給水量	栓 数	年間 給水量	栓 数	年間 給水量	栓 数	年間 給水量	栓 数	年間 給水量	栓 数	年間 給水量	栓 数	年間 給水量
平成15年度	12,439	3,326	10,732	2,351	1,059	591	622	301	5	81	—	—	17	1	4	1
16	12,645	3,237	10,910	2,334	1,067	552	640	296	5	53	—	—	17	1	6	1
17	12,791	3,248	10,937	2,320	1,156	554	671	288	5	84	—	—	18	1	4	1
18	12,864	3,160	11,212	2,284	1,011	534	612	281	4	59	—	—	21	1	4	1
19	12,892	3,124	10,967	2,261	1,142	523	748	291	4	47	—	—	27	1	4	1

資料：水道課

大田市水道事業水源施設状況

水 源 名	配 水 池	源水の種別	取水能力 m³/日
上 白 沢	第2	湧 水	3,970
矢 沢	源汲、犬の窪、猫塚、第1、第3、稲尾 常盤高区、常盤中区、常盤低区	〃	7,740
居 谷 里	三日町、松崎、曾根原、宮本	〃	5,170
白 沢	白沢高区、白沢低区	〃	1,000
崩 沢	海ノ口崩沢	〃	43
北 村	海ノ口北村	〃	39
南 平	海ノ口南平	〃	38

資料：水道課

大田市公営簡易水道事業水源施設状況

水 源 名	配 水 地	源水の種別	取水能力 m³/日
宮の尾第1	鷹狩、切久保、学校上第1、 学校上第2、明野、相川、 一の瀬、笹尾	湧 水	23
宮の尾第2		〃	100
土 林		〃	86
中 央		〃	112
藤尾沢		〃	39
藤尾沢	菖蒲、竹箆、菅の窪、二滝	〃	66
東部第1水源	布川第1、布川第2、舟場第1	〃	112
東部第2水源	舟場第2、栃沢、地志原	〃	43
曾 山	曾山	〃	28
大 塩	大塩	深井戸水	127
二 重	二重、二重高区	〃	56
湯の海	湯の海	〃	64
新行第1	新行	湧水	36
新行第2	〃	〃	39
新行第3	〃	〃	73
青具第1	青具	〃	48
青具第2	〃	〃	15
魚の京	花尾、三百地、中の崎	〃	136
産屋沢	石原、峠	〃	32

資料：公営簡易水道課

都市ガスの需要状況

年 度	製造量	供給戸数	使 用 量			
			総 量	家庭用	商業用	その他
	m ³	戸	m ³	m ³	m ³	m ³
平成 15 年度	453,220	1,591	443,569	252,954	131,518	59,097
16	455,199	1,615	441,194	252,424	128,049	60,721
17	451,265	1,618	439,472	253,288	127,736	58,448
18	448,258	1,626	437,661	257,549	125,887	54,225
19	422,982	1,641	414,662	249,517	114,385	50,760

資料：大町ガス(株)

電力需給状況

年 度	使 用 電 力 量		
	合 計	電 灯	電 力
	千kWh	千kWh	千kWh
平成15年度	371,788	74,824	296,964
16	386,176	75,074	311,102
17	419,799	77,666	342,133
18	395,611	75,407	320,204
19	450,880	78,810	372,070

資料：中部電力(株)大町営業所

15. 運輸・通信

信濃大町駅乗車人員の推移（1日平均）

（単位：人）

駅 名	平成14年	15	16	17	18	19
信濃大町駅	1,450	1,376	1,353	1,331	1,284	1,303

資料：ＪＲ東日本長野支社

加入電話・公衆電話の回線数

各年3月31日現在

年 度	加 入 電 話			公衆電話
	事 務 用	住 宅 用	合 計	
平成17年度	4,701	10,054	14,755	139
18	4,353	9,096	13,449	121
19	4,095	8,752	12,847	101

資料：ＮＴＴ東日本 長野支店 注）ISDN回線を含む。

自動車の保有台数

年 度		貨 物		乗 合	乗 用		小 計	被けん引
		普 通 車	小 型 車		普 通 車	小 型 車		
平成15年度	自家用	781	1,770	127	4,289	8,502	15,469	6
	営業用	117	12	58	4	71	262	3
16	自家用	768	1,670	123	4,395	8,196	15,152	4
	営業用	118	12	62	4	67	263	2
17	自家用	753	1,601	118	4,448	8,061	14,981	3
	営業用	121	12	66	4	66	269	2
18	自家用	746	1,545	116	4,479	7,896	14,782	2
	営業用	120	11	65	5	64	265	1
19	自家用	726	1,456	113	4,475	7,642	14,412	2
	営業用	125	7	64	5	56	257	1

資料：長野県自動車販売店協会、税務課

※は課税対象台数

有線放送の利用状況

年 度	電話設置台数	放送設備 設置台数	1 日平均 通話数	1 日平均 放送件数
	台	台	回	件
平成15年度	2,849	47	830	30.7
16	2,856	45	635	32.4
17	2,856	44	623	33.7
18	2,853	49	527	35.9
19	2,804	56	500	33.8

資料：大町市有線放送電話農業協同組合

各年3月31日現在(単位:両)

特 種 用途車	大 型 特殊車	小型二輪	※ 軽 自 動 車				※小 型	※原 付 自 転 車	
			四 輪		三 輪	二 輪	特 殊 車 (農耕用)	第 一 種	第 二 種
			乗 用	貨 物					
526	316	435	5,085	5,916	—	483	2,665	2,867	390
28	1	—	—	37	—	—	—	—	—
503	314	433	5,342	5,801	—	472	2,620	2,737	380
28	1	—	—	36	—	—	—	—	—
505	313	425	5,591	5,751	1	461	2,552	2,575	375
29	1	—	—	38	—	—	—	—	—
488	315	416	5,770	5,585	1	464	2,496	2,478	371
31	—	—	—	40	—	—	—	—	—
479	314	411	5,956	5,586	1	457	2,484	2,319	360
33	—	—	—	40	—	—	—	—	—

16. 金融・市民生活

金融機関の預金・貸出残高状況

各年9月30日現在

年 次	預 金 残 高	貸 出 残 高
	千円	千円
平成9年	123,331,276	73,574,357
10	121,730,500	72,626,815
11	123,689,011	72,897,037
12	124,575,710	70,757,758
13	125,031,635	69,385,865
14	123,550,628	67,178,667
15	121,343,755	65,816,050
16	119,184,484	64,190,026
17	118,455,152	61,205,735
18	117,782,070	58,068,333
19	118,455,290	57,371,248
20	119,294,406	55,853,688

資料：市内金融機関

八十二銀行大町支店、長野銀行大町支店、長野県信用組合大町支店、
長野県労働金庫大町支店、松本信用金庫大町支店

消費者物価指数《年平均》

年 次	市 別	総 合	食 料	住 居	光熱・水道	家事用品・家具	被服及び履物	保健・医療	交通・通信	教 育	教養・娯楽	諸 雑 費
平成15年	長野市	99.8	100.0	99.0	97.5	103.0	100.0	99.7	99.5	102.3	101.5	98.7
	全 国	100.3	100.0	100.3	99.1	105.9	99.5	100.4	99.9	98.7	102.3	99.1
16	長野市	100.0	100.6	99.9	98.2	102.0	99.0	99.9	99.3	101.9	100.5	99.6
	全 国	100.3	100.9	100.1	99.2	102.4	99.3	100.4	99.7	99.3	100.9	99.7
17	長野市	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全 国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
18	長野市	100.8	101.2	101.1	103.9	98.1	101.3	99.7	100.6	100.4	98.8	100.4
	全 国	100.3	100.5	100.0	103.6	97.9	100.8	99.4	100.3	100.7	98.5	100.9
19	長野市	100.8	100.9	101.0	105.7	98.8	102.0	100.3	100.7	101.4	97.4	101.1
	全 国	100.3	100.8	99.8	104.4	96.3	101.4	99.7	100.4	101.4	97.2	101.7
20	長野市	101.7	102.3	99.9	112.2	99.9	102.2	100.2	102.7	103.0	96.4	101.0
	全 国	101.7	103.4	100.0	110.7	96.0	101.9	99.4	102.4	102.1	96.7	102.1

資料：県情報政策課

平成17年＝100

制度資金の利用状況

事 項	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度		
	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額	申込 件数	申込 金額	融資 金額
	件	万円	万円	件	万円	万円	件	万円	万円	件	万円	万円	件	万円	万円
県中小企業制度資金	119	121,872	121,872	107	89,120	89,120	99	114,170	114,170	47	58,560	58,560	58	75,310	75,310
市中小企業制度資金	134	42,781	42,781	92	22,175	22,175	95	33,507	33,507	82	31,205	31,205	82	469,220	469,220

資料：商工労政課、北安曇地方事務所 注）「市中小企業制度資金」について、合併前は旧大町市の数値である。

一人当たりの市民所得

	市町村民所得（分配）	10月1日現在人口	一人当たり市町村民所得
	千円	人	千円
平成15年度	85,677,433	30,435	2,815
平成16年度	84,063,925	30,121	2,791

資料：企画財政課

注）旧大町市の数値である。

産業別市町村内総生産

区 分	総 生 産		構 成 比	
	15 年 度	16 年 度	15 年 度	16 年 度
単 位	千円	千円	%	%
農 業	2,087,083	1,817,881	1.8	1.5
林 業	274,214	267,869	0.2	0.2
水 産 業	16,036	16,437	0.0	0.0
鉱 業	719,137	1,302,061	0.6	1.1
製 造 業	22,038,640	23,098,776	18.8	18.9
建 設 業	4,792,759	6,349,141	4.1	5.2
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	9,381,394	9,217,624	8.0	7.6
卸 売 ・ 小 売 業	6,223,017	5,659,442	5.3	4.6
金 融 ・ 保 険 業	6,066,136	5,351,826	5.2	4.4
不 動 産 業	17,455,169	17,624,694	14.9	14.4
運 輸 ・ 通 信 業	6,586,614	7,059,530	5.6	5.8
サ ー ビ ス 業	23,240,667	24,705,469	19.8	20.2
政 府 サ ー ビ ス 生 産 者	22,796,725	23,624,510	19.5	19.4
対家計民間非営利サービス生産者	1,218,358	1,201,731	1.0	1.0
小 計	122,895,949	127,296,991	104.9	104.3
（ 控 除 ） そ の 他	5,760,778	5,259,595	4.9	4.3
市 町 村 内 総 生 産 （ 市 場 価 格 表 示 ）	117,135,171	122,037,395	100.0	100.0

資料：企画財政課

注）旧大町市の数値である。

市町村民所得（分配）

区 分	市町村民所得（分配）		構 成 比	
	15 年 度	16 年 度	15 年 度	16 年 度
単 位	千円	千円	%	%
1 雇 用 者 報 酬	60,767,736	59,863,610	70.9	71.2
(1) 賃 金 ・ 俸 給	51,680,945	51,129,748	60.3	60.8
(2) 雇主の現実社会負担	6,439,287	6,114,220	7.5	7.3
(3) 雇主の帰属社会負担	2,647,504	2,619,642	3.1	3.1
2 財 産 所 得	445,337	1,014,335	0.5	1.2
a 受 取	5,646,707	5,687,260	6.6	6.8
b （控除） 支 払	5,201,370	4,672,926	6.1	5.6
(1) 一 般 政 府	△ 1,983,774	△ 1,856,298	△ 2.3	△ 2.2
a 受 取	706,435	541,861	0.8	0.6
b （控除） 支 払	2,690,209	2,398,158	3.1	2.9
(2) 対家計民間非営利団体	18,245	20,408	0.0	0.0
a 受 取	72,884	69,234	0.1	0.1
b （控除） 支 払	54,639	48,826	0.1	0.1
(3) 家 計	2,410,865	2,850,224	2.8	3.4
① 利 子	△ 1,921,553	△ 1,766,823	△ 2.2	△ 2.1
a 受 取	534,970	459,119	0.6	0.5
b （控除） 支 払	2,456,523	2,225,942	2.9	2.6
② 配 当	638,691	800,973	0.7	1.0
③ 保険契約者に帰属する財産所得	3,126,318	3,282,397	3.6	3.9
④ 賃貸料	567,409	533,677	0.7	0.6
3 企 業 所 得	24,464,361	23,185,980	28.6	27.6
(1) 民 間 法 人 企 業	11,987,751	11,412,967	14.0	13.6
(2) 公 的 企 業	38,079	22,391	0.0	0.0
(3) 個 人 企 業	12,438,531	11,750,622	14.5	14.0
a 農 林 水 産 業	1,059,717	864,141	1.2	1.0
b そ の 他 の 産 業	2,765,637	2,459,853	3.2	2.9
c 持 家	8,613,177	8,426,628	10.1	10.0
4 市 町 村 民 所 得	85,677,433	84,063,925	100.0	100.0

資料：企画財政課

注）旧大町市の数値である。

17. 公 安

消防施設と人員

年 度	施 設										人 員				
	消 防	指 令 車	査 察 車	積 載 車	小型動力 ポンプ	自 動 車	救 急	警 鐘 楼	防 火 水 槽	消 火 栓	器 具 置 場	消防団		消防本部署	
												定数	実数	定数	実数
	台	台	台	台	台	台	基	個所	基	個所	人	人	人	人	
平成15年度	10	2	2	13	32	2	40	125 (14)	1, 183 (225)	35	626	626	41	41	
16	10	2	2	13	32	2	40	125 (14)	1, 187 (225)	35	626	626	41	41	
17	10	2	2	13	32	2	40	124 (14)	1, 194 (225)	35	626	626	41	41	
18	14	2	2	23	42	2	61	235 (14)	1, 457 (202)	46	835	835	41	41	
19	14	2	2	23	42	2	61	235 (13)	1, 457 (202)	47	835	835	41	41	

資料：北アルプス広域消防本部

- 注) 1. () は私設の消防施設。 2. 警鐘楼はホース乾燥施設も含む。
 3. 積載車は小型ポンプ付である。 4. 大町市については大町消防団と北アルプス広域大町消防署の合算数値。
 5. 合併前は、旧大町市の数値である。

救急出動及び搬送状況

年 次	出 動 件 数										搬送人員		
	総数	交通	急病	運動 競技	一般 負傷	労働 災害	自損 行為	水難 火災	加害	転院・ その他	総数	男	女
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	人	人	人
平成16年	2,460	283	1,334	22	472	20	19	4	8	298	2,373	1,308	1,065
17	2,684	291	1,446	28	467	20	28	8	7	389	2,608	1,508	1,100
18	2,720	249	1,412	33	558	27	25	8	6	402	2,651	1,472	1,179
19	2,826	217	1,565	31	543	23	28	7	—	412	2,752	1,540	1,212
20	2,736	224	1,483	37	511	18	27	5	5	426	2,623	1,447	1,176

資料：北アルプス広域消防本部 注) 数値は、大町消防署・北部消防署・南部消防署の合算数値である。

出火原因別の出火件数

年 次	総数	たばこ	火あそび	たき火	こんろ	(疑含) 放火	風呂かまど	ストーブ	煙突・煙道	電灯・配線	交通機関	(調査中) 不明	その他
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
平成 16 年	7	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	2	2
17	12	—	—	—	—	1	4	2	—	1	—	1	3
18	9	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2	3	2
19	11	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	6	2
20	10	—	—	1	1	1	1	1	—	—	—	5	—

資料：北アルプス広域消防本部

火災の発生件数・焼失面積と損害額等

年次	火災件数					焼失面積		死傷者数		損害額
	総数	建物	林野	車両	その他	建物	林野	死者	負傷者	
	件	件	件	件	件	m ²	a	人	人	千円
平成16年	7	5	1	1	—	285	75	—	1	43,329
17	12	12	—	—	—	3,368	—	4	6	438,279
18	9	5	1	2	1	258	8	—	1	33,268
19	11	7	3	1	—	584	191	2	2	45,452
20	10	6	2	2	—	497	53	2	1	57,047

資料：北アルプス広域消防本部
注) 合併前は、旧大町市の数値である。

山岳遭難事故の状況

原因別 \ 年次	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
発生件数	39件	43件	53件	37件	54件
死亡者	8人	10人	24人	3人	13人
救出された者（うち負傷者）	43(38)	41(26)	59(40)	40(26)	47(33)
行方不明の者	—	—	2	—	2
総数	51	51	83	43	62
疲労・凍死傷	5	2	15	3	3
吹雪	—	—	—	—	—
なだれ・雪庇・ブロックの崩落	1	3	13	5	1
転倒・転落・滑落	26	27	24	23	27
落石	2	3	4	2	4
道に迷い	—	2	16	4	11
グリセードの失敗	—	—	—	—	—
病気	5	6	6	6	7
その他の	12	8	5	—	7
原因不明	—	—	—	—	2

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値である。

交 通 違 反

年 次	総 数		無免許 運 転	一時停止 違 反	積載乗車 違 反	酒酔い・ 酒気帯び 運 転	速度違反	その他 (免許不携 帯を含む)
	実 数	対前年比						
	件	%	件	件	件	件	件	件
平成 16 年	3,530	110.2	22	387	－	121	728	2,272
17	2,914	82.5	10	308	1	84	782	1,729
18	3,482	119.5	19	314	4	77	559	2,509
19	3,042	87.4	18	365	1	31	568	2,059
20	3,132	103.0	8	310	－	15	711	2,088

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値である。

交 通 事 故

年 次	死 傷 者			事 故 件 数			
	総 数	死 者	傷 者	総 数	自動車	原動機付	その他の車
	人	人	人	件	件	件	件
平成 16 年	550	13	537	390	378	5	7
17	484	5	479	356	309	25(二輪)	22
18	527	8	519	337	294	21(二輪)	22
19	444	9	435	306	251	27(二輪)	28
20	381	8	373	263	277	13(二輪)	23

資料：大町警察署 注) 大町警察署管内の数値である。

刑法犯罪の発生件数と検挙件数

年 次	区分	総数	凶 悪 犯				一 般 犯				
			殺人	強盗	放火	強姦	暴行傷害	窃盗	詐欺	横領	その他 刑法犯
平成 16 年	発生	805	－	－	3	2	9	673	35	－	83
	検挙	124	－	－	3	2	9	66	9	－	35
17	発生	825	－	1	2	1	10	662	42	1	106
	検挙	266	－	1	－	1	8	206	13	1	36
18	発生	719	－	－	1	1	14	573	38	1	91
	検挙	362	－	－	1	1	6	319	9	1	25
19	発生	651	1	1	1	1	18	495	33	1	100
	検挙	173	1	1	1	－	19	106	7	1	37
20	発生	580	－	－	－	－	11	431	28	1	105
	検挙	169	－	－	－	1	6	124	2	1	33

資料：大町警察署 注) 1. 大町警察署管内の数値である。

2. その他刑法犯には、強制わいせつ、偽造、恐喝、脅迫等を含む。

各種登記事件数

年 次	総 件 数	不動産登記	商業法人	その他の登記
	件	件	件	件
平成16年	10,605	9,659	938	8
16	11,910	11,086	824	-
17	11,595	10,656	931	8
19	11,291	10,414	873	4
20	11,111	10,431	680	-

資料：長野地方方法務局大町支局

民事事件の推移

(単位：件)

年 次	総 数			訴訟事件			督促事件			民事調停事件			その他の事件		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成16年	659	678	37	106	97	17	186	188	-	213	236	20	154	157	-
17	617	636	18	82	92	7	189	187	2	213	224	9	133	133	-
18	608	577	49	126	115	18	178	179	1	182	169	22	122	114	8
19	431	438	42	103	97	24	135	136	-	112	121	13	81	84	5
20	361	368	35	92	92	24	115	113	2	89	93	9	65	70	-

資料：最高裁判所（裁判統計データベースシステム）

- 注）1. 数値は、大町簡易裁判所の取扱件数である。 2. 平成19年の数値は概数である。
3. 訴訟事件の内訳…通常訴訟，手形・小切手訴訟，小額訴訟，小額訴訟判決異議
4. 民事調停事件の内訳…一般調停，宅地建物調停，農事調停，商事調停，交通調停，公害等調停，特定調停

刑事事件の推移

(単位：人)

年 次	総 数			訴訟事件			略式事件			その他の事件		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成16年	410	412	-	4	6	-	321	321	-	85	85	-
17	337	329	8	9	9	-	290	282	8	38	38	-
18	270	273	5	3	3	-	238	241	5	29	29	-
19	276	281	-	1	1	-	221	226	-	54	54	-
20	232	232	-	-	-	-	189	189	-	43	43	-

資料：最高裁判所（裁判統計データベースシステム）

- 注）1. 数値は、大町簡易裁判所の取扱人員である。
2. 平成19年の数値は概数である。
3. 訴訟事件の内訳…通常第一審，再審事件

家事事件の推移

(単位：件)

年 次	総 数			審 判			調 停			そ の 他		
	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済	新受	既済	未済
平成16年	2,749	2,765	395	2,031	2,045	157	575	609	201	143	111	37
17	2,875	2,752	518	2,067	1,979	245	574	573	202	234	200	71
18	2,983	3,081	420	2,193	2,251	187	589	598	193	201	232	40
19	3,065	3,065	420	2,407	2,421	173	461	468	186	197	176	61
20	2,811	2,856	375	2,195	2,219	149	423	442	167	193	195	59

資料：最高裁判所（裁判統計データベースシステム）

- 注）1. 数値は、大町市を管轄する長野家庭裁判所松本支部の取扱件数である。

18. 観 光

観光客の入込数の推移（延数）

年次	観 光 客 総 数	観 光 地 内 訳						対前年比	消 費 額	
		温 泉 郷 ・ 葛 温 泉 東 山 公 園	黒部ダム	後 立 山	仁科三湖	鷹狩高原	新行高原・ ぼかぼかランド 美 麻			
	百人	百人		百人	百人	百人		%	千円	
		大町温泉郷 高瀬溪谷	市 街 地 東 山							
平成16年	28,659	5,673	1,435	10,468	688	10,395	...	...	93.4	14,610,660
17	28,015	5,497	1,235	10,398	646	10,239	...	...	97.8	14,287,570
18	29,832	5,515	1,247	10,381	568	9,933	935	1,253	106.5	14,526,093
19	28,019	5,479	1,243	9,774	710	8,862	920	1,031	94.0	13,717,737
20	29,049	5,467	1,405	10,120	765	8,991	916	1,385	103.7	13,876,879

資料：観光課

観光客の入込数（スキー場）

年 度	総 数	サンアルピナ 鹿 島 檜 ス キ ー 場	サンアルピナ 青 木 湖 ス キ ー 場	ヤ ナ バ ス キ ー 場	大 ス キ ー 町 場	爺 ガ 岳 ス キ ー 場
	人	人	人	人	人	人
平成15年度	311,504	182,294	36,372	44,037	10,901	37,900
16	297,783	179,760	33,656	32,606	13,331	38,430
17	287,362	171,201	41,529	27,049	11,633	35,950
18	185,384	100,971	39,277	16,576	7,060	21,500
19	283,475	144,915	48,476	50,942	10,102	29,040

資料：観光課 注）1.この表の数値は、「観光客の入込数の推移（延数）」の観光客総数に含まれている。

2.11月～3月末までの数値。

観 光 地 等 の 概 要

名 称	概 要
木 崎 湖 1.413km ²	仁科三湖中最も開発された湖で、キャンプ場などがある。新緑、夏の避暑、紅葉、黒部ダム探勝の基地の温泉をもち、四季を通じて訪れる人があとをたない。 湖畔には伝統を誇る夏期大学があり、全国各地から集まる学生や教師で賑わい、風光明媚な自然の環境が年と共に活況を極めつつある。 大系線信濃木崎駅から徒歩10分。
中 綱 湖 0.141km ²	周囲2.225mで仁科三湖中最も小さい。ワカサギ、ヘラブナ、ウグイ、コイ等が豊富で避暑がてらの釣り人の好適地として知られている。また冬の穴釣りは野趣に富んでいる。春の湖畔はオオヤマザクラがとても美しい。 大系線築場駅下車前。
青 木 湖 1.863km ²	湖畔の静寂さは仁科三湖中随一であり、白馬三山を紺碧の湖面に映している。湖畔には西国三十三番の観音石仏がかつての千国街道の面影を残し、キャンプ、ハイキングの散策には最適である。 大系線築場駅から徒歩20分。
サンアルピナ 鹿 島 檜 ス キ ー 場 78.0ha	眼前に鹿島檜、爺ヶ岳の勇姿が迫る眺望雄大なスキー場。晴天には遠く浅間、妙高の諸連峰が望まれ、積雪量豊富で広大なゲレンデで子供から大人まで楽しめる。 ふもとの民宿からリフトの便もあり、またナイタースキーも楽しめる。 大系線築場駅から徒歩15分。また、信濃大町駅から無料シャトルバス40分。
サンアルピナ 青 木 湖 ス キ ー 場 30.0ha	サンアルピナ青木湖は、サンアルピナ鹿島檜、サンアルピナ白馬さのさかに隣接しており青木湖を眼下に望むスキー場である。標高1,350mの山頂から湖畔までの滑降コースは標高差750m、滑走距離3,500mで豪快な滑りが楽しめる。 大系線築場駅から無料送迎バス10分。
ヤナバススキー場 30.0ha	北アルプスの山々を望み、仁科三湖を懐に抱く眺望豊かなスキー場。スノーボード用のコースが充実しており、ビッグテーブルトップやハーフパイプなど、多彩なアトラクションを配置。 大系線ヤナバススキー場前駅下車すぐ。国道148号沿い。
爺ヶ岳スキー場 40.0ha	後立山連峰に抱かれた標高1,000mの高原で、良質な粉雪に恵まれたゲレンデを持つスキー場。 スキー場ベース部分は広い緩斜面を持ち、初心者から中級者向けの練習バーンに最適。上部は林間コースとなっており、晴天時には安曇野も見渡せる。広さのあるちびっこゲレンデには現在ではとても珍しいトロイカがあり、子供たちに変人気がある。 大系線信濃大町駅からタクシー15分、ふれあい号30分。
葛 温 泉 と 高 瀬 溪 谷	檜ヶ岳に源を発する高瀬川が奇岩をつくり出し、独特の渓谷美をみせている。急峻な谷が新緑や紅葉に彩られ、白い花崗岩がコバルトブルー色の清水に映えて、すばらしい景観をつくりだしている。この渓谷に東京電力が高瀬、七倉の2つのロックフィルダムをつくった。高瀬ダムは高さが176mの日本有数の巨大ロックフィルダムで、霞ヶ関ビルの容積の約20倍、1,159万m ³ 、また七倉ダムは高さ125m、ダム体積738万m ³ で、この2つのダム湖に映える四季おりおりの景観はすばらしい。 また下流の大町ダム（国土交通省）には、ダムサイドの緑地公園があり、治山治水事業のモニュメントとして、泉小太郎像がある。この渓谷のなかには葛温泉の3軒の温泉宿もある。この温泉は約300年前から開かれ、湯量も豊富で露天風呂もある渓谷のいで湯である。 山菜岩魚等季節の味覚こそ忘れ得ぬものがあり、檜ヶ岳、三俣蓮華岳、烏帽子岳方面への登山基地でもある。4月下旬～11月上旬は七倉～高瀬ダム間市内特定タクシー乗り入れ可能。 大系線信濃大町駅からタクシー35分。
大 町 温 泉 郷	秘境黒部の開放に伴い、昭和39年秋に大町アルペンライン沿いに建設された近代的な温泉郷である。後立山連峰の背景と鹿島川の流れ、白樺とカラマツの林にかこまれたこの温泉郷は保養地として人気がある。 また、酒の博物館や民話の里おおまち小太郎、アルプス温泉博物館等の博物館もある。 大系線信濃大町駅から路線バス13分。

名 称	概 要
木 崎 湖 温 泉	葛温泉からの引湯で、湖畔の温泉として人気を呼んでいる。 木崎湖を中心に四季のレジャーに最も恵まれており、交通の便もよいため四季を通じて若者や家族連れが憩う。 大系線信濃木崎駅から徒歩10分。
立 山 黒 部 ア ル ペ ー ト	世紀の難工事といわれ秘境黒部溪谷に誕生した黒部ダムをはじめ、北アルプスを貫いて大町と富山県立山とを結ぶアルペンルートは、日本の屋根であるアルプスの景観と黒部大溪谷をほしいままに観賞でき、我が国で他に類をみない国際的スケールの山岳大観光ルートである。 大系線信濃大町駅から路線バス40分。
黒 部 ダ ム	黒部溪谷に513億円の総工費と延1千万人の労働力、7年の歳月を要してつくられた、高さ186m、堤頂長492m、体積158万m3のアーチ式ドーム型ダムで、総貯水量約2億m3の黒部湖が誕生、日本第一位。アルペンルートを渡るアルプスの架け橋でもあり、その迫力ある放水は見もの。 大系線信濃大町駅から路線バス40分。乗り換えトロリーバス16分。
市 立 大 町 山 岳 博 物 館	昭和26年、公民館青年部の熱意と市民の積極的な援助により創設された、日本初の山岳博物館。 展望室からは北アルプスの雄大な眺めを満喫できるほか、山と芸術・黎明期から近代までの登山史・里山から高山までの動物や植物を紹介している。またコマクサ園では高山植物に、付属園では特別天然記念物のカモシカのほか北アルプスとその山ろくに生息する動物たちにも出会える。 大系線信濃大町駅からタクシー5分。
酒 の 博 物 館	大町温泉郷にあり、酒造りの歴史や文化、道具などをはじめ、全国の酒約1,500点を展示している。試飲コーナーでは、甘口から辛口まで地酒5種類の飲みくらべができ、売店・地酒センターでは地酒をはじめ、オリジナル品を含む物産の販売もしている。 大系線信濃大町駅から路線バス13分。
大 工 博 物 館	エネルギーや科学の基礎について楽しみながら学べる博物館。 土日祝祭日には、科学体験工作教室を開催（期間中は随時受付）。親子で一緒に工作にチャレンジするのに最適。 大系線信濃大町駅からタクシー20分。ふれあい号35分。
塩 の 道 博 物 館	大町山岳博物館に通じる市街地にあり、塩問屋であった平林家の母屋を一般公開した博物館である。糸魚川から松本に至る海と内陸を結ぶ千国街道は塩の道と呼ばれ、当時の経済道路でありその中継場所であったこの建物は当時の面影をのこしており、貴重な古文書や生活用品が展示され往事をしのばせてくれる。 大系線信濃大町駅から徒歩10分。
流 鏑 馬 会 館	大町の流鏑馬と若一王子神社例大祭に関する資料を展示。塩の道博物館に併設。 大系線信濃大町駅から徒歩10分。
ア ル プ ス 温 泉 博 物 館	温泉を様々な角度より見て、触れて、知ることのできる博物館。温泉の誕生から入浴法、効能などわかりやすく紹介している。湯けむり屋敷薬師の湯に併設。 大系線信濃大町駅から路線バス13分。
大 町 市 民 俗 資 料 館	江戸時代から昭和30年代に入るまで社地区の主要産業として地域経済を支えてきた松崎和紙、および宮本和紙の資料や旧社小学校に所蔵されていた明治から現代に至る教科書等の資料、社地区で出土した、写経石などの考古資料、指定文化財の資料、紙すきの道具、各種節句人形などを展示、社公民館併設。 大系線信濃大町駅からタクシー5分。ふれあい号15分。

名 称	概 要
水 と 電 気 の 高瀬川テプコ館	高瀬渓谷の入口に位置し、ダムや水車のさまざまな資料から揚水発電所の仕組みなどを巨大模型、コンピューターやパネルで紹介。映像ホールもあり、水と電気について学ぶことができる。ここから高瀬ダム発電所への無料見学バスコースもある。 大系線信濃大町駅からタクシー15分。ふれあい号35分。
四 季 演 劇 資 料 館	劇団四季創設以来のあゆみを、舞台模型、パネル写真、台本、記念資料、又、実際に舞台で使用した大・小道具、衣装等を展示紹介している。四季オリジナルグッズの販売コーナー有。 大系線信濃大町駅からタクシー15分。
ア ル プ ス 搗 精 工 場	日本最大規模の酒造搗精工場。近代設備と最先端コンピュータ管理により、酒造米を精白し高品質純度の生産が可能。長野県の酒約97種の展示と試飲コーナーがあり、販売も行っている。 大系線信濃大町駅からタクシー10分。
ゆ～ぷる木崎湖	25m温水プール、ウォータースライダー、子どもウォータープレイプールを備えたプール棟、大浴場、露天風呂、サウナ、ジャグジーを備えた温泉棟、レストラン、多目的に使える宴会場などがあり、快適にご利用いただける。 大系線信濃木崎駅から徒歩10分。
岩 魚 信 州 黒 部 サーモン養殖場	幻といわれる渓流魚の岩魚孵化から成魚までを観察できる岩魚の里。5,000坪の庭園には大小の池、水車小屋、桜や白樺林の中に散策路がある。信州で生まれたサーモン、イトウなどの淡水魚が飼育されている。 大系線信濃大町駅からタクシー10分。
大町ダム情報館	大町ダムの役割や周辺の自然環境について、パネルやパソコンで分かりやすく解説している。また龍神湖散策コースや地域のイベントなど、多くの周辺情報を提供している。 大系線信濃大町駅からタクシー20分。
「ラ・カスタ」 ナチュラルヒー リングガーデン	人と自然のふれあいを通じて、心豊かで心地よいナチュラルライフスタイルを提案。アロマセラピーを応用した自分だけの香り製品をつくる香りの手作り体験工房も設置されています。
西丸震也記念館	木崎湖畔にたたずむギャラリー。日本の探検登山の草分け的存在といわれる西丸震也氏のコレクションを美術家、杉原信幸氏の監修のもとに展示している。 西丸氏の貴重な収集品と、その活動の足跡に触れることのできる記念館。 JR稲尾駅から徒歩5分。
唐 花 見 湿 原	標高945mの山間に、周辺をカラマツ・アカマツ・杉などの針葉樹やコナラなどの雑木林と畑地で囲まれた低湿原です。湿原に積もった泥炭は厚さ2.6m以上になり、8,000年あまりの歴史を持つといわれます。資源が乏しい時代には泥炭を掘り出して燃料にしたこともありました。 掘跡はトンボなど水にすむ生き物の棲み家になっています。唐花見湿原の一番良い季節はミヤマウメモドキの実がなる頃です。10月から見られます。晩秋から初冬にかけての静まり返った湿原の散歩はおすすめです。
金 熊 温 泉	八坂北部の山中から湧き出る「金熊温泉」。美人の湯とも言われるこの温泉の泉質は単純硫黄泉で、湯冷めせず保温効果が抜群です。 古くからこの地に伝わる金太郎伝説にちなんで金熊温泉と名付けられました。
新 行 高 原	美麻地区の西に位置し、標高900mの高原で夏でも涼しくすごしやすい。北アルプスの景観が素晴らしく、古くから民宿を営んできた。また、高原の気候に適したそばも栽培しており、信州のそばどころとして定着している。
麻 の 館	美麻地区の名前の由来ともなった麻。麻の館では、麻の栽培と麻づくりの手仕事を展示しています。麻の伝統と歴史など、麻のすべてが分かる博物館です。また、1階はそばの専門店となっており、そば打ち体験もできます。北アルプスの展望を楽しみながら、手打ちそばが楽しめます。
ぽかぽかランド 美 麻	通称オリンピック道路(県道31号線)沿いに位置するぽかぽかランド美麻は温泉・宿泊・食事・宴会にも利用できる施設です。黒部ダム、安曇野、白馬村、長野市へのアクセスも容易にでき、アクティブな旅の拠点としてご利用可能です。 また、浴場は露天風呂を含め日替わりで計7種類の施設を楽しむことができます。

資料：観光課

北アルプスの紹介

北アルプス（飛騨山脈）は長野・新潟・富山・岐阜の4県にまたがり、奥穂高岳（3,190m）を筆頭に標高3,000mを超える山々を多く連ねて本州の中央部に位置する山脈で、中央アルプス（木曽山脈）・南アルプス（赤石山脈）とともに日本の屋根ともいえる日本アルプスを形成している。

その生い立ちは新生代第四紀の初め（約180万年前）からの造山活動によって著しく隆起しはじめ、2,700mあまりせり上がって一大山脈を形成したことから始まる。この大山脈の東側には約2,250万年から180万年前までに大きく陥没してできた、かつては海だったフォッサマグナ（大地溝帯）が形成されており、さらにその西縁には糸魚川－静岡構造線と呼ばれる大断層がある。

日本海の親不知付近の海底からそそりたつ北アルプスの山脈群は安房峠をはさんでそびえる乗鞍岳（3,026m）まで続き、北の朝日岳（2,418m）から南の乗鞍岳まで約87.5kmにわたる。この間は黒部・高瀬・梓川が形成する溪谷によって3筋の山脈に大別され、北から、白馬岳（2,932m）や鹿島槍ヶ岳（2,889m）を抱える後立山連峰（鹿島槍連峰）、剣・立山連峰、裏銀座縦走路と呼ばれる登山コースが通る烏帽子・鷲羽連峰、常念山脈、槍・穂高連峰、乗鞍火山脈の各山域に区分される。一帯は中部山岳国立公園に指定され、自然環境・景観が保護されつつ登山者・スキーヤー・観光客など多くの人々に親しまれている。

高山植物の咲き乱れるお花畑、高山に生きる動物たち、山と溪谷の織り成す山岳美、陰しい岩と雪、そして山麓の独特の文化的景観と出で湯……。裾野から山頂まで四季にわたる魅力は尽きず、北アルプスは世界に誇ることができる日本の山々の代表格となっている。

大町の山岳標高一覧（2,400m以上） 標高降順

	山 名	読 み	標高 (m)	境 界 ・ 備 考
1	槍ヶ岳	ヤリガタケ	3,180	大町市・松本市
2	野口五郎岳	ノグチゴロウダケ	2,924	大町市・富山市
3	鷲羽岳	ワシバダケ	2,924	大町市・富山市
4	大天井岳	ダイテンジョウダケ (オテンショウダケ)	2,922	大町市・安曇野市・松本市
5	鹿島槍ヶ岳	カシマヤリガタケ	2,889	大町市・黒部市・立山町
6	ワリモ岳	ワリモダケ	2,888	大町市・富山市
7	真砂岳	マサゴダケ	2,862	大町市・富山市 ※1
8	双六岳	スゴロクダケ	2,860	大町市・高山市
9	三ツ岳	ミツダケ	2,845	大町市・富山市
10	三俣蓮華岳	ミツマタレンゲダケ	2,841	大町市・富山市・高山市
11	針ノ木岳	ハリノキダケ	2,821	大町市・立山町
12	五龍岳	ゴリュウダケ	2,814	黒部市 ※2
13	蓮華岳	レンゲダケ	2,799	大町市・立山町
14	赤岩岳	アカイワダケ	2,769	大町市・松本市
15	燕岳	ツバクロダケ	2,763	大町市・安曇野市
16	西岳	ニシダケ	2,758	大町市・松本市
17	縦沢岳	モミサワダケ	2,755	大町市・高山市
18	スバリ岳	スバリダケ	2,752	大町市・立山町
19	南真砂岳	ミナミマサゴダケ	2,713	大町市
20	布引山	ヌノビキヤマ	2,683	大町市・立山町
21	赤沢岳	アカザワダケ	2,678	大町市・立山町
22	爺ヶ岳	ジイガタケ	2,670	大町市・立山町
23	餓鬼岳	ガキダケ	2,647	大町市
24	鳴沢岳	ナルサワダケ	2,641	大町市・立山町
25	唐沢岳	カラサワダケ	2,632	大町市
26	岩小屋沢岳	イワゴヤザワダケ	2,630	大町市・立山町
27	烏帽子岳	エボシダケ	2,628	大町市・富山市
28	南沢岳	ミナミサワダケ	2,625	大町市・立山町
29	不動岳	フドウダケ	2,601	大町市・立山町
30	硫黄岳	イオウダケ	2,554	大町市
31	牛首山	ウシクビヤマ	2,553	大町市
32	北葛岳	キタクズダケ	2,551	大町市・富山市
33	白岳	シラタケ	2,541	大町市・白馬村・黒部市
34	七倉岳	ナナクラダケ	2,509	大町市・富山市 ※1 山群中最高峰の数値
35	東沢岳	ヒガシザワダケ	2,497	大町市 ※1
36	東餓鬼岳	ヒガシガキダケ	2,490	大町市・安曇野市 ※1
37	船窪岳	フナクボダケ	2,459	大町市・富山市 ※1 山群中最高峰の数値
38	赤岳	アカダケ	2,416	大町市 ※1

※1……標高は国土地理院発行の5万分の1地形図記載の数値による。

※2……三角点は黒部市側にあるが山頂付近は大町市と隣接する。

なお、注記以外の標高はすべて『日本の山岳標高一覧 —1003山—』（国土地理院、1991）の数値による。

資料作成：市立大町山岳博物館

資 料

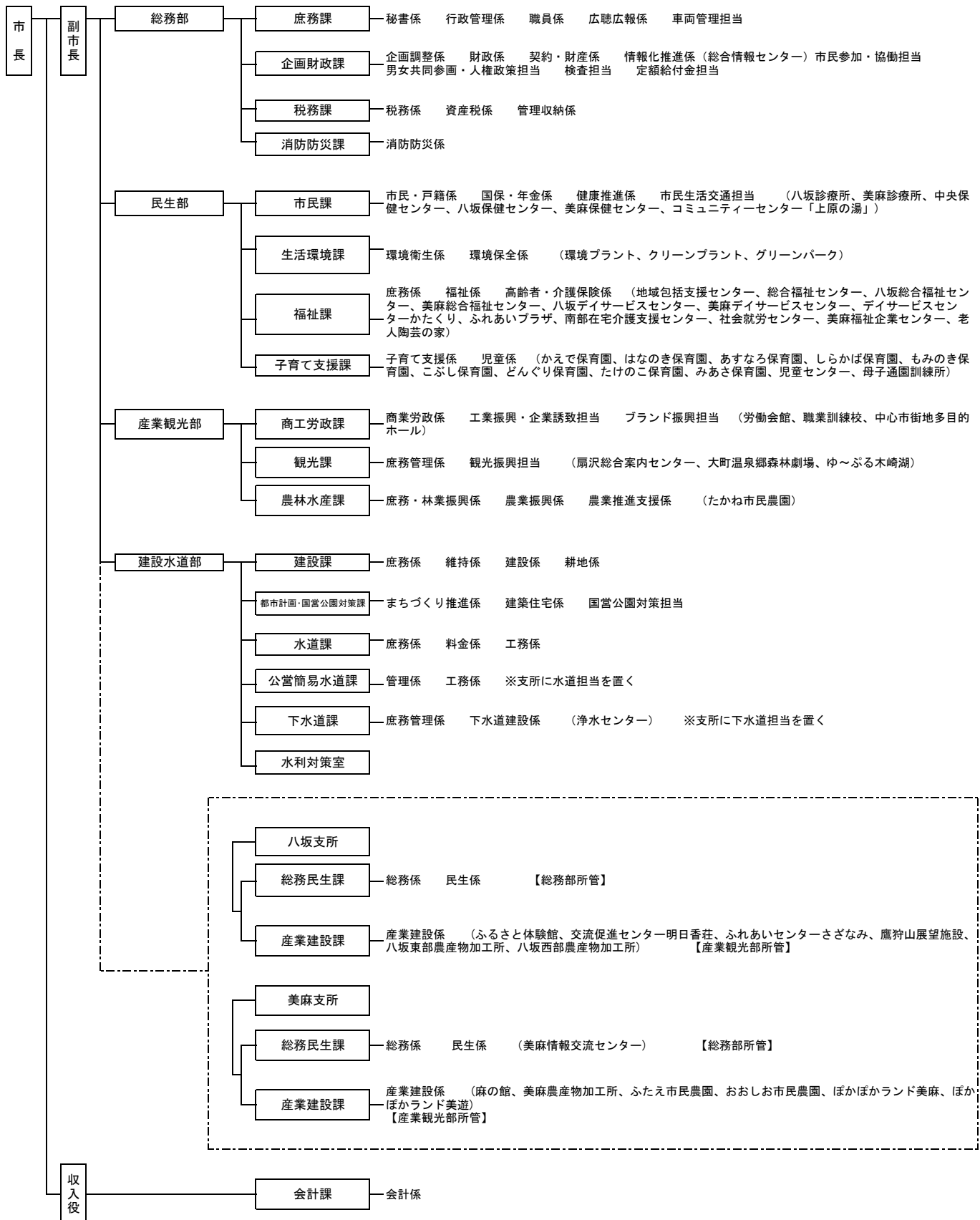
◆行政組織機構図

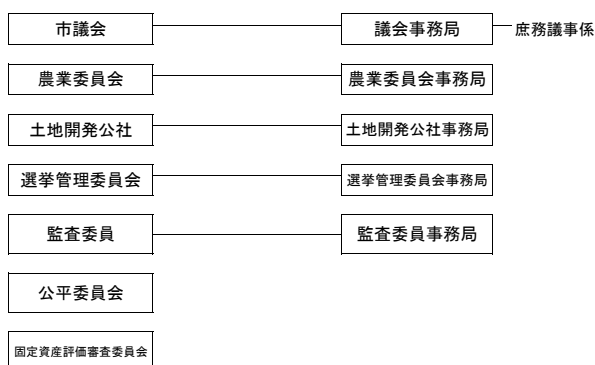
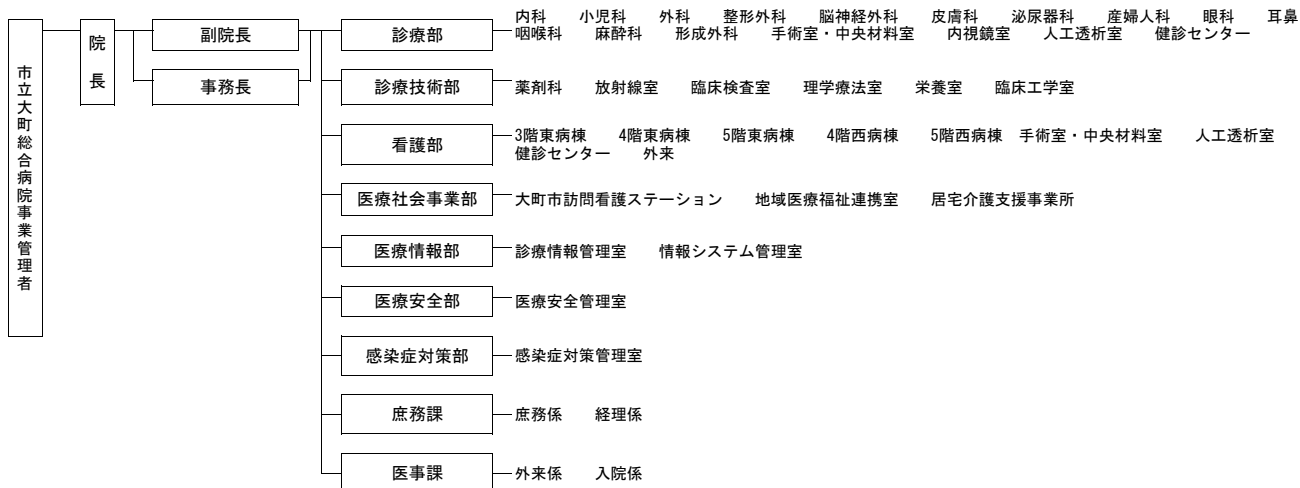
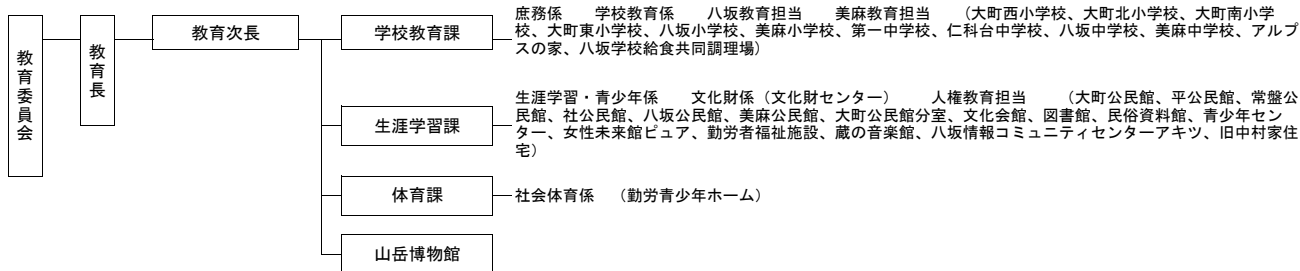
◆市内体育施設

◆市内社会施設

大町市行政組織機構図

平成21年4月1日 施行





※（ ）は附属施設、または、管理している施設

課 等 の 事 務 分 掌

課 等 名		事 務 分 掌
庶 務	課	議案・秘書・例規・職員人事・文書・広聴広報・車両管理・その他の課の分掌に属さないことに関する事
企 画 財 政	課	企画・調整・地域情報化・事務処理の電算化・統計調査・実施計画・男女共同参画・人権政策・市民参加と協働のしくみ・予算・市有財産・物品購入・検収・庁舎管理・地籍調査・土地開発公社等に関する事
税 務	課	市民税・固定資産税・その他諸税の調査・賦課及び徴収に関する事
消 防 防 災	課	消防団・消防水利・消防施設・水防・防災計画・防犯に関する事
市 民	課	戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険・国民年金・消費者行政・交通安全対策・市民バス・診療所・母子保健・保健センターに関する事
生 活 環 境	課	環境衛生・公害対策・し尿処理・ごみ処理に関する事
福 祉	課	生活保護・高齢者福祉・介護保険制度に関する事
子 育 て 支 援	課	保育所・子育て支援に関する事
農 林 水 産	課	農業・畜産・水産業・林業・耕地保全改良に関する事
水 利 対 策 室		水利権の申請・変更及び更新・水利調査及び水利運営・河川及び湖沼の環境改善・水利団体の指導育成に関する事
商 工 労 政	課	商工業の振興・労政・企業誘致・ブランド振興に関する事
観 光	課	観光振興に関する事
建 設	課	一般土木に関する事
都 市 計 画 ・ 国 営 公 園 対 策	課	都市計画・一般住宅行政・国営公園に関する事
水 道	課	水道事業に関する事
公 営 簡 易 水 道	課	公営簡易水道事業に関する事
下 水 道	課	下水道に関する事
八 坂 支 所	総 務 民 生 課	文書・車両管理・庁舎管理・市税・使用料等の徴収・消防団分団事務・地域自治組織・市民バス運行の調整・戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険・国民年金に係る受付・環境保全・生活保護・障害者福祉・老人福祉等に係る受付・八坂総合福祉センターに関する事
	産 業 建 設 課	地場産業の振興・農道、水路、林道の維持・加工施設の管理・雇用対策・観光振興・市道、公共物の維持・除雪・市営住宅に係る申請受付に関する事
美 麻 支 所	総 務 課	文書・車両管理・庁舎管理・市税・使用料等の徴収・消防団分団事務・地域自治組織・ケーブルテレビ放送事業・メンドシーノ交流事業・市民バス運行の調整に戸籍・住民基本台帳・印鑑・国民健康保険・国民年金に係る受付・環境保全・生活保護・障害者福祉・老人福祉等に係る受付・美麻総合福祉センターに関する事
	産 業 建 設 課	地場産業の振興・農道、水路、林道の維持・加工施設の管理・市民農園の管理・雇用対策・観光振興・ぽかぽかランド美麻・市道、公共物の維持・除雪・市営住宅に係る申請
会 計 課		現金の出納・保管・決算・その他経理に関する事
市 立 大 町 総 合 病 院		診療（内科・外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・小児科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科・脳外科・形成外科）事務・薬剤・放射線・臨床検査・人工透析・リハビリテーション・看護・給食に関する事
議 会 事 務 局		本会議・委員会・会議録の調整等市議会一般に関する事
教 育 委 員 会 事 務 局		学校教育・生涯学習・社会体育・同和推進・文化財の保護等に関する事
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局		選挙人名簿の調査・選挙の執行管理に関する事
監 査 委 員 事 務 局		事務監査・出納検査・決算審査に関する事
農 業 委 員 会 事 務 局		農地調整・国有農地の管理・農業振興・農政に関する事

社 会 施 設

名 称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(㎡)	建物面積 (㎡)
大 町 市 中 央 保 健 セ ン タ ー (保 健 セ ン タ ー)	大町1058-13	H 3. 4. 1	177		896.25
大 町 市 総 合 福 祉 セ ン タ ー	大町1129	H 14. 10. 1		4,571.42	(分室と共用部分を含む) 1,058.88 (センター棟) 2,749.78 (作業所棟ほか) 462.57
母 子 通 園 訓 練 所 あ ゆ み 園	大町3130	S 46. 10. 1	10	139.50	139.5
児 童 セ ン タ ー	大町4714	H 18. 4. 1		3,417.13	570.03
老 人 陶 芸 の 家	大町1058-13	S 49. 10. 7			180.26
大 町 市 ふ れ あ い プ ラ ザ	常盤3546-33	H 13. 4. 1		2,583.45	741.53
社 会 就 労 セ ン タ ー	社5892-6	S 39. 4. 1	30	1,070.36	453.98
大 町 公 民 館	大町1601-2	S 22. 10. 29	157		(共用部分も含む) 681.67
文 化 会 館	大町1601-2	S 61. 5. 28	1,172	25,515.00	(公民館部分も含む) 5,661.95
サ ン ・ ア ル プ ス 大 町	大町1601-2	S 60. 11. 1	480	2,200.00	1,497.75
文化会館スケートボードパーク	大町1601-2	H 16. 4. 1		840.00	
大 町 公 民 館 分 室	大町1058-13	H 3. 4. 1	335	2,618.85	(専用部分のみ) 1063.39
平 公 民 館	平10352-1	S 59. 4. 1	691	6,194.00	996.63
女 性 未 来 館 ビ ュ ア	平10352-1	S 59. 4. 1			614.46
常 盤 公 民 館	常盤3601-18	S 58. 4. 1	約 500	6,381.20	1264.7
社 公 民 館	社3945-2	S 58. 4. 1	365	6,216.00	891.00
民 俗 資 料 館	社3945-2	S 60. 4. 1	40	(6,216.00)	(891.00)
市 立 大 町 図 書 館	大町4710-6	S 17. 8. 28			1726.94
市 立 大 町 山 岳 博 物 館	大町8056-1	S 26. 11. 1		39,875.92	2,683.95
大 町 市 蔵 の 音 楽 館	大町2542-1	H 16. 4. 1		150.00	79.30
ギャラリー・いーずら	大町3300-1	H 9. 4. 1			(いーずら大町特産館2階) 120.00
同 和 教 育 集 会 所	常盤3601-18	S 54. 4. 1	47	330.00	131.98
勤 労 青 少 年 ホ ー ム	常盤5638-18	S 50. 5. 8		787.00	796.22
フ レ ン ド プ ラ ザ 大 町	大町1601-2	H 1. 10. 1	166	1,167.09	670.61
大 町 市 労 働 会 館	大町4111-1	H 7. 4. 1		532.44	117.51
大 町 市 総 合 情 報 セ ン タ ー	大町3872-7	H 13. 4. 1		1,720.00	913.30
大 町 市 文 化 財 セ ン タ ー	大町4700	H 13. 7. 1		673.55	738.66
中心市街地多目的ホール	大町2511-3	H 18. 11. 1	40		66.96

八坂地区

名 称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(㎡)	建物面積 (㎡)
八 坂 総 合 福 祉 セ ン タ ー	八坂1128	H 9. 4. 1	50	2156.68	829.95
八 坂 保 健 セ ン タ ー	八坂987-1	S56. 4. 1	70	793.00	388.80
八 坂 公 民 館	八坂1133-1	H18. 1. 1			
八坂情報コミュニティセンターアキツ	八坂1133-1	H 7. 4. 1	100	8080	859.88

美麻地区

名 称	所在地	開設年月日	収容人員(人)	敷地面積(㎡)	建物面積 (㎡)
基 幹 集 落 セ ン タ ー	美麻11400番地	S54	20	786.00	624.39
福 祉 企 業 セ ン タ ー	美麻9043番地1	S46. 8. 26	20	2155.00	750.00
総 合 福 祉 セ ン タ ー	美麻11810番地	H11	250	6,220.00	(美麻保健センターも含む392.62) 1,541.00
美 麻 情 報 交 流 セ ン タ ー	美麻11810番地	H13. 12. 11	20	2,483.00	233.87
美 麻 公 民 館	美麻11810番地イ	H20. 1. 1	138	2,677.00	(美麻支所部分も含む) 755.75
重 要 文 化 財 旧 中 村 家 住 宅	美麻17668-1	H10. 5. 1		1,414.03	(主屋・土蔵・管理棟) 490.915

体 育 施 設

名 称			位 置	開設年	面 積
大 町 市 平 野 球 場			大町市平9539-3	S35年	10,550.00㎡
大 町 市 平 運 動 場			大町市平9370-1	S52年	12,071.00㎡
西 公 園	運 動 場		大町市大町4687	S42年	12,198.02㎡
	体 育 館		大町市大町4710	S42年	966.24㎡
大 町 市 常 盤 運 動 場			大町市常盤3516-38	S42年	9,845.41㎡
大 町 市 平 ゲ ー ト ボ ー ル 場			大町市平9365-1	H14年	1,550.00㎡
大 町 市 運 動 公 園	陸 上 競 技 場		大町市常盤5638-44	S53年	21,755.00㎡
	サ ッ カ ー 場			S52年	12,401.00㎡
	庭 球 場	ク レ ー		S56年	2,815.74㎡
		全 天 候		S58年	2,908.80㎡
	野 球 場			S61年	12,677.23㎡
	多 目 的 広 場			S62年	10,005.00㎡
	弓 道 場			S62年	864.79㎡
	マレットゴルフ北コース			S57年	36ホール (パー144)
	マレットゴルフ南コース			S63年	
	総 合 体 育 館			S63年	4,863.01㎡
	陸上競技場メインスタンド棟			S53年	1,097.00㎡
	サッカー場メインスタンド棟			S52年	739.00㎡
	野 球 場 メインスタンド棟			S61年	704.09㎡
	屋 内 運 動 場			H6年	987.13㎡
大 町 市 B&G 海 洋 セ ン タ ー	体 育 館		大町市平10352-2	S54年	1,627.80㎡
	艇 庫		大町市平9707-2	S54年	450.00㎡
	多 目 的 広 場		大町市社3945-3	S57年	11,279.00㎡
や し ろ 公 園 運 動 広 場			大町市社8200	H8年	500,000㎡
八 坂 ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー			大町市八坂11642	S58年	1,703㎡
八 坂 運 動 場			大町市八坂8408	S50年	11,000㎡
八 坂 テ ニ ス コ ー ト			大町市八坂8408	S50年	1,636㎡
八 坂 山 村 広 場			大町市八坂14850-120	S60年	6,000㎡
八 坂 ゲ ー ト ボ ー ル 場			大町市八坂14850-69	H5年	1,467㎡
八 坂 マ レ ッ ト ゴ ル フ 場			大町市八坂8411-2	H5年	9,600㎡
美 麻 ト レ ー ニ ン グ セ ン タ ー			大町市美麻11690-1	S56年	650㎡
美 麻 運 動 場			大町市美麻14239	S48年	6,492㎡
美 麻 丸 山 公 園 運 動 場			大町市美麻13707	H4年	28,873㎡
美 麻 テ ニ ス コ ー ト			大町市美麻14250-1	H3年	5,857㎡
美 麻 二 重 屋 内 ゲ ー ト ボ ー ル 場			大町市美麻8410	H5年	1,411㎡
美 麻 二 重 屋 外 ゲ ー ト ボ ー ル 場			大町市美麻9595-1	H4年	1,478㎡
美 麻 大 塩 ゲ ー ト ボ ー ル 場			大町市美麻3366	S62年	1,171㎡
美 麻 千 見 ゲ ー ト ボ ー ル 場			大町市美麻28751-1	S57年	2,531㎡

資料:教育委員会

利 用 競 技 種 目
野球(1面)・ソフトボール(1面)
ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
野球(2面)・ソフトボール(2面)・ゲートボール(2面)・スケートリンク(1面)
バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・空手道・バスケットボール(1面)・剣道
野球(1面)・ソフトボール(1面)・スケートリンク(1面)
ゲートボール(2面)
(フィールド内ゲートボール16面)日本陸連4種公認
(1面)
クレー(4面)
全天候(4面)
野球(1面)
野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
遠的(1面)・近的(1面)的場129.6㎡・的44.82㎡・5人立
メインアリーナ(1,627㎡)、サブアリーナ(558㎡)、ランニングコース(170m)、 バレーボール(4面)・バドミントン(13面)・バスケットボール(3面) ギャラリー(固定席544席)・収容人数2,500名
収容人員 メインスタンド1,400名、芝スタンド4,000名 更衣室(2室)・倉庫(3室)・役員室(1室)・事務室(1室)・医務室(1室)・便所ほか
収容人員 メインスタンド743名、芝スタンド2,000名 選手控室(4室)・倉庫(3室)・役員室(1室)・放送室(1室)・医務室(1室)・便所ほか
収容人員 メインスタンド562名、内野階段スタンド352名、内野芝スタンド1,070名、外野スタンド2,616名 更衣室(2室)・事務室(1室)・本部室(1室)・放送室(1室)・便所ほか
ゲートボール(2面)・テニス(1面)・ミニサッカー(1面)
バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)・テニス(1面)・卓球(4台)・ 柔道(50畳)・空手道・剣道
カヌー(20艇)・OPヨット(10艇)・12Fヨット(2艇)・カッター(2艇)・ボードセイル(9艇)ほか
野球(1面)・ソフトボール(1面)
ソフトボール(1面)
バスケットボール(中1面)、バレーボール(2面)、バドミントン(4面)、卓球(3台まで可)
野球(1面)・ソフトボール(2面)
クレーコート(2面)
ソフトボール(1面)
ゲートボール(1面)
18H
バドミントン(3面)、バレーボール(1面)、バスケットボール(1面)
野球(2面)、ソフトボール(2面)
野球(2面)、ソフトボール(2面)、サッカー(1面)、ラグビー(1面)
人工芝(6面)
1面
1面
屋内(1面)、屋外(1面)
2面

大町市統計要覧 2008

平成20年版
編集・発行 大町市役所
TEL. 0261-22-0420

山岳文化都市宣言

私たちの大町市は、雄大な北アルプスのパノラマを代表とする、四季折々の変化に富んだ豊かで美しい大自然に恵まれています。

北アルプスの山麓で生まれ、育ってきた市民は、その長い歴史を通じて、山岳がもたらす豊かな自然環境の恵みを受けながら、自然と人との共生する独自の山岳文化を形成してきました。

私たちは、先人たちが守り育ててきた山岳文化を受け継ぎ、かけがえない豊かで美しい自然を次の世代に伝えていかなければなりません。

21世紀を迎えた今日、身近な生活環境の改善から地球環境の保全まで、様々な環境問題への取り組みが重視される中で、本市においても、市民、事業者、行政等が協働と連携を図りながら、新しい時代の課題や要求に応える山岳文化の振興が求められています。

本市における山岳文化の拠点である山岳博物館開館50周年の節目にあたり、山岳博物館創設当時の理念に学びながら、「環境の世紀」と言われる21世紀にふさわしい山岳文化の発展と創造をめざして、大町市を自然と人との共生する「山岳文化都市」とすることを宣言します。

平成14年3月15日

大 町 市

